

世田谷区若者調査 報告書

令和6年3月

世田谷区

目 次

第1章 アンケート調査(無作為抽出)	1
I 調査概要.....	3
1 調査目的.....	3
2 調査対象	3
3 調査方法	3
4 調査時期	3
5 回収数(回収率)	3
6 調査項目	3
II 調査結果.....	5
1 基本属性.....	5
2 ふだんの生活	21
3 悩みや相談相手	40
4 将来	44
5 地域コミュニティ	46
6 区の施設	57
7 子どもや若者の権利	61
8 自由意見	66
III アンケート調査票と集計結果	73
第2章 アンケート調査.....	99
I 調査概要.....	101
1 調査目的.....	101
2 調査対象	101
3 調査方法	102
4 調査時期	102
5 回収数	102
6 調査項目	102
II アンケート調査票と集計結果	103
第3章 ヒアリング調査(若者施設利用者等)	129
I 調査概要.....	131
1 調査目的.....	131
2 調査対象	131
3 調査方法	132
4 調査時期	133
5 回答者数	133

6 調査項目	133
II 調査結果.....	134
1 若者調査(利用者).....	134
2 支援者調査	144

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

I 調査概要

1 調査目的

本調査は「(仮称)世田谷区子ども・若者総合計画(第3期)」の策定にあたり、区の若者を取り巻く実態や若者の意見を把握するとともに、これまでの若者施策について評価検証し、さらに今後の子ども若者施策の検討に資することを目的とする。

2 調査対象

令和5年4月1日現在、世田谷区に住民登録がある 15～29 歳の若者のうち、住民基本台帳から無作為抽出した 6,000 人

3 調査方法

調査依頼文を郵送配布 インターネットによる Web 回答

4 調査時期

令和 5 年 11 月 15 日(水)～12 月 6 日(水)

5 回収数(回収率)

調査方法	発送・配布数	回答数	回答率
郵送配布	6,000	875	14.6%

6 調査項目

分類	問番号	主な調査項目
基本属性	問1	年齢
	問2	性別
	問3	世田谷区の居住年数
	問4	同居家族
	問5	区内に居住する親族
	問6	就学・就業状況
	問6-1	(生徒・学生)学費の負担者
	問6-2	(生徒・学生)アルバイトの有無
	問6-3	(生徒・学生でアルバイトをしている人)アルバイトの収入の使途
	問6-4	(生徒・学生以外)世帯収入
	問7	在学・卒業した学校
	問8	生活の暮らし向き
	問9	自分への思い(自己肯定感、自己有用感等)

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

分類	問番号	主な調査項目
ふだんの生活	問 10	学校や仕事以外の時間の過ごし方
	問 11	ホッとでき、安心していただける場所の有無
	問 11-1	(ある人)ホッとでき、安心していただける場所
	問 12	ホッとでき、安心していただける場所に必要なこと
	問 13	情報端末機器の使用時間
	問 14	外出頻度
	問 14-1	(外出頻度が低い人)外出しなくなった期間
	問 14-2	(外出頻度が低い人)外出しなくなった年齢
	問 14-3	(外出頻度が低い人)外出しなくなったきっかけ
	問 15	生活習慣、健康状態
	問 16	新型コロナウイルス感染症によって変化したこと、感じたこと
悩みや相談相手	問 17	悩んでいることや心配なことの有無
	問 17-1	(ある人)悩んでいることや心配なこと
	問 18	悩んでいることや心配なことを聞いてくれる人の有無
	問 18-1	(いる人)悩んでいることや心配なことを聞いてくれる相手
	問 18-2	(いる人)悩んでいることや心配なことを話す手段
将来	問 19	20 年後に希望する暮らし方
地域コミュニティ	問 20	地域への愛着度
	問 20-1	(感じている人)愛着を感じる理由
	問 21	世田谷区への居住継続意向
	問 21-1	(意向がない人)住み続けたくない理由
	問 22	興味ある地域住民主体の活動
	問 23	学校や仕事以外の活動参加の有無
	問 23-1	(参加している人)活動の種類
	問 23-2	(参加していない人)活動への参加意向
区の施設	問 24	学校や仕事以外の活動への参加条件
	問 25	世田谷区の相談機関の認知状況
子どもや若者の権利	問 26	若者関連施設の利用状況
	問 27	子どもの権利についての認知度
	問 28	世田谷区の制度・施策について意見を伝えたい意向の有無
	問 28-1	(意向がない人)伝えたくない理由
区への希望	問 29	世田谷区に対して意見を伝えやすい方法・手段
	問 30	世田谷区に求めることや期待すること、世田谷区にあったらいいと思う場所<自由回答>

◆図表のみかた

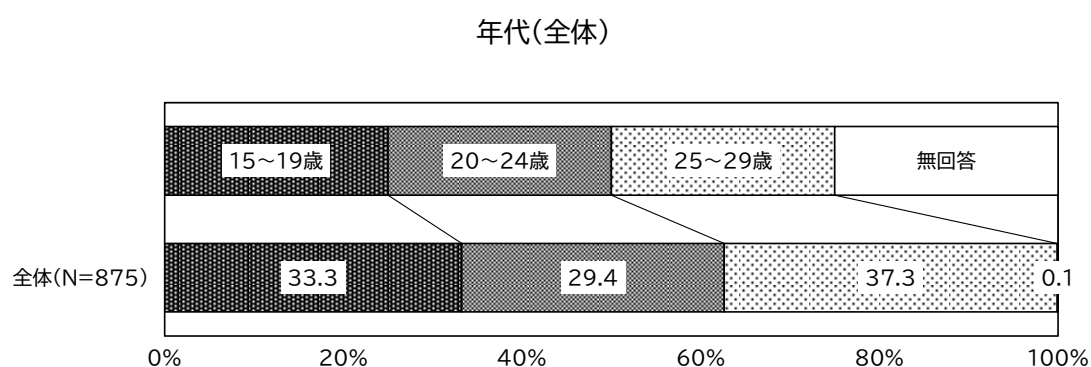
- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はN(Number of case)、それ以外の場合にはnと表記している。
- 2 %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、回答の合計が必ずしも 100.0%にならない場合(例えば 99.9%、100.1%)がある。
- 3 回答者が2つ以上回答することのできる質問(複数回答)については、%の合計は 100%にならないことがある。また、グラフは原則多い順に並び替えている(「その他」、「ない」、「無回答」以外)、順番に意味がある場合は、選択肢順としている。
- 4 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されている。

Ⅱ 調査結果

1 基本属性

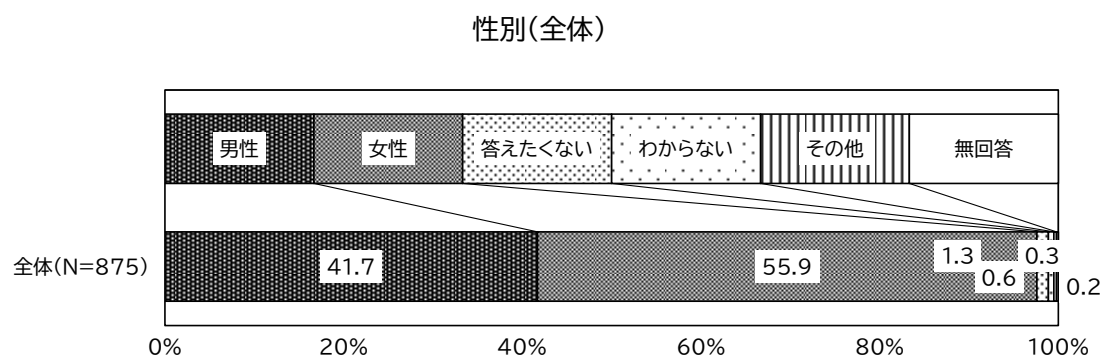
(1)年代(問1)

年代は、「15～19 歳」が 33.3%、「20～24 歳」が 29.4%、「25～29 歳」が 37.3%となっている。平均年齢は 22.3 歳である。



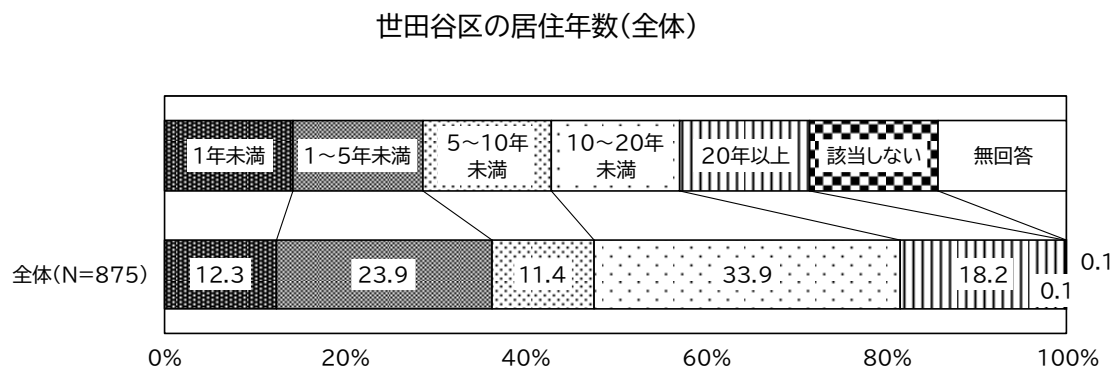
(2)性別(問2)

性別は、「男性」が 41.7%、「女性」が 55.9%、「答えたくない」が1.3%、「わからない」が0.6%、「その他」が0.3%となっている。



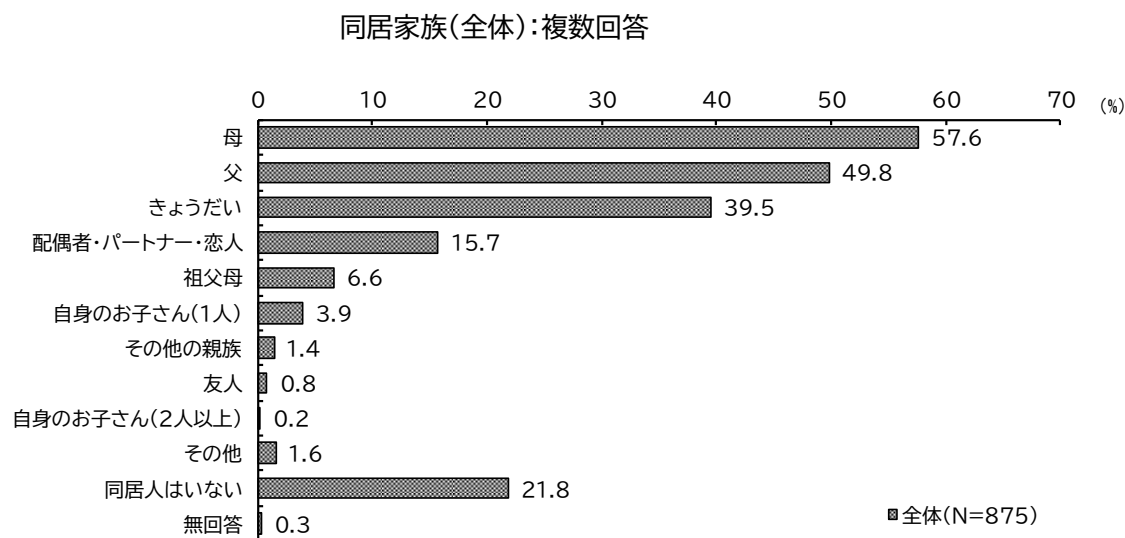
(3)世田谷区の居住年数(問3)

世田谷区の居住年数は、「10～20 年未満(33.9%)」が最も高く、「1～5年未満(23.9%)」、「20年以上(18.2%)」が続いている。



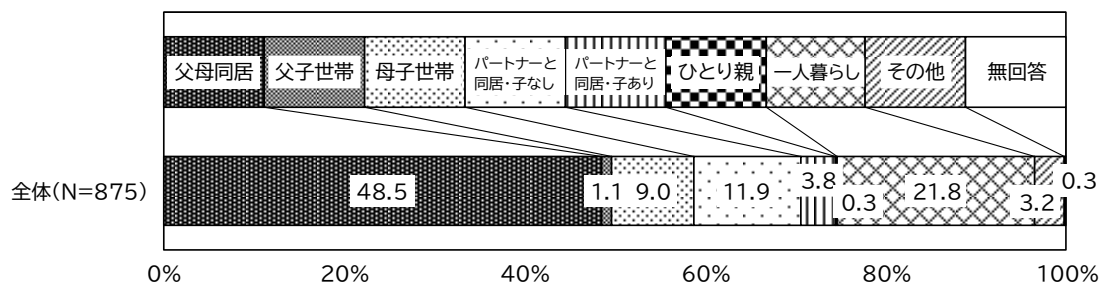
(4)同居家族(問4)

同居家族は、「母(57.6%)」が最も高く、「父(49.8%)」、「きょうだい(39.5%)」が続いている。



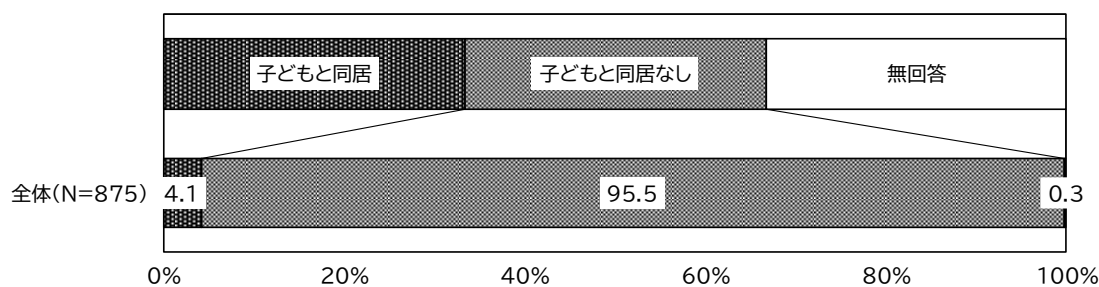
家族構成は、「父母同居(48.5%)」が最も高く、「一人暮らし(21.8%)」、「パートナーと同居・子なし(11.9%)」が続いている。

家族構成(全体)



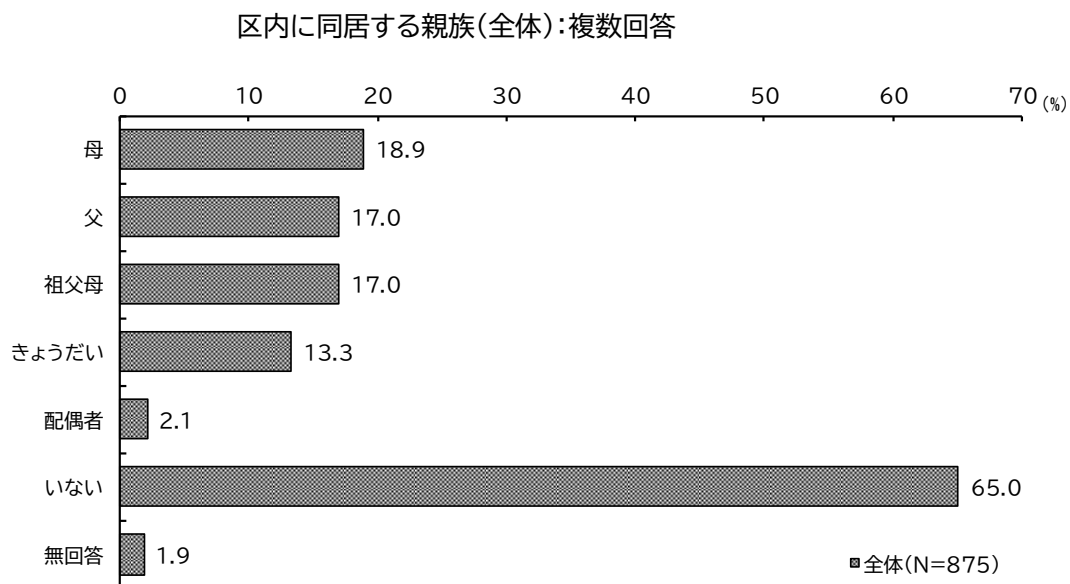
子どもとの同居有無は、「子どもと同居」が4.1%、「子どもと同居なし」が95.5%となっている。

子どもとの同居有無(全体)



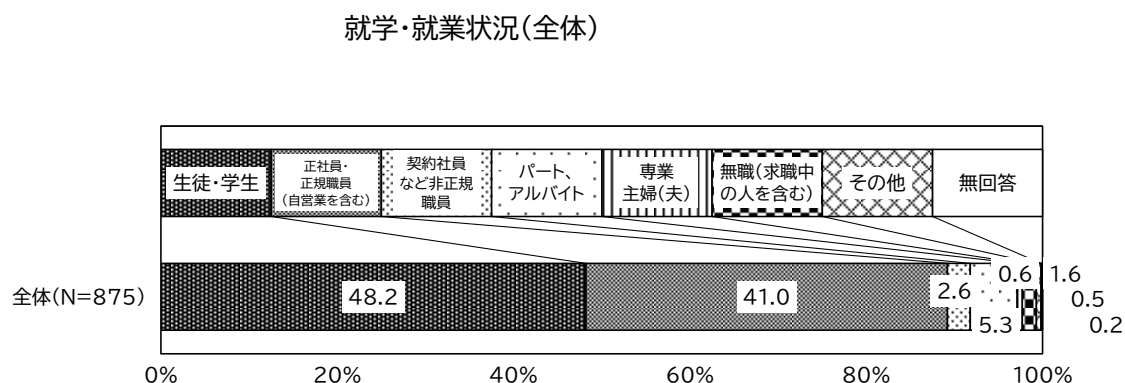
(5)区内に居住する親族(問5)

区内に居住する親族は、「いない(65.0%)」が最も高く、「母(18.9%)」、「父」、「祖父母」(各17.0%)が続いている。



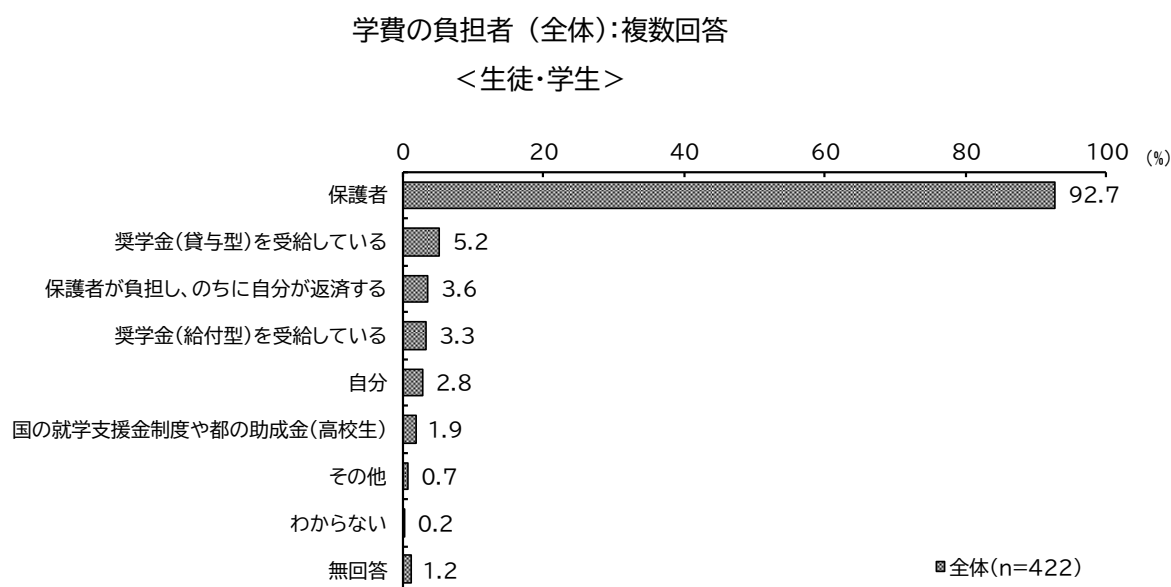
(6)就学・就業状況(問6)

就学・就業状況は、「生徒・学生(48.2%)」が最も高く、「正社員・正規職員(自営業を含む)(41.0%)」、「パート、アルバイト(5.3%)」が続いている。



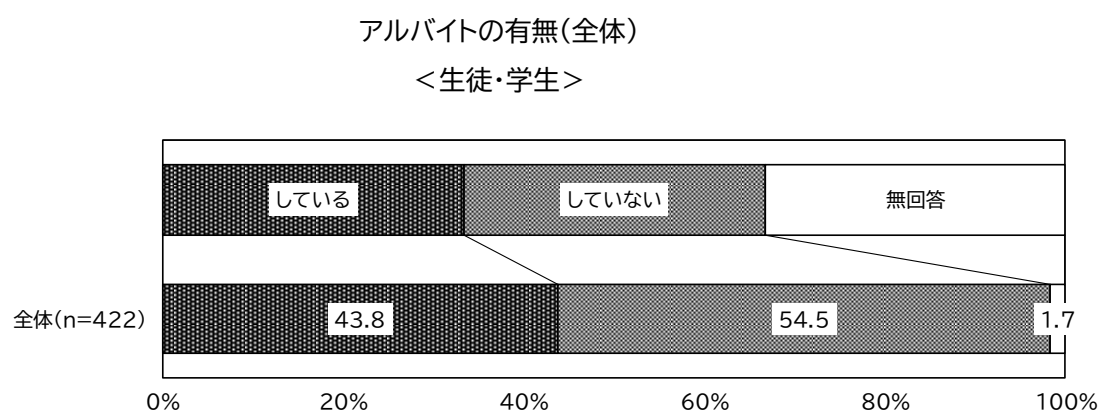
(7)学費の負担者(問6-1)

問6で「1. 生徒・学生」と回答した人に、学費の負担者についてたずねたところ、「保護者(92.7%)」が最も高く、「奨学金(貸与型)を受給している(5.2%)」、「保護者が負担し、のちに自分が返済する(3.6%)」が続いている。



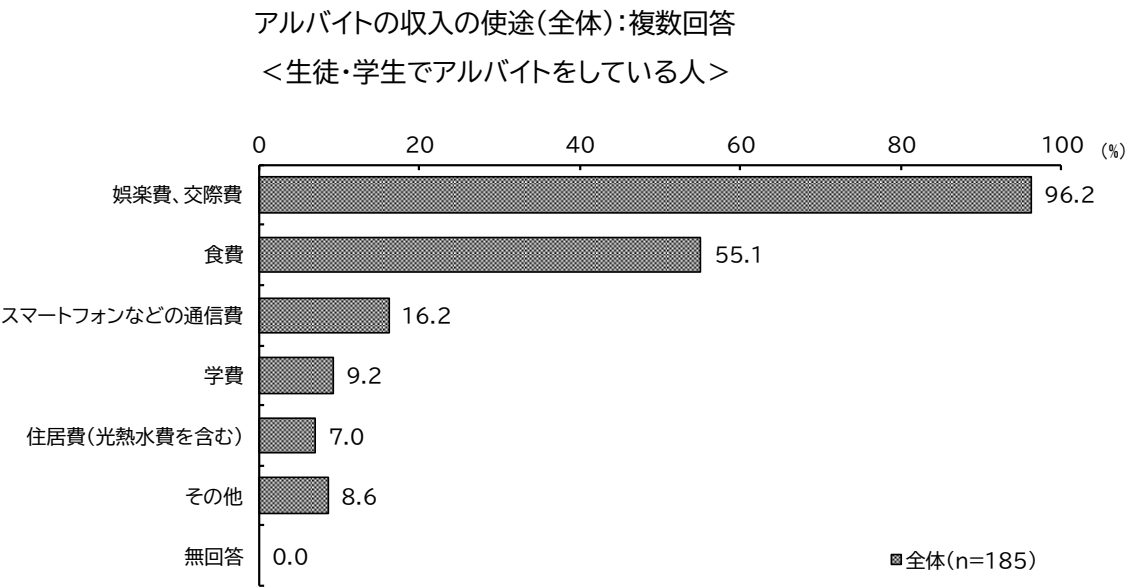
(8)アルバイトの有無(問6-2)

問6で「1. 生徒・学生」と回答した人に、アルバイトの有無についてたずねたところ、「している」が43.8%、「していない」が54.5%となっている。



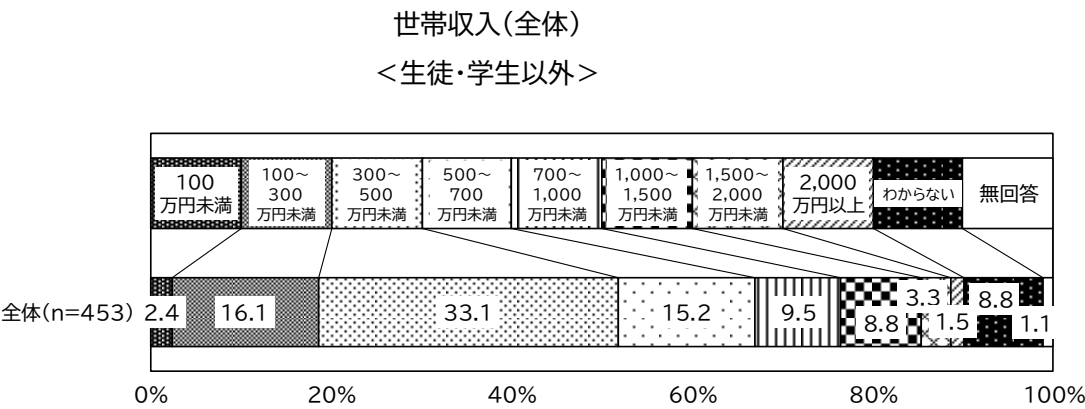
(9)アルバイトの収入の使途(問6-3)

問6で「1. 生徒・学生」かつ問6-2で「1. している」と回答した人に、アルバイトの収入の使途についてたずねたところ、「娯楽費、交際費(96.2%)」が最も高く、「食費(55.1%)」、「スマートフォンなどの通信費(16.2%)」が続いている。



(10)世帯収入(問6-4)

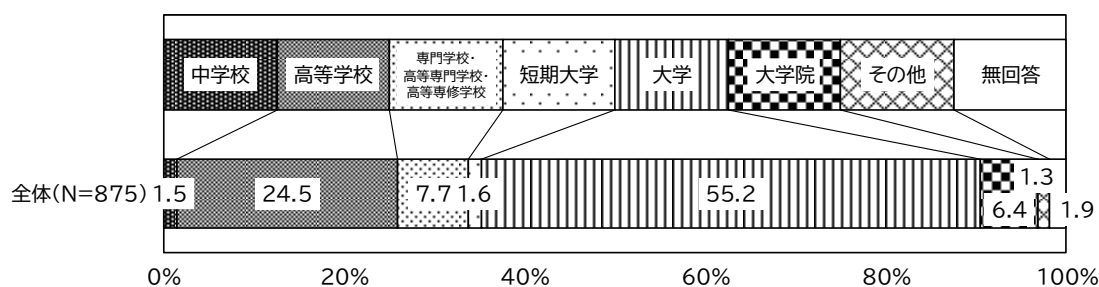
生徒・学生以外と回答した人(問6で2～7と回答した人)に、世帯収入についてたずねたところ、「300～500 万円未満(33.1%)」が最も高く、「100～300 万円未満(16.1%)」、「500～700 万円未満(15.2%)」が続いている。



(11)在学・卒業した学校(問7)

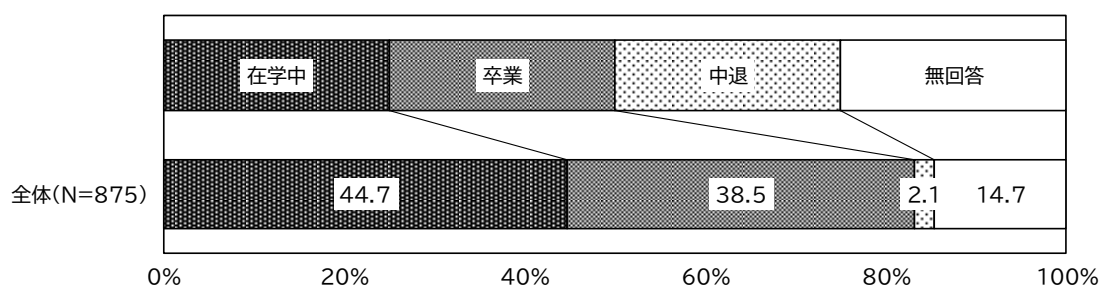
在学・卒業した学校の種類は、「大学(55.2%)」が最も高く、「高等学校(24.5%)」、「専門学校・高等専門学校・高等専修学校(7.7%)」が続いている。

在学・卒業した学校の種別(全体)



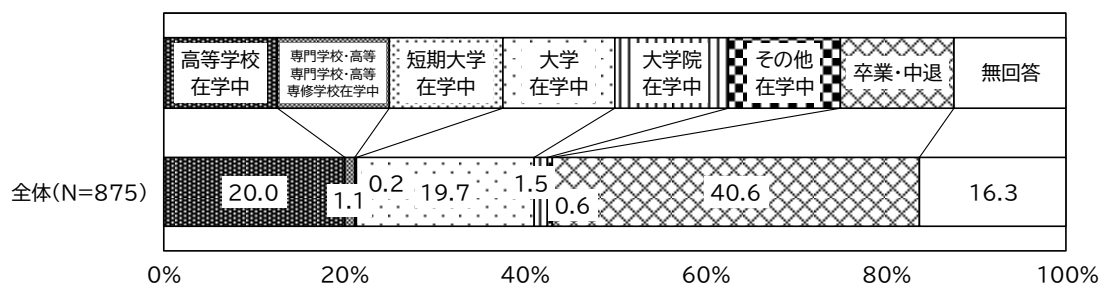
在学等の状況は、「在学中」が44.7%、「卒業」が38.5%、「中退」が2.1%となっている。

在学等の状況(全体)



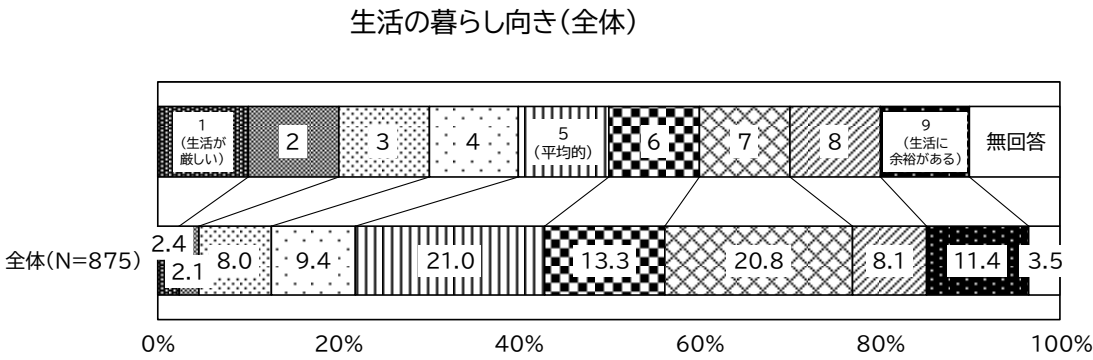
在学中の学校は、「卒業・中退(40.6%)」が最も高く、「高等学校在学中(20.0%)」、「大学在学中(19.7%)」が続いている。

在学中の学校(全体)



(12)生活の暮らし向き(問8)

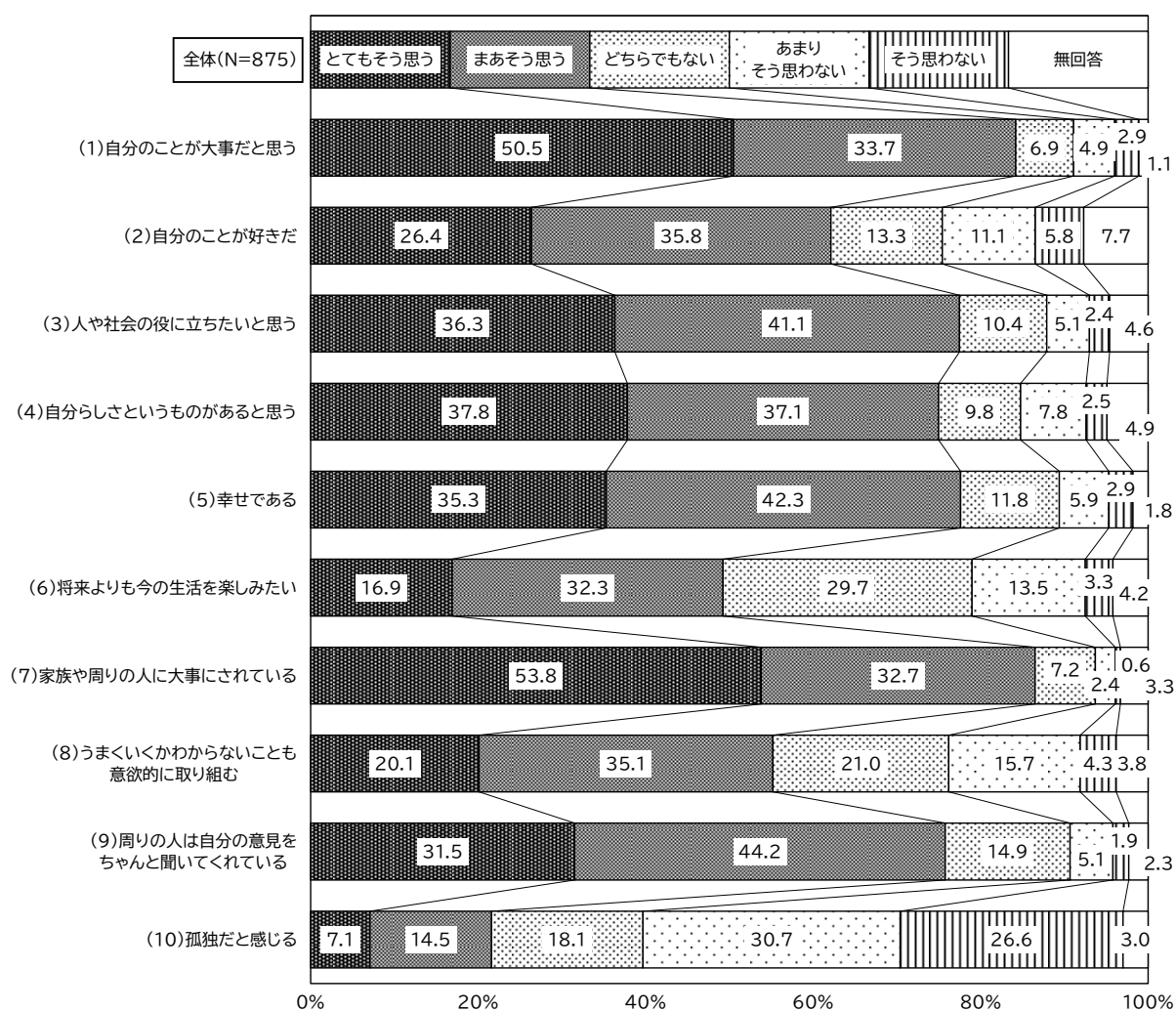
生活の暮らし向きは、「5(平均的)(21.0%)」が最も高く、「7(20.8%)」、「6(13.3%)」が続いている。



(13)自分への思い(問9)

自分への思いは、『そう思う・計』(「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)の割合が『(7)家族や周りの人に大事にされている(86.5%)』で最も高く、『(1)自分のことが大事だと思う(84.2%)』、『(5)幸せである(77.6%)』が続いている。

自分への思い(全体)



◇クロス集計『(2)自分のことが好きだ』

年代別にみると、『自分のことが好きだ』の《そう思わない・計》(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)の割合が年代によって差があり、15～19歳で 18.3%、20～24歳で 17.9%、25～29歳で 15.0%となっている。

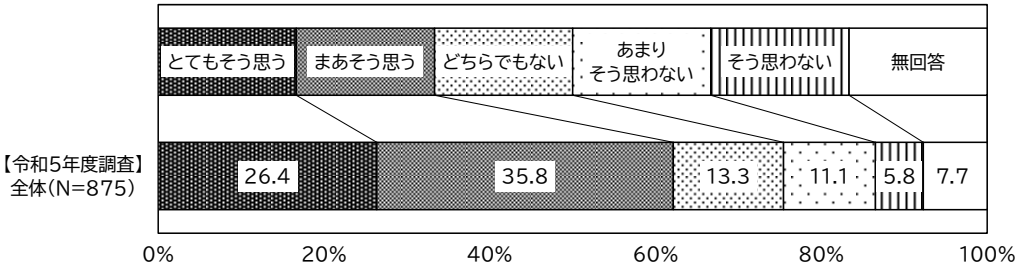
自分への思い『自分のことが好きだ』(全体、年代別)

				(%)					
				そと うて 思 も う	そ ま あ 思 う	な ど い ち ら で も	思 あ わ ま な い そ う	思 そ わ う な い	無 回 答
全	体	(N=875)		26.4	35.8	13.3	11.1	5.8	7.7
年 代 別	15	～	19 歳 (n=291)	26.5	34.0	14.8	13.1	5.2	6.5
	20	～	24 歳 (n=257)	29.2	35.4	11.7	10.9	7.0	5.8
	25	～	29 歳 (n=326)	24.2	37.4	13.2	9.5	5.5	10.1

◇経年比較『(2)自分のことが好きだ』

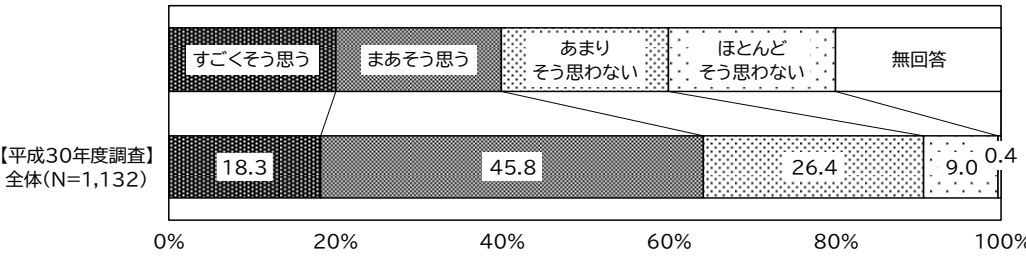
令和5年度調査では、『自分のことが好きだ』の《そう思う・計》の割合が 62.2%となっている。平成30年度調査では『自分自身のことが好きだと思う』の《そう思う・計》の割合が 64.1%となっており、令和5年度調査と同程度となっている。

自分への思い『自分のことが好きだ』(全体)



自分への思い『自分自身のことが好きだと思う』(全体)

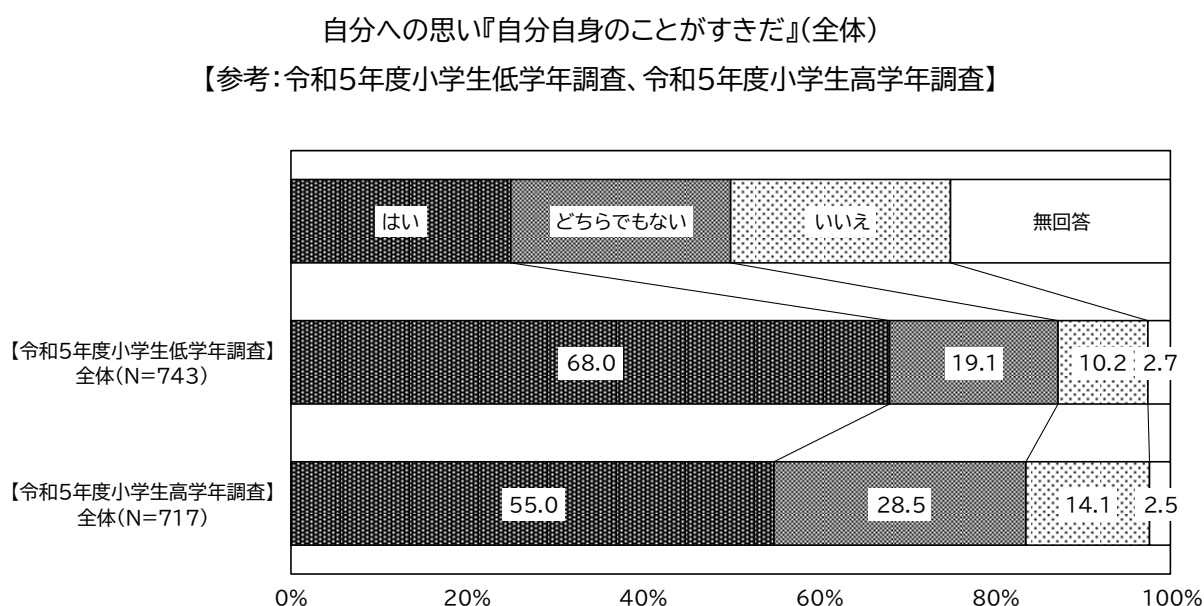
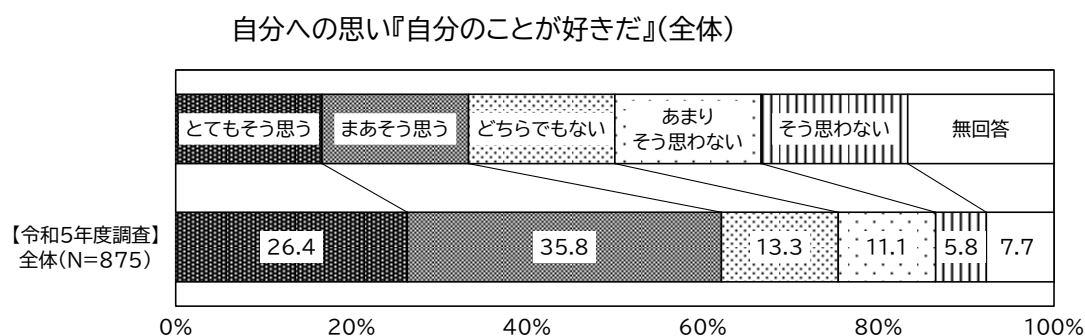
【参考:平成30年度調査】



※平成30年度調査は、項目が『自分自身のことが好きだと思う』となっている。

◇小学生調査との比較『(2)自分のことが好きだ』

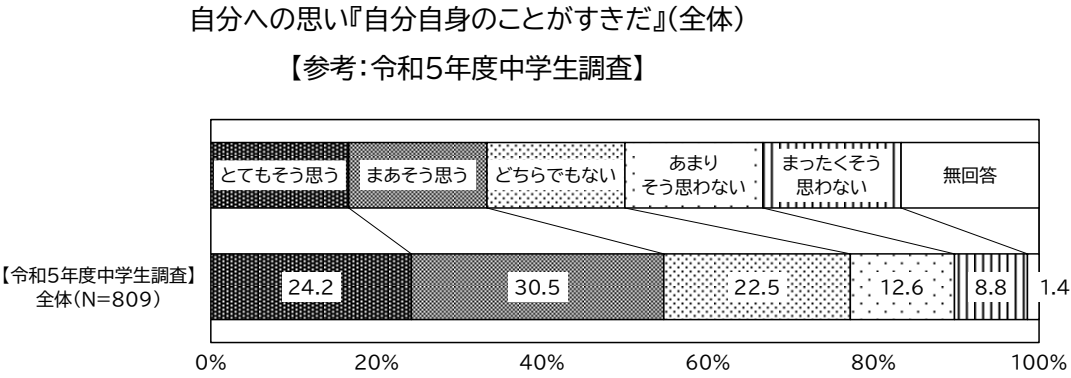
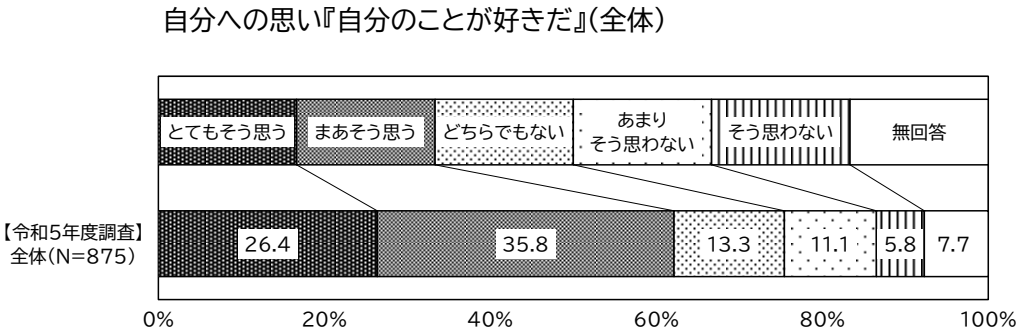
小学生調査では、『自分自身のことが好きだ』の「はい」が低学年では 68.0%、高学年では 55.0% となっており、低学年は若者調査の《そう思う・計》(62.2%)よりも5.8 ポイント高く、高学年は7.2 ポイント低くなっている。



※小学生低学年調査と小学生高学年調査は、項目が『自分自身のことが好きだ』となっている。

◇中学生調査との比較『(2)自分のことが好きだ』

中学生調査では、『自分自身のことが好きだ』の《そう思う・計》の割合が 54.7%となっており、若者調査(62.2%)より7.5 ポイント低い。



※中学生調査は、項目が『自分自身のことが好きだ』となっている。また、選択肢が『まったくそう思わない』となっている。

◇クロス集計『(3)人や社会の役に立ちたいと思う』

年代別にみると、『人や社会の役に立ちたいと思う』の《そう思う・計》の割合が、年代によって差があり、15～19歳で75.9%、20～24歳で82.9%、25～29歳で74.5%となっている。

自分への思い『人や社会の役に立ちたいと思う』(全体、年代別)

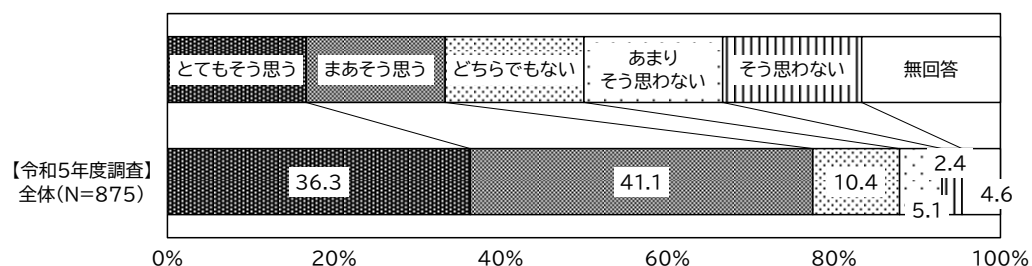
					(%)					
					とても 思う	まあ 思う	どちら でも	あまり ない そう	そう ない	無 回 答
全 体 (N=875)					36.3	41.1	10.4	5.1	2.4	4.6
年 代 別	15	～	19	歳 (n=291)	38.8	37.1	13.7	3.4	2.4	4.5
	20	～	24	歳 (n=257)	42.4	40.5	6.6	5.1	2.7	2.7
	25	～	29	歳 (n=326)	29.1	45.4	10.4	6.7	2.1	6.1

◇経年比較『(3)人や社会の役に立ちたいと思う』

令和5年度調査では、『人や社会の役に立ちたいと思う』の《そう思う・計》の割合が77.4%となっている。

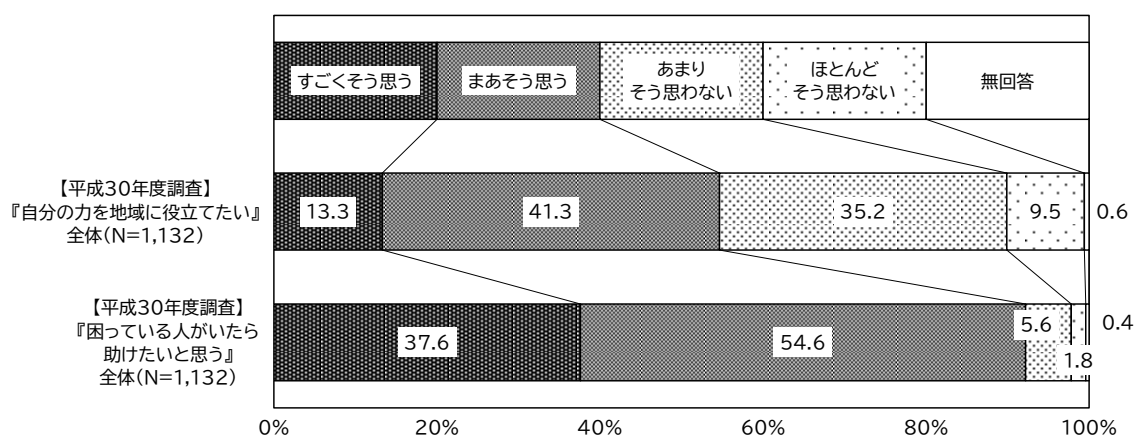
平成30年度調査では『自分の力を地域に役立てたい』の《そう思う・計》の割合が54.6%、『困っている人がいたら助けたいと思う』の《そう思う・計》の割合は92.2%となっている。

自分への思い『人や社会の役に立ちたいと思う』(全体)



自分への思い『自分の力を地域に役立てたい、困っている人がいたら助けたいと思う』(全体)

【参考:平成30年度調査】

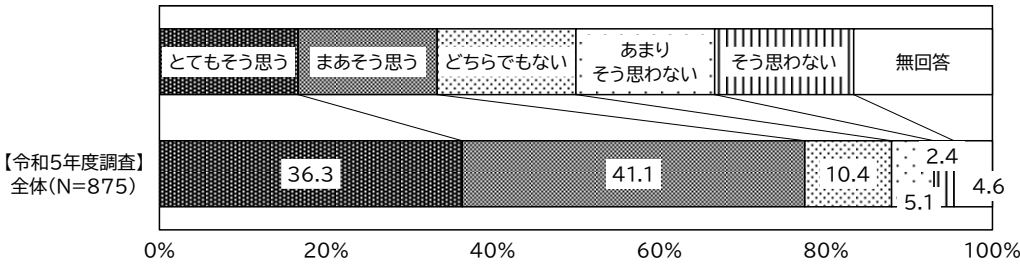


第1章 アンケート調査(無作為抽出)

◇中学生調査との比較『(3)人や社会の役に立ちたいと思う』

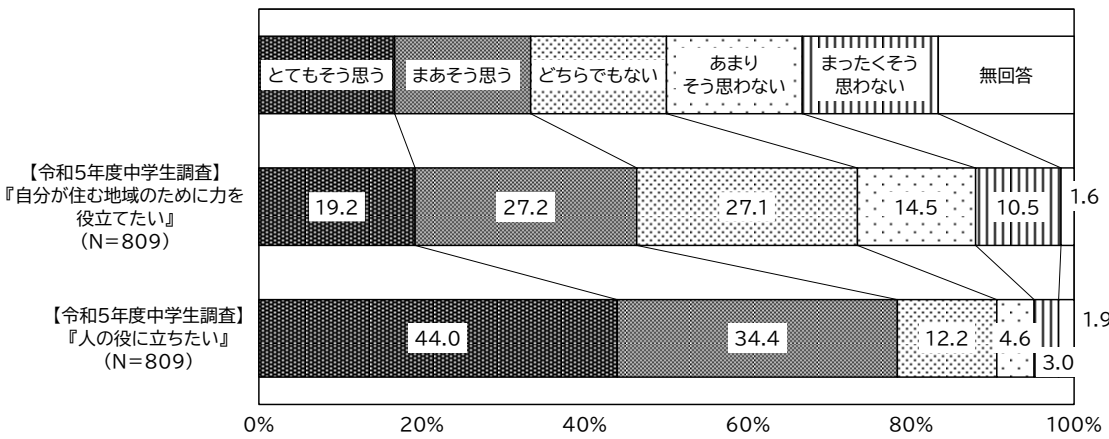
中学生調査では『自分が住む地域のために力を役立てたい』の《そう思う・計》の割合が 46.4%、
『人の役に立ちたい』の《そう思う・計》の割合は 78.4%となっている。

自分への思い『人や社会の役に立ちたいと思う』(全体)



自分への思い『自分が住む地域のために力を役立てたい、人の役に立ちたい』(全体)

【参考: 令和5年度中学生調査】



※中学生調査は、選択肢が『まったくそう思わない』となっている。

◇クロス集計『(9)周りの人は自分の意見をちゃんと聞いている』

区へ自分の考えを伝えたいか別にみると、伝えたい人は「とてもそう思う」が41.3%となっており、
区へ自分の考えを伝えたい人ほど「とてもそう思う」の割合が高くなっている。

自分への思い『周りの人は自分の意見をちゃんと聞いている』

(全体、区へ自分の考えを伝えたいか別)

		(%)					
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全	体 (N=875)	31.5	44.2	14.9	5.1	1.9	2.3
区 へ 伝 え た い の 考 え を 別	伝 え た い (n=150)	41.3	32.7	15.3	5.3	2.7	2.7
	ど ち ら か と い え ば 伝 え た い (n=287)	31.4	46.3	12.5	5.6	1.4	2.8
	ど ち ら か と い え ば 伝 え た く な い (n=269)	29.4	49.8	14.5	3.7	1.1	1.5
	伝 え た く な い (n=157)	25.5	41.4	20.4	7.0	3.8	1.9

◇クロス集計『(10)孤独だと感じる』

年代別にみると、『孤独だと感じる』の《そう思う・計》の割合が、20～24歳で 24.1%と高くなっている。

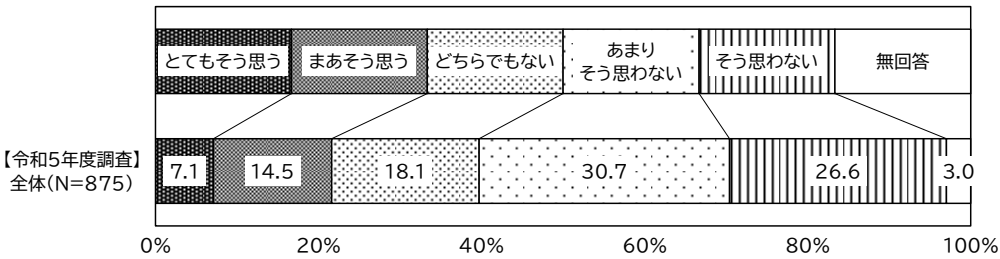
自分への思い『孤独だと感じる』(全体、年代別)

					(%)					
					そと うて も う	そま うあ 思 う	な ど い ち ら で も	思 あ わ ま な い そ う	思 そ わ う な い	無 回 答
全 体 (N=875)					7.1	14.5	18.1	30.7	26.6	3.0
年 代 別	15	～	19	歳 (n=291)	5.8	13.7	14.8	30.9	31.3	3.4
	20	～	24	歳 (n=257)	7.4	16.7	17.1	35.8	21.0	1.9
	25	～	29	歳 (n=326)	8.0	13.5	21.8	26.7	26.7	3.4

◇中学生調査との比較『(10)孤独だと感じる』

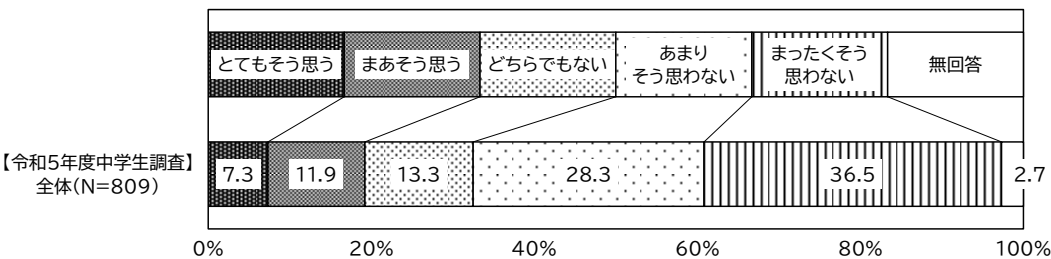
若者調査では『孤独だと感じる』の《そう思う・計》の割合が 21.6%となっている。中学生調査の《そう思う・計》の割合は 19.2%となっている。

自分への思い『孤独だと感じる』(全体)



自分への思い『孤独だと感じる』(全体)

【参考: 令和5年度中学生調査】



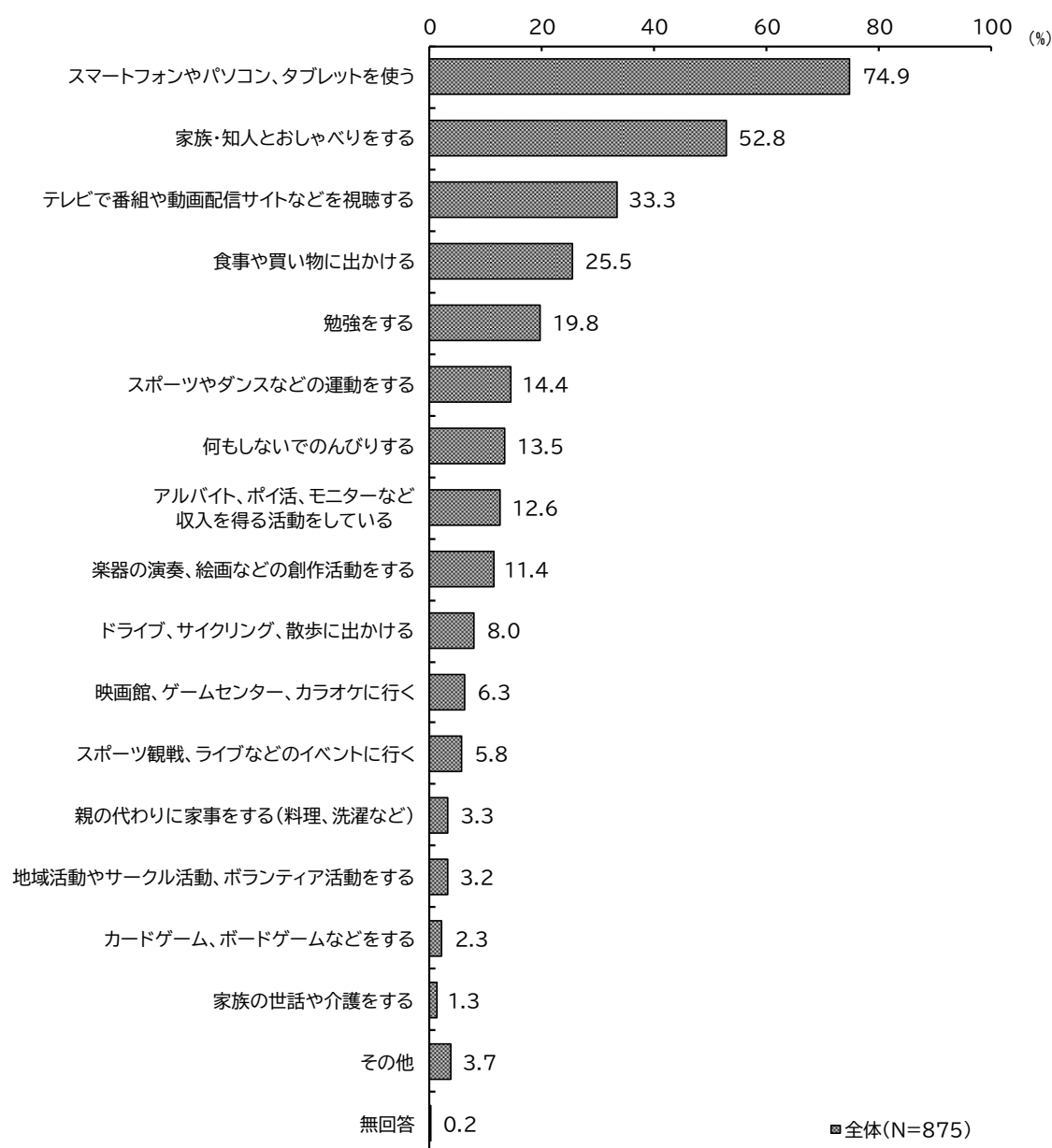
※中学生調査は、選択肢が『まったくそう思わない』となっている。

2 ふだんの生活

(1) 学校や仕事以外の時間の過ごし方(問 10)

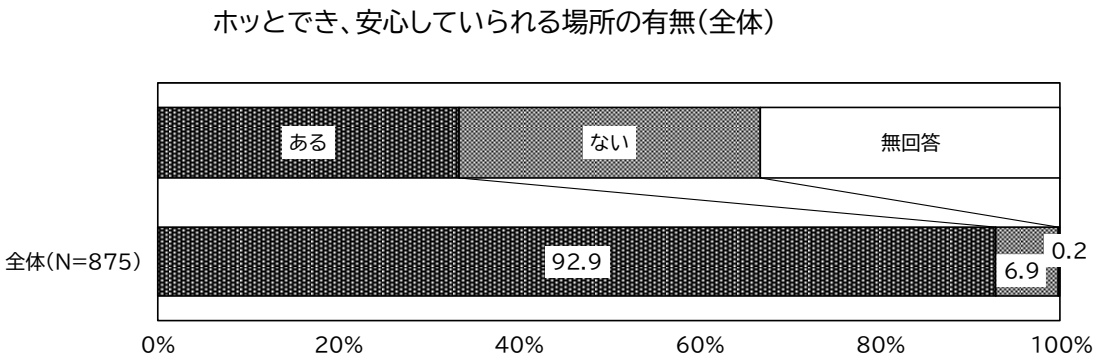
学校や仕事以外の時間の過ごし方は、「スマートフォンやパソコン、タブレットを使う(74.9%)」が最も高く、「家族・知人とおしゃべりをする(52.8%)」、「テレビで番組や動画配信サイトなどを視聴する(33.3%)」が続いている。

学校や仕事以外の時間の過ごし方(全体):複数回答



(2)ホッとでき、安心していられる場所の有無(問 11)

ホッとでき、安心していられる場所の有無は、「ある」が 92.9%、「ない」が6.9%となっている。



年代別で見ても大きな差は見られなかった。

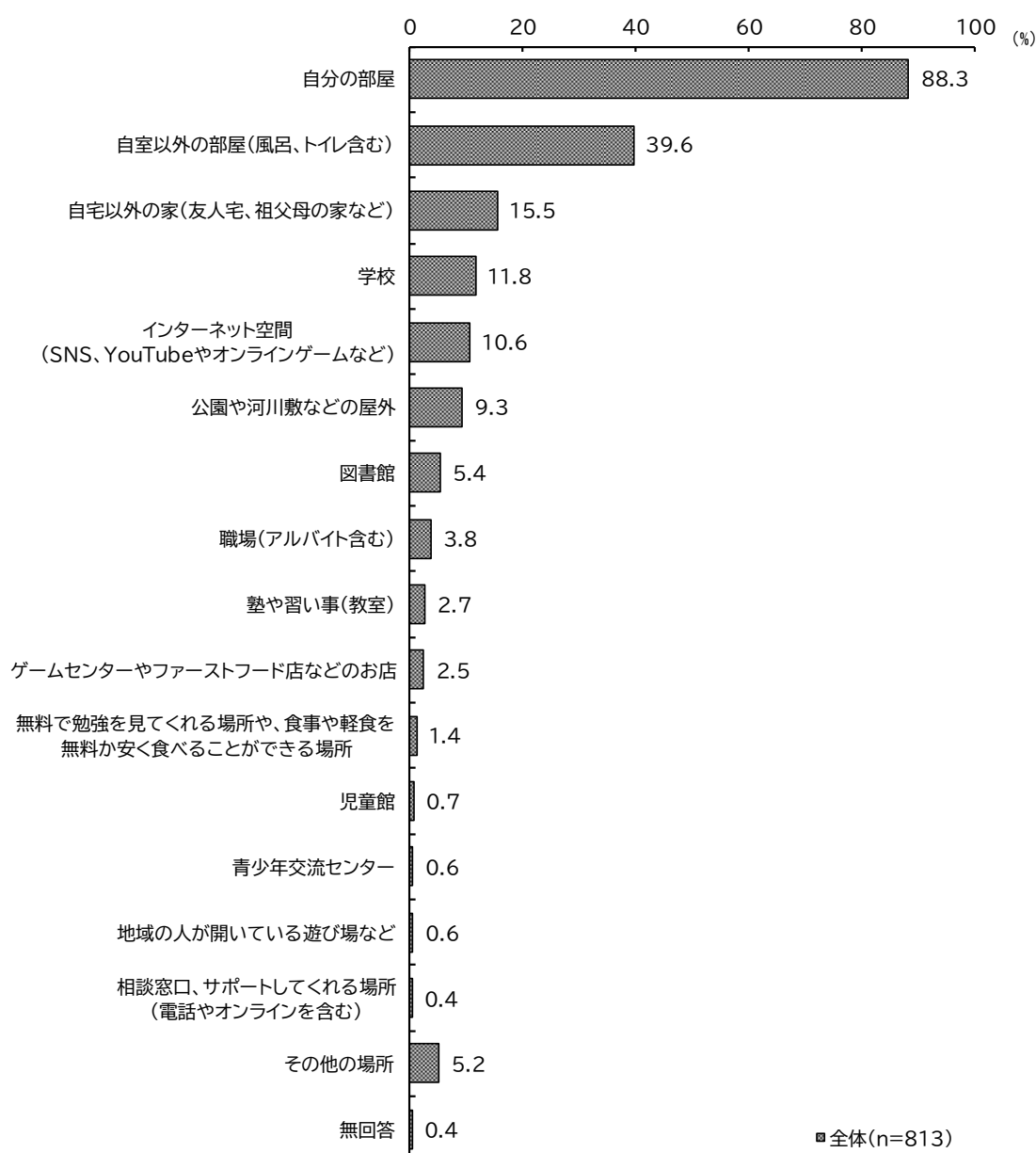
ホッとでき、安心していられる場所の有無(全体、年代別)

					(%)		
					ある	ない	無回答
全	体 (N=875)				92.9	6.9	0.2
年代別	15	～	19	歳 (n=291)	92.8	6.9	0.3
	20	～	24	歳 (n=257)	93.0	6.6	0.4
	25	～	29	歳 (n=326)	92.9	7.1	0.0

(3) ホットとでき、安心していられる場所(問 11-1)

問 11 で「1. ある」と回答した人に、ホットとでき、安心していられる場所についてたずねたところ、「自分の部屋(88.3%)」が最も高く、「自室以外の部屋(風呂、トイレ含む)(39.6%)」、「自宅以外の家(友人宅、祖父母の家など)(15.5%)」が続いている。

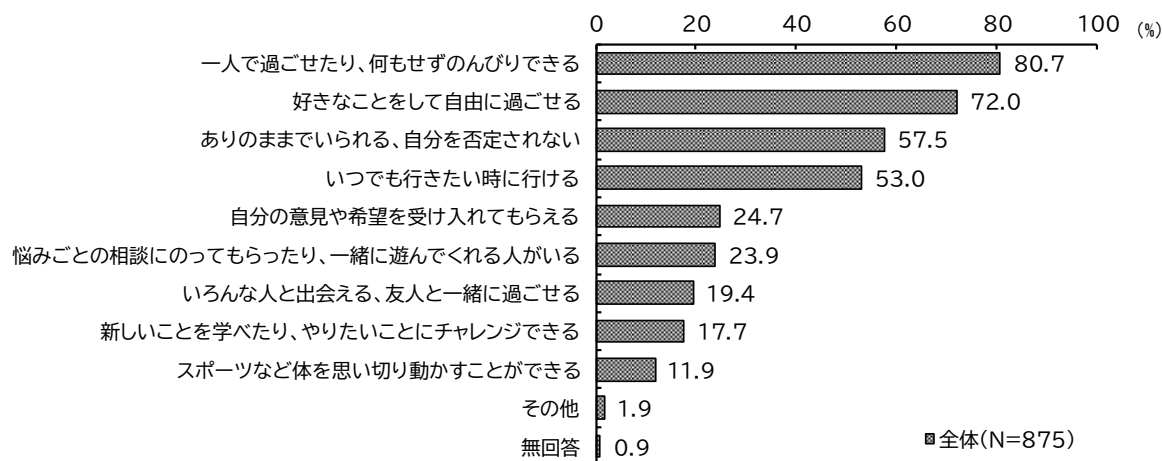
ホットとでき、安心していられる場所(全体):複数回答
 <ホットとでき、安心していられる場所がある人>



(4) ホットとでき、安心していられる場所に必要なこと(問 12)

ホットとでき、安心していられる場所に必要なことは、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる(80.7%)」が最も高く、「好きなことをして自由に過ごせる(72.0%)」、「ありのままでいられる、自分を否定されない(57.5%)」が続いている。

ホットとでき、安心していられる場所に必要なこと(全体):複数回答



年代別にみると、全ての年代層で「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が最も高く、「好きなことをして、自由に過ごせる」、「ありのままでいられる、自分を否定されない」が続いている。いずれの年代も全体との間に大きな差はなかった。

孤独だと感じる別にみると、「とてもそう思う」は、「ありのままでいられる、自分を否定されない」が66.1%と最も高くなっており、それ以外は「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が最も高くなっている。

ホッとでき、安心していられる場所に必要なこと(全体、年代別、孤独だと感じる別)

													(%)						
				一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	好きなことをして自由に過ごせる	ありのままでいられる、自分を否定されない	いつでも行きたい時に行ける	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	悩みごとの相談にのってくれる人がいる	いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	スポーツなど体を思い切り動かすことができる	その他	無回答					
全 体 (N=875)				80.7	72.0	57.5	53.0	24.7	23.9	19.4	17.7	11.9	1.9	0.9					
年代別	15	～	19 歳 (n=291)	82.5	74.2	54.0	53.3	27.1	25.1	23.4	19.2	12.7	2.1	1.0					
	20	～	24 歳 (n=257)	76.3	70.0	59.9	51.8	21.4	26.1	17.9	16.3	10.9	2.3	0.0					
	25	～	29 歳 (n=326)	82.5	71.8	58.6	54.0	25.2	20.9	17.2	17.5	12.0	1.5	1.5					
感じる別	と	て	も	そ	う	思	う (n= 62)	62.9	62.9	66.1	56.5	32.3	30.6	21.0	24.2	11.3	6.5	1.6	
	ま	あ	そ	う	思	う (n=127)	81.9	71.7	61.4	59.8	22.8	22.8	18.1	18.1	7.1	0.8	0.0		
	ど	ち	ら	で	も	な	い (n=158)	87.3	67.7	57.0	48.1	19.6	23.4	18.4	15.8	10.8	1.3	0.0	
	あ	ま	り	そ	う	思	わ	な	い (n=269)	83.3	76.2	59.9	54.6	23.8	21.9	18.2	17.5	11.5	2.2
	そ	う	思	わ	な	い (n=233)	80.3	73.4	53.6	51.5	28.8	26.2	23.2	18.9	15.9	1.7	0.9		

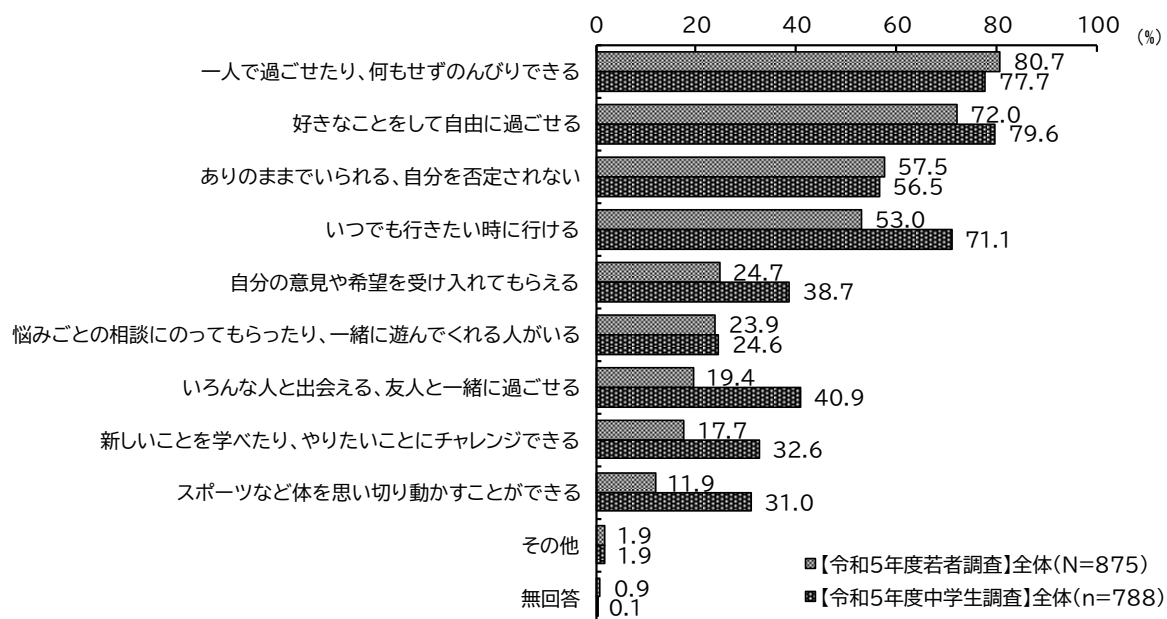
第1章 アンケート調査(無作為抽出)

◇中学生調査との比較

中学生調査では、上位2位は若者調査と同様で「好きなことをして自由に過ごせる(79.6%)」が最も高く、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる(77.7%)」が続いているが、第3位は「いつでも行きたい時に行ける(71.1%)」となっている。

ホッとでき、安心していられる場所に必要なこと(全体):複数回答

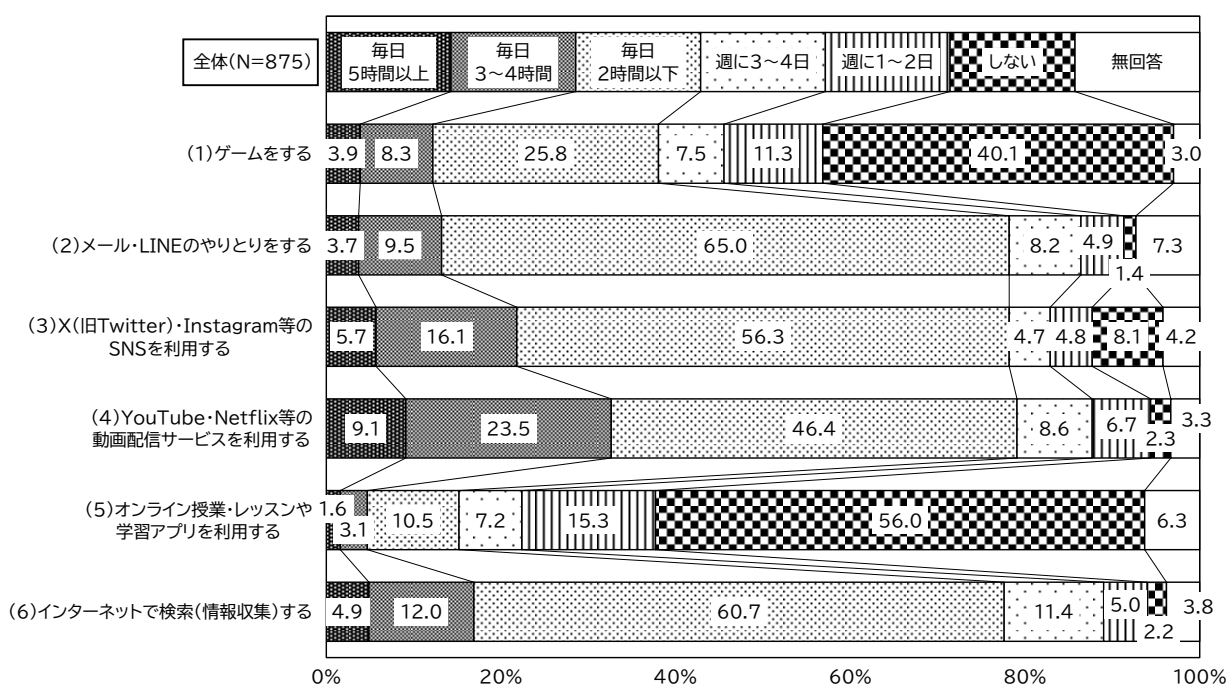
【令和5年度中学生調査】



(5)情報端末機器の使用時間(問 13)

情報端末機器の使用時間は、《毎日・計》(「毎日5時間以上」と「毎日3～4時間」と「毎日2時間以下」の合計)の割合が『(4)YouTube・Netflix等の動画配信サービスを利用する(79.0%)』で最も高く、『(2)メール・LINEのやりとりをする(78.2%)』、『(3)X(旧Twitter)・Instagram等のSNSを利用する(78.1%)』が続いている。

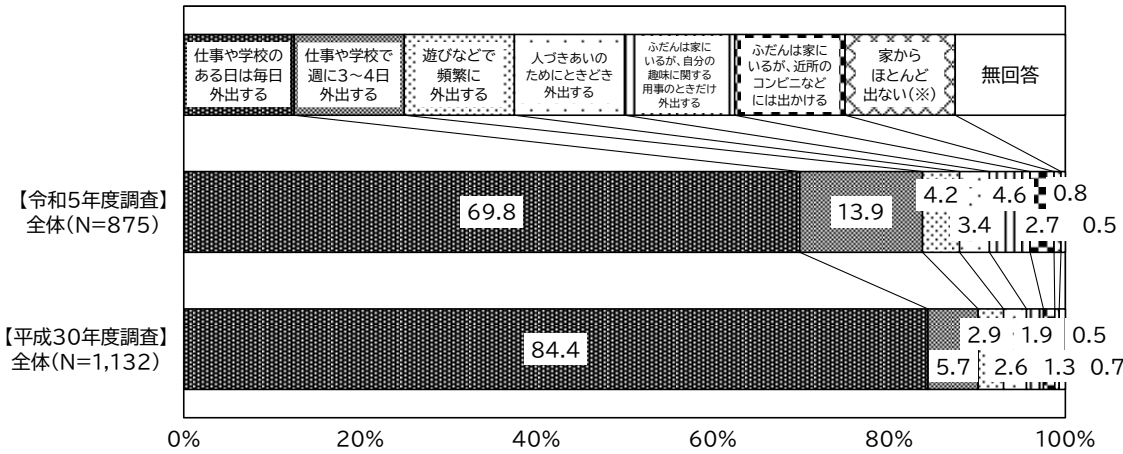
情報端末機器の使用時間(全体)



(6)外出頻度(問 14)

外出頻度は、平成 30 年度と比較して減っている傾向が見られた。外出頻度が低い人(5～7と回答した人)の割合は8. 1%であり、平成30年度(3. 7%)より4. 4ポイント高くなっている。

外出頻度(全体)【平成30年度調査】

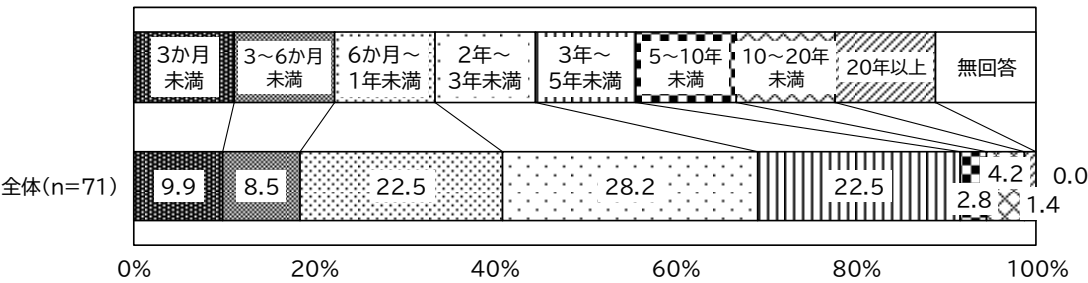


※平成30年度調査は、『自室からは出るが、家からは出ない』、『自室からほとんど出ない』の合計。

(7)外出しなくなった期間(問 14-1)

外出頻度が低い人(問 14 で5～7と回答した人)に、外出しなくなった期間についてたずねたところ、「2年～3年未満(28.2%)」が最も高く、「6か月～1年未満」、「3年～5年未満」(各 22.5%)、「3か月未満(9.9%)」が続いている。

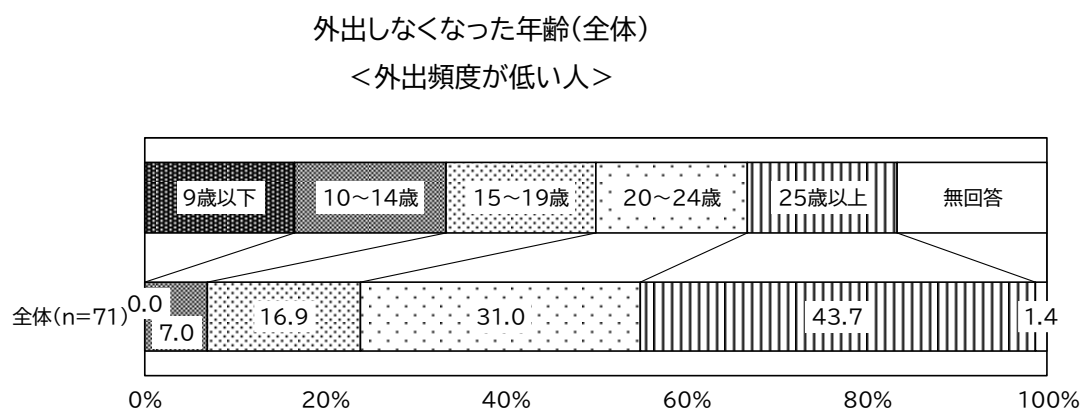
外出しなくなった期間(全体)
<外出頻度が低い人>



(8)外出しなくなった年齢(問 14-2)

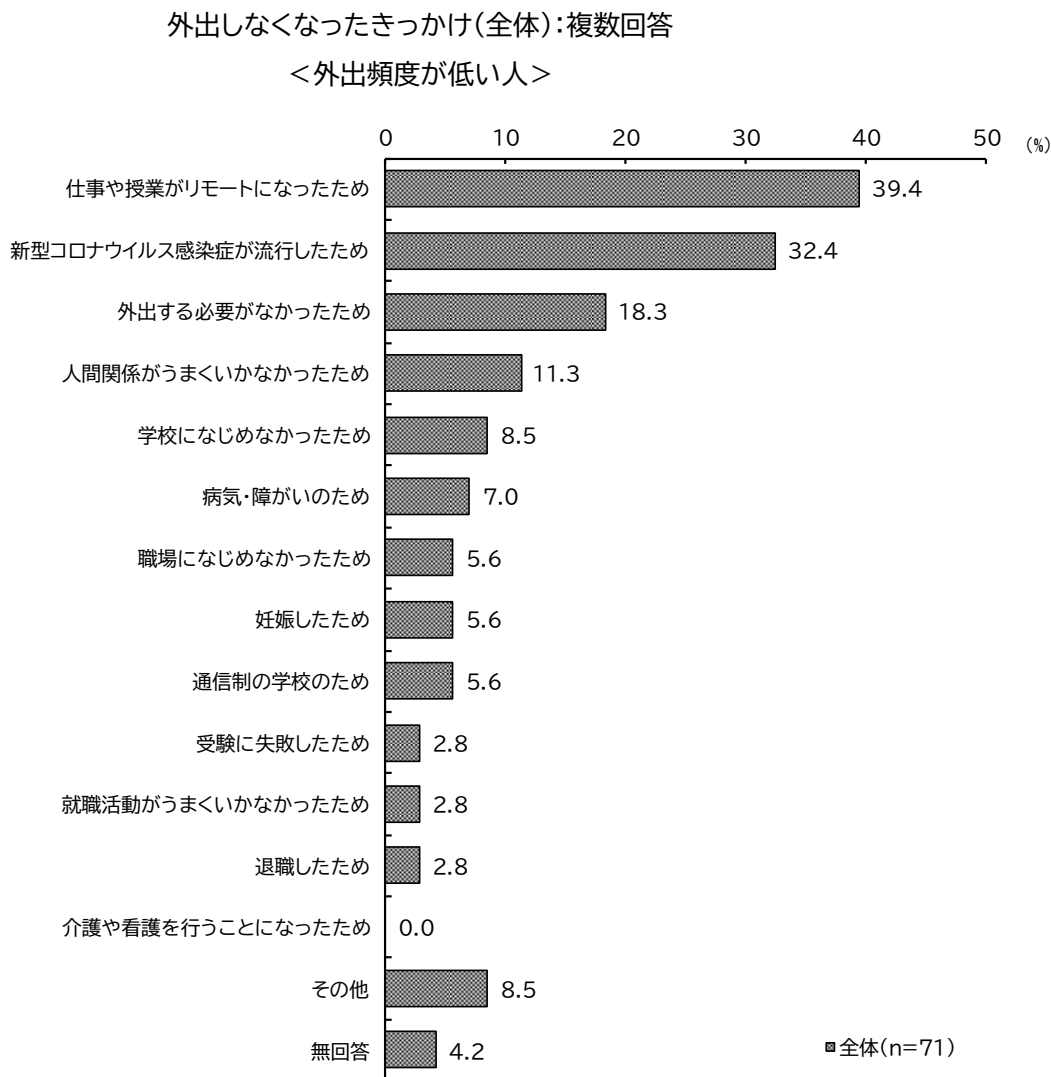
外出頻度が低い人(問14で5～7と回答した人)に、外出しなくなった年齢についてたずねたところ、外出しなくなった年齢は、「25歳以上(43.7%)」が最も高く、「20～24歳(31.0%)」、「15～19歳(16.9%)」が続いている。

平均年齢は 22.1 歳であり、平成30年度調査(22.5 歳)と同程度となっている。



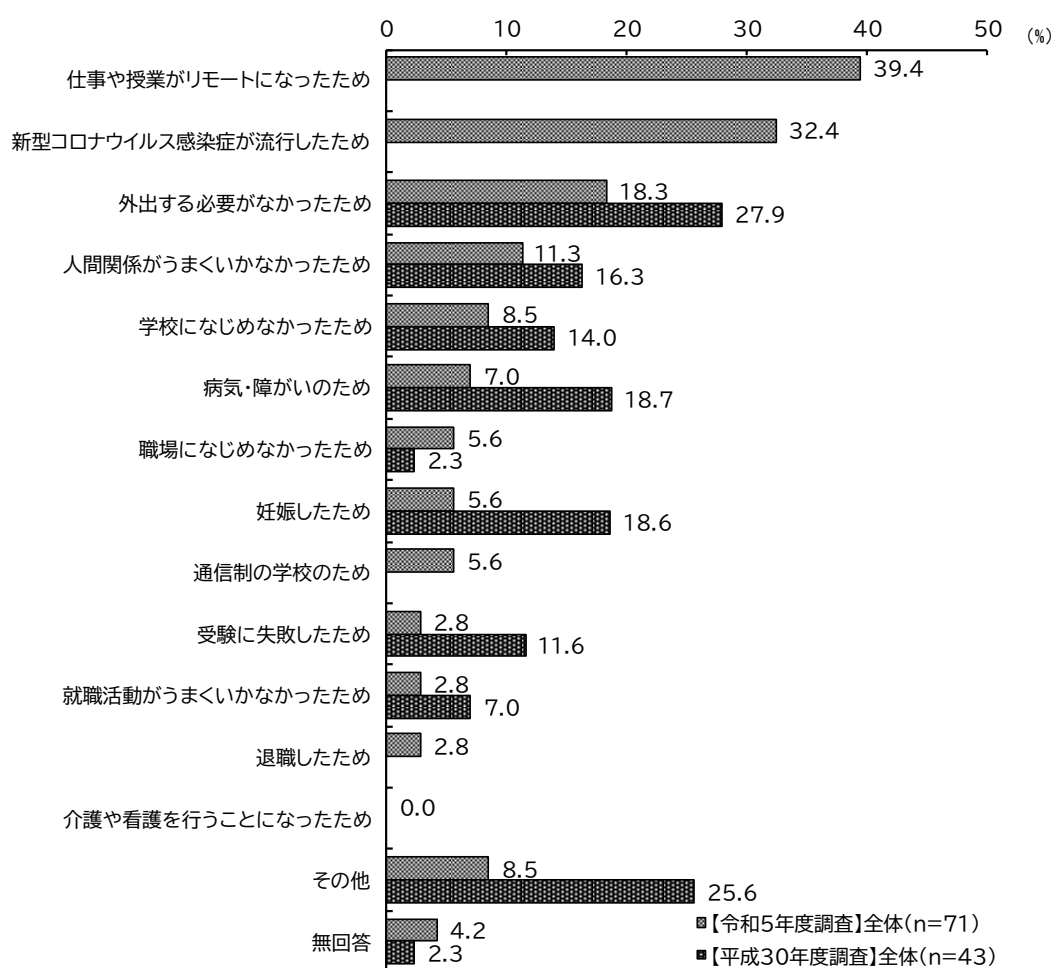
(9)外出しなくなったきっかけ(問 14-3)

外出頻度が低い人(問14で5～7と回答した人)に、外出しなくなったきっかけについてたずねたところ、「仕事や授業がリモートになったため(39.4%)」が最も高く、「新型コロナウイルス感染症が流行したため(32.4%)」、「外出する必要がなかったため(18.3%)」が続いている。



平成30年度調査では、「外出する必要がなかったため(27.9%)」が最も高く、「その他(25.6%)」、「病気、障がいのため(18.7%)」が続いている。令和5年度調査では「仕事や授業がリモートになったため(39.4%)」が最も高く、新型コロナウイルス感染症が外出をしなくなった理由に影響を与えている可能性がある。

外出しなくなったきっかけ(全体):複数回答【経年比較】
 <「自室からは出るが、家からは出ない」又は「自室からはほとんど出ない」と回答した人>

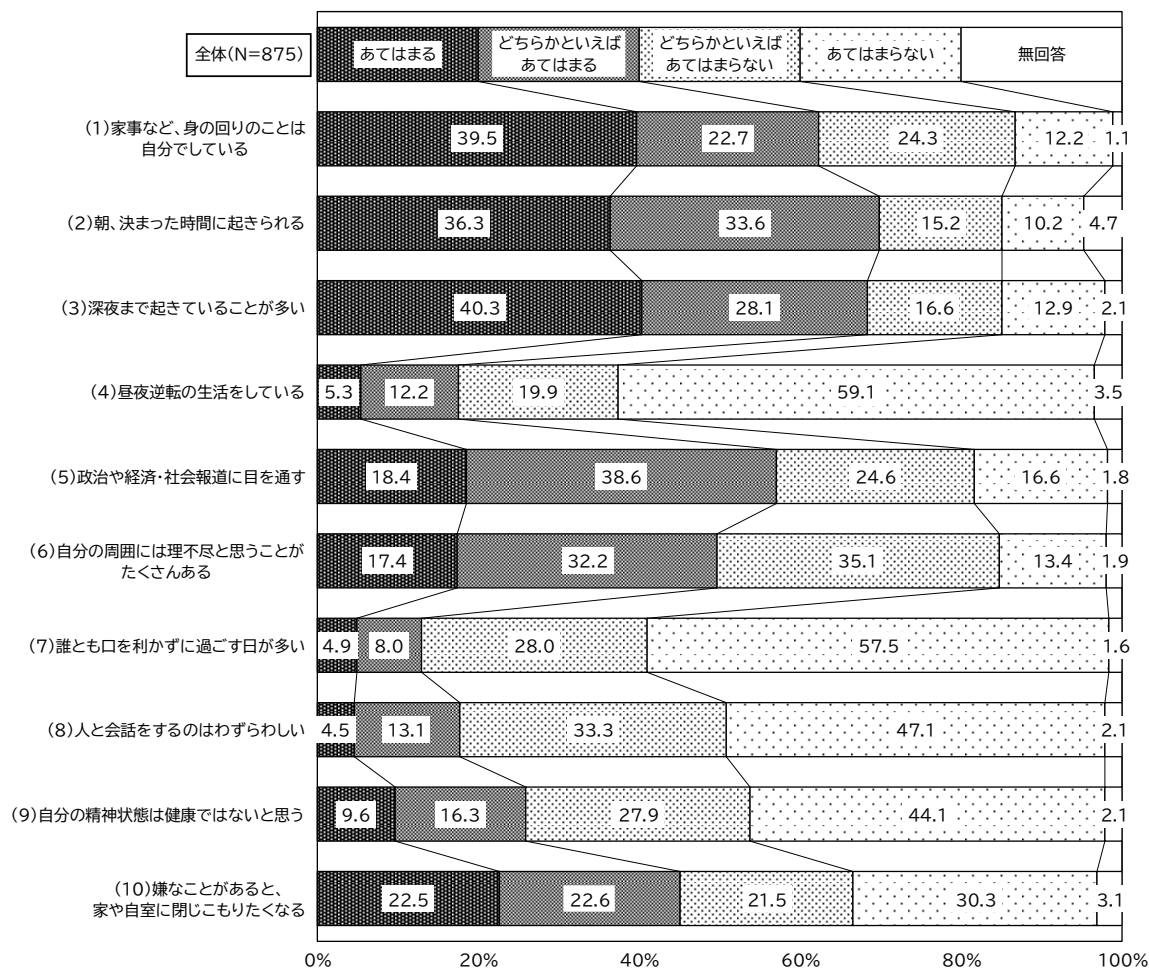


※平成30年度調査は、『あなたは、ふだんどのくらい外出しますか。』という質問で「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した人が回答対象となっている。

(10)生活習慣、健康状態(問 15)

生活習慣、健康状態は、《あてはまる・計》(「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計)の割合が『(2)朝、決まった時間に起きられる(69.9%)』で最も高く、『(3)深夜まで起きていることが多い(68.4%)』、『(1)家事など、身の回りのことは自分でしている(62.2%)』が続いている。

ふだんの生活(全体)



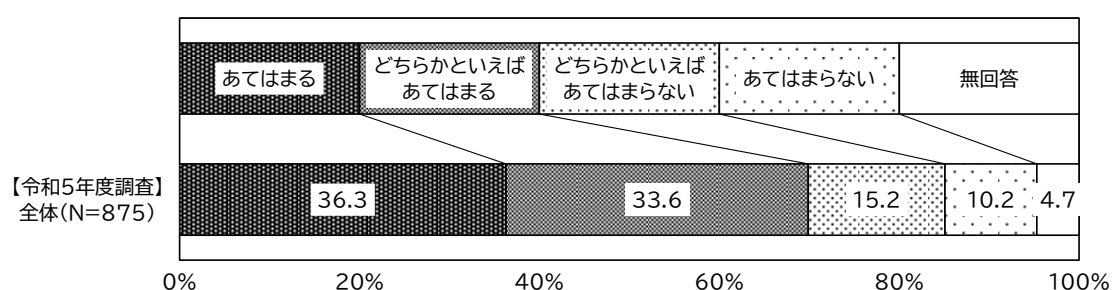
◇経年比較『ふだんの生活(2)～(10)』

令和5年度調査の『(5)政治や経済・社会報道に目を通す』の《あてはまる・計》の割合は 57.0%になっており、平成30年度調査の《あてはまる・計》(「はい」と「どちらかといえばはい」の合計)の41.5%より、15.5 ポイント高くなっている。

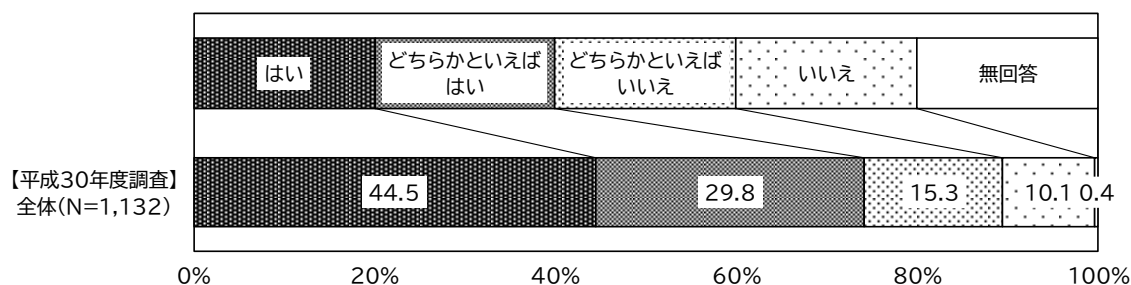
平成30年度調査と比較すると、《あてはまる・計》の割合が『(3)深夜まで起きていることが多い』、『(4)昼夜逆転の生活をしている』、『(5)政治や経済・社会報道に目を通す』、『(7)誰とも口を利かずに過ごす日が多い』、『(8)人と会話するのはわずらわしい』、『(9)自分の精神状態は健康ではないと思う』で高くなっている。

(2)朝、決まった時間に起きられる

令和5年度調査(全体)

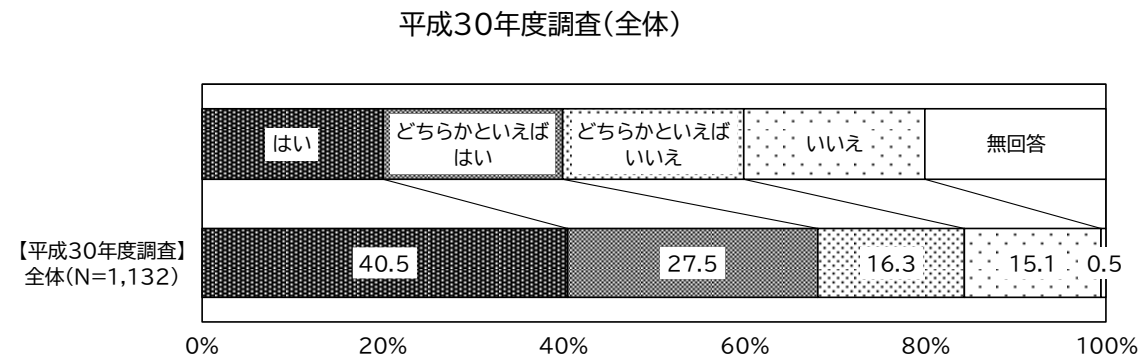
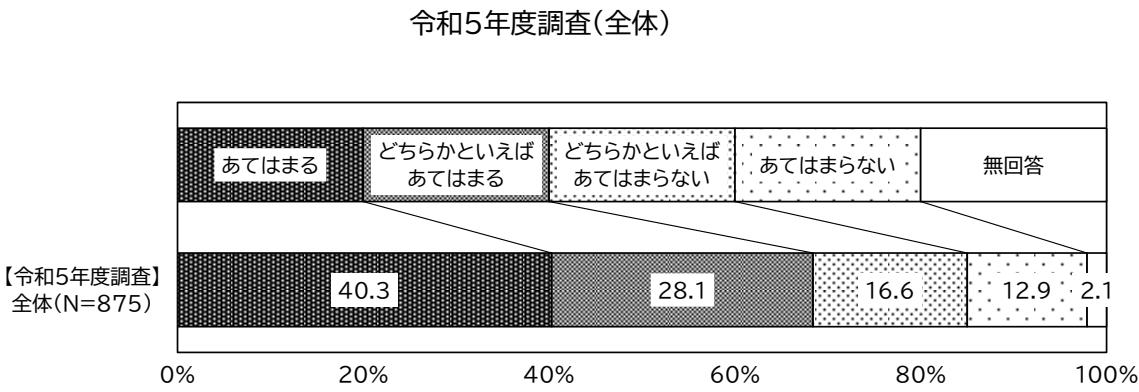


平成30年度調査(全体)

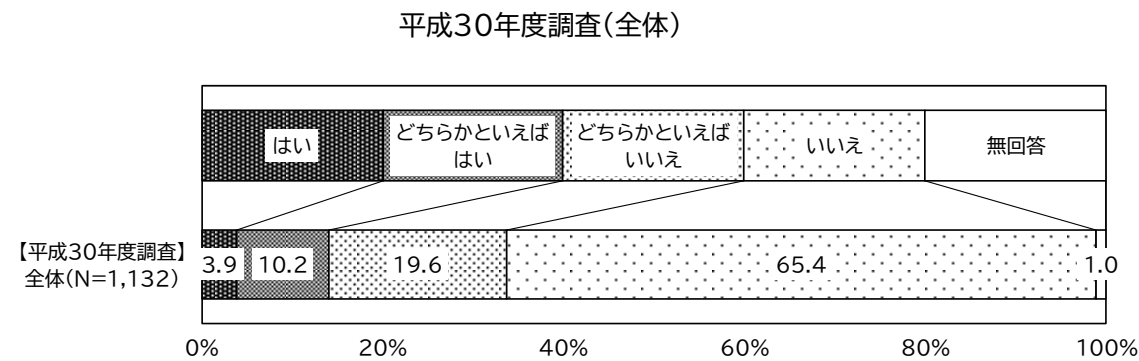
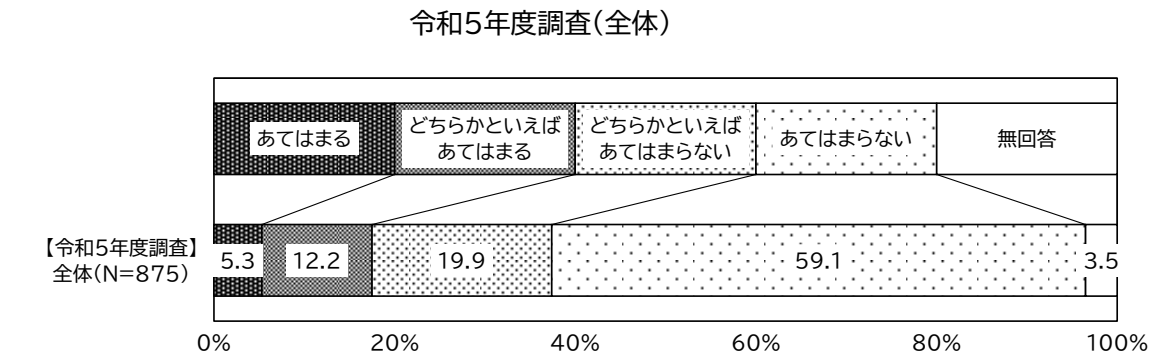


第1章 アンケート調査(無作為抽出)

(3)深夜まで起きていることが多い



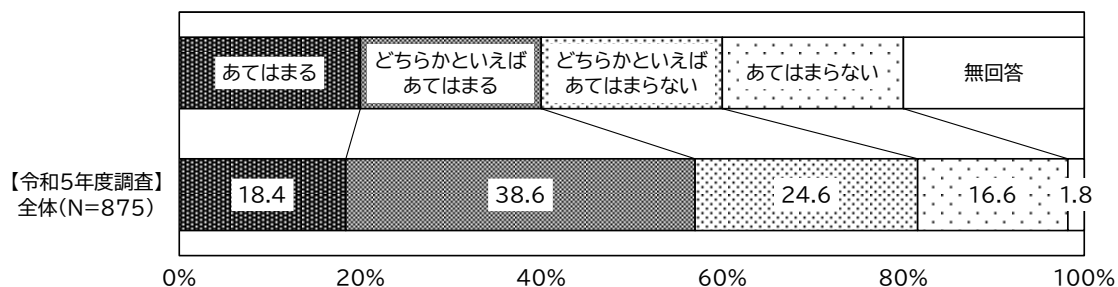
(4)昼夜逆転の生活をしている



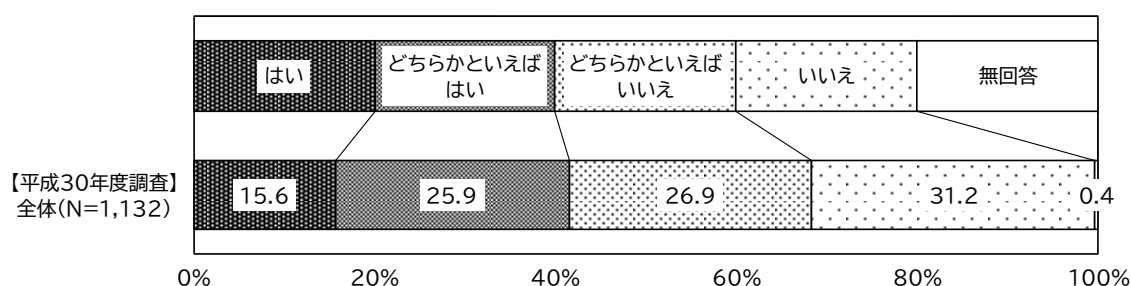
(5)政治や経済・社会報道に目を通す

(平成30年度調査では『新聞の政治や経済・社会報道に目を通す』)

令和5年度調査(全体)

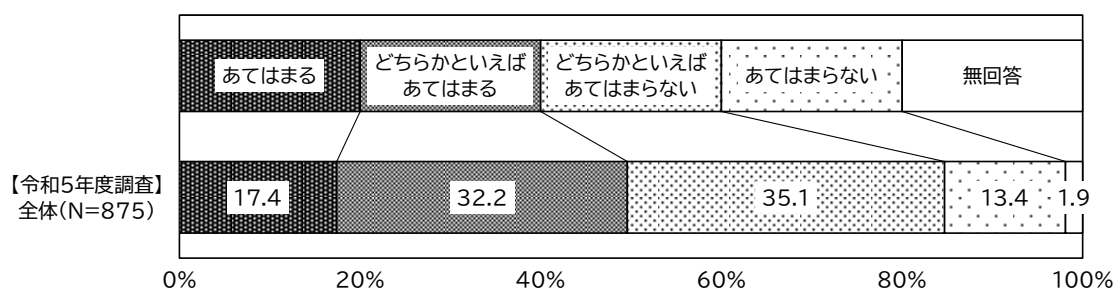


平成30年度調査(全体)

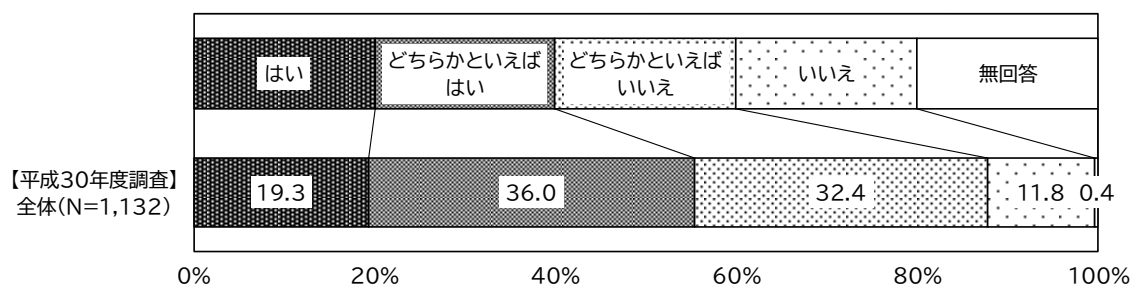


(6)自分の周囲には理不尽と思うことがたくさんある

令和5年度調査(全体)

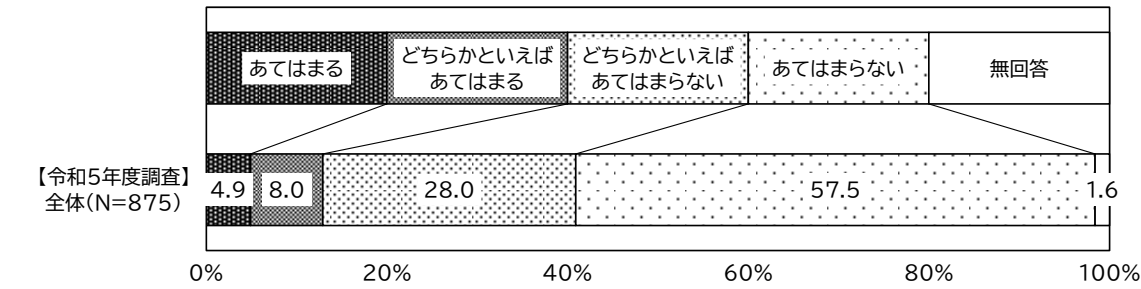


平成30年度調査(全体)

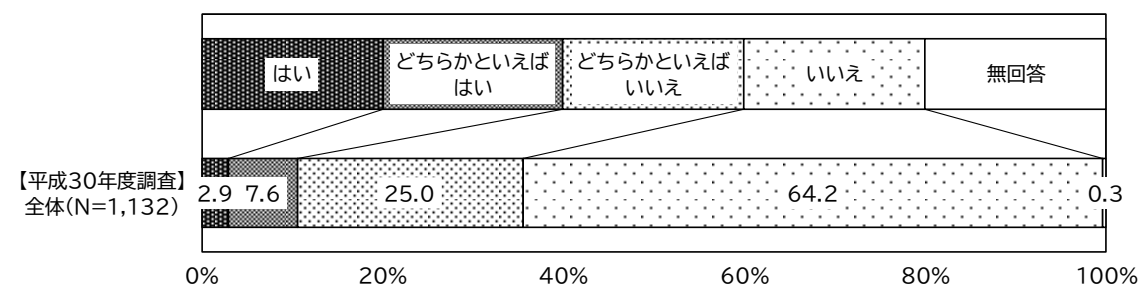


(7) 誰とも口を利かずに過ごす日が多い

令和5年度調査(全体)

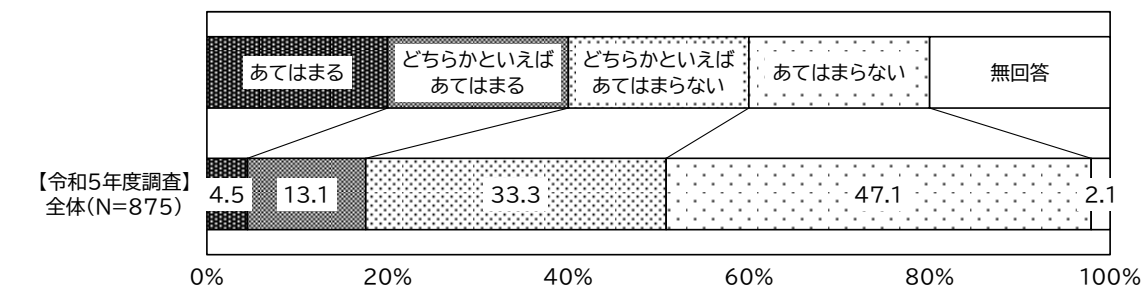


平成30年度調査(全体)

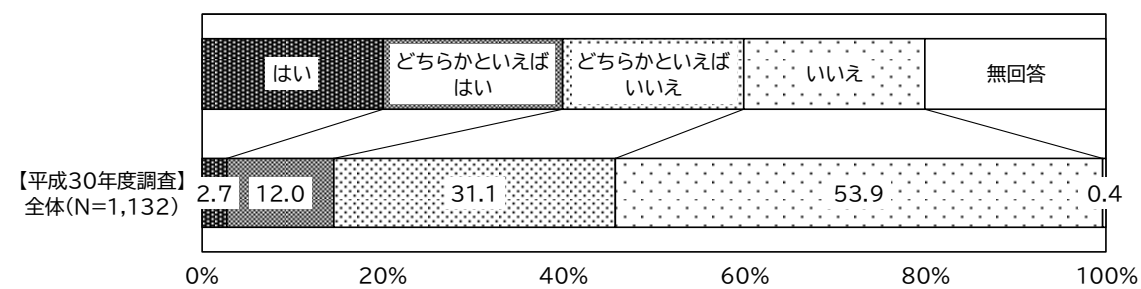


(8) 人と会話するのはわずらわしい

令和5年度調査(全体)

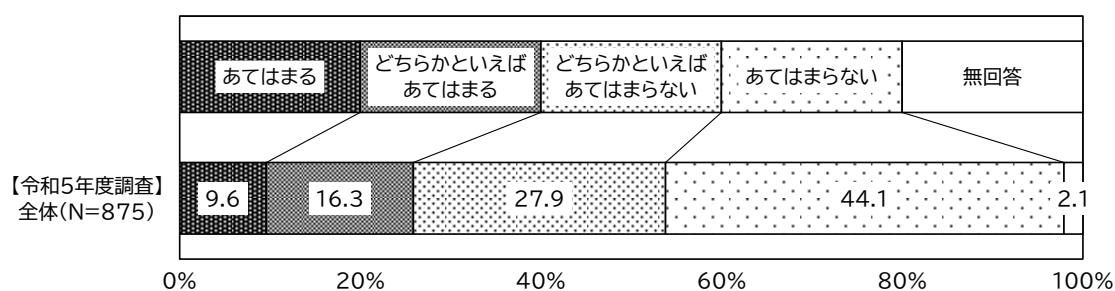


平成30年度調査(全体)

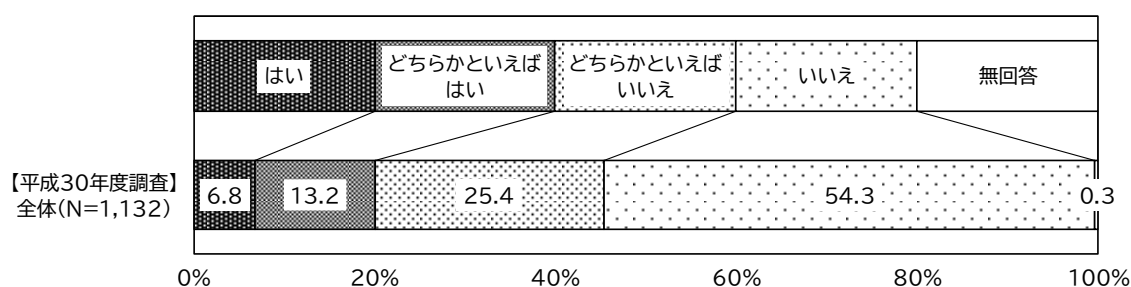


(9)自分の精神状態は健康ではないと思う

令和5年度調査(全体)

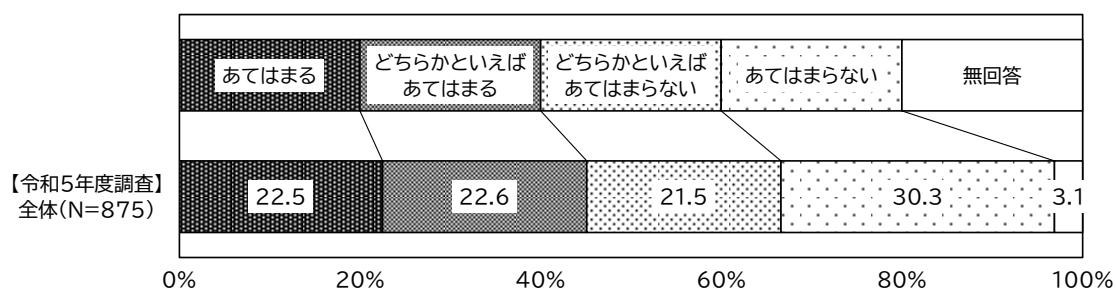


平成30年度調査(全体)

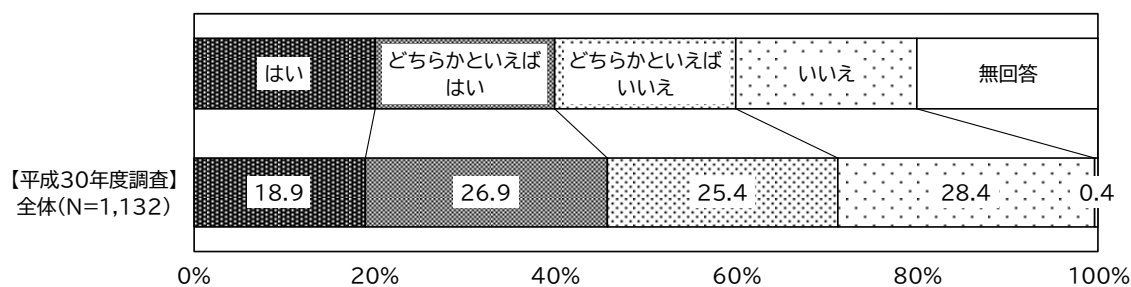


(10)嫌なことがあると、家や自室に閉じこもりたくなる

令和5年度調査(全体)



平成30年度調査(全体)



◇クロス集計『(9)自分の精神状態は健康ではないと思う』

年代別にみると、『自分の精神状態は健康ではないと思う』の《あてはまる・計》(「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計)の割合が、20～24歳で29.2%と高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人は《あてはまる・計》の割合が76.5%と高くなっており、自己肯定感が低い人ほど《あてはまる・計》の割合が高い傾向にある。

自己有用感別にみると、人や社会の役に立ちたくない人は《あてはまる・計》の割合が52.4%と高くなっており、自己肯定感が低い人ほど《あてはまる・計》の割合が高い傾向にある。

生活習慣、健康状態『自分の精神状態は健康ではないと思う』

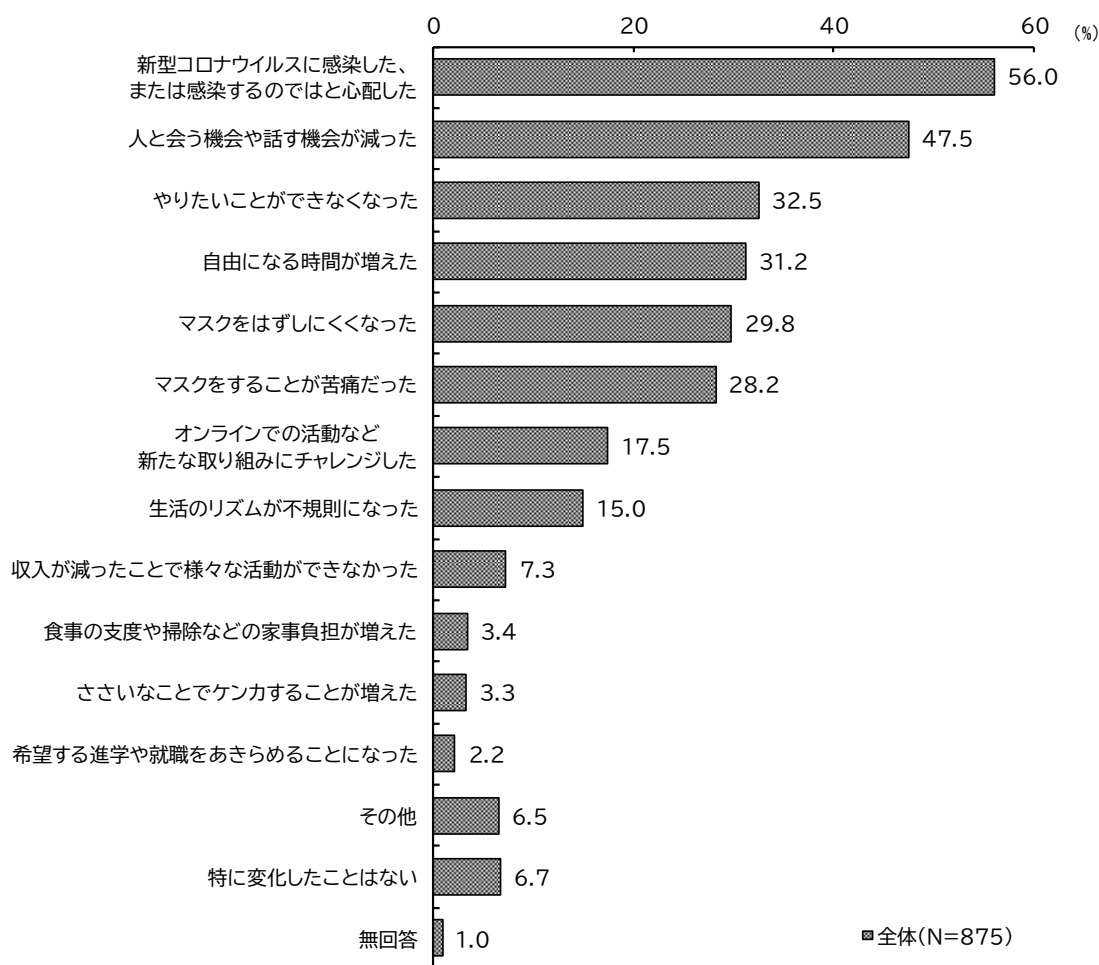
(全体、年代別、自己肯定感別、自己有用感別)

						(%)
		あてはまる	あてはまる くらい かといえ ば	あてはまる くらい かといえ ば	あてはまる ない	無回答
全 体 (N=875)		9.6	16.3	27.9	44.1	2.1
年 代 別	15 ～ 19 歳 (n=291)	7.2	14.4	26.8	48.1	3.4
	20 ～ 24 歳 (n=257)	13.2	16.0	28.4	41.2	1.2
	25 ～ 29 歳 (n=326)	8.6	18.4	28.5	42.9	1.5
(自己肯定感別)	とてもそう思う (n=231)	6.9	9.5	17.3	64.1	2.2
	まあそう思う (n=313)	5.1	9.9	34.8	49.8	0.3
	どちらでもない (n=116)	6.0	28.4	29.3	35.3	0.9
	あまりそう思わない (n=97)	17.5	33.0	28.9	20.6	0.0
	そう思わない (n=51)	45.1	31.4	19.6	2.0	2.0
(自己有用感別)	とてもそう思う (n=318)	9.4	14.8	21.7	52.8	1.3
	まあそう思う (n=360)	6.7	16.4	31.7	43.9	1.4
	どちらでもない (n=91)	15.4	19.8	30.8	34.1	0.0
	あまりそう思わない (n=45)	8.9	31.1	33.3	24.4	2.2
	そう思わない (n=21)	42.9	9.5	23.8	23.8	0.0

(11)新型コロナウイルス感染症によって変化したこと、感じたこと(問 16)

新型コロナウイルス感染症によって変化したこと、感じたことは、「新型コロナウイルスに感染した、または感染するのではと心配した(56.0%)」が最も高く、「人と会う機会や話す機会が減った(47.5%)」、「やりたいことができなくなった(32.5%)」が続いている。

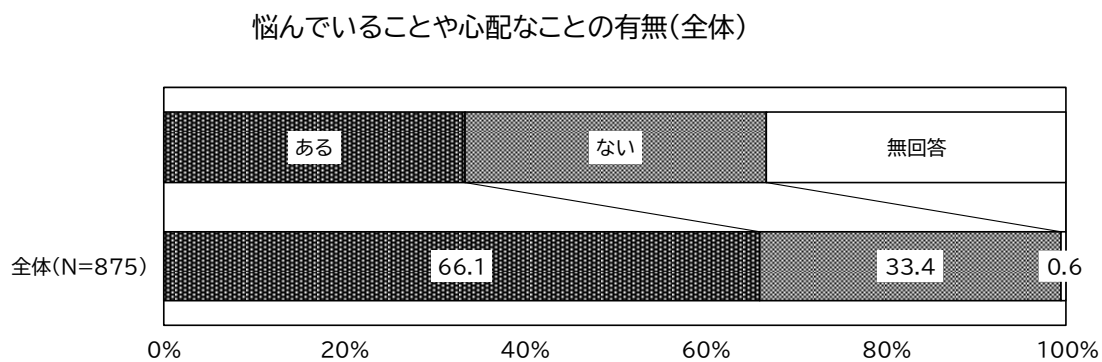
新型コロナウイルス感染症によって変化したこと、感じたこと(全体):複数回答



3 悩みや相談相手

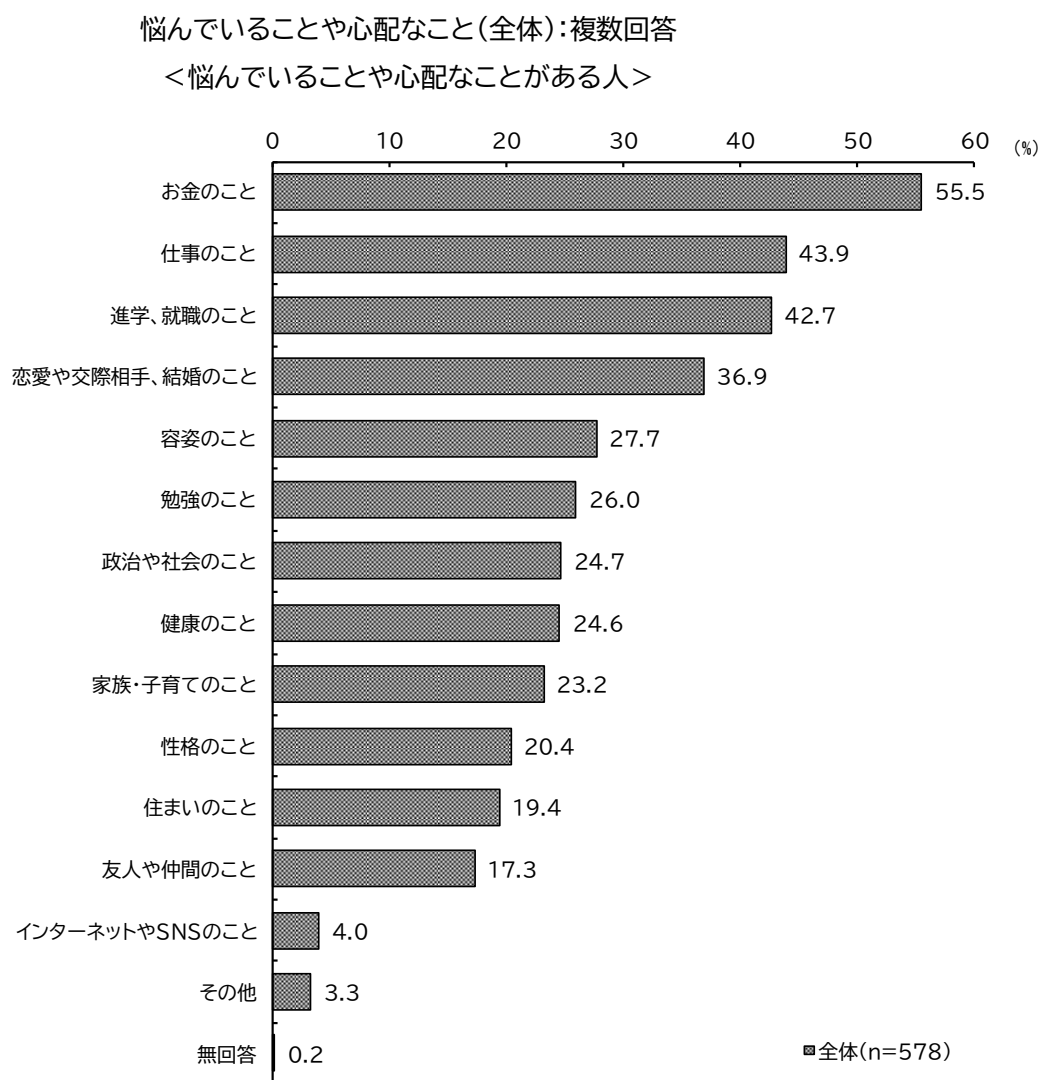
(1)悩んでいることや心配なことの有無(問 17)

悩んでいることや心配なことの有無は、「ある」が 66.1%、「ない」が 33.4%となっている。



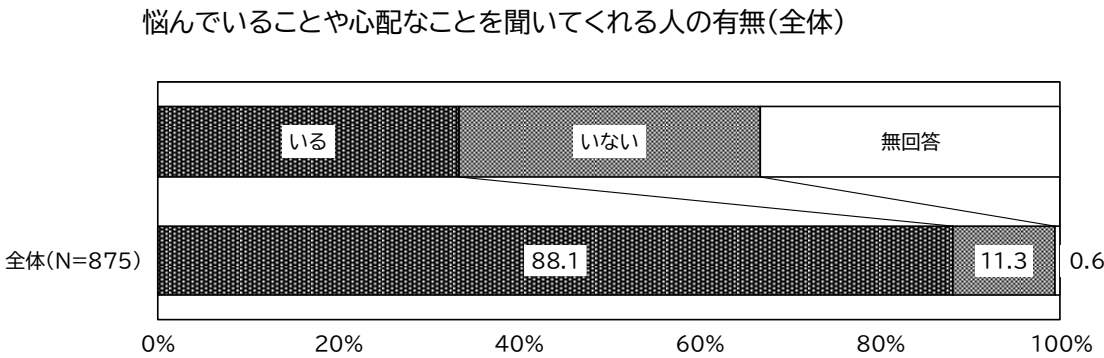
(2)悩んでいることや心配なこと(問 17-1)

問 17 で「1. ある」と回答した人に、悩んでいることや心配なことについてたずねたところ、「お金のこと(55.5%)」が最も高く、「仕事のこと(43.9%)」、「進学、就職のこと(42.7%)」が続いている。



(3)悩んでいることや心配なことを聞いてくれる人の有無(問 18)

悩んでいることや心配なことを聞いてくれる人の有無は、「いる」が 88.1%、「いない」が 11.3%となっている。



年代別にみると、15～19 歳は「いない」が 14.8%と高くなっている。
孤独だと感じる別にみると、とてもそう思う人は「いない」が 38.7%と孤独だと感じる人ほど高くなっている。

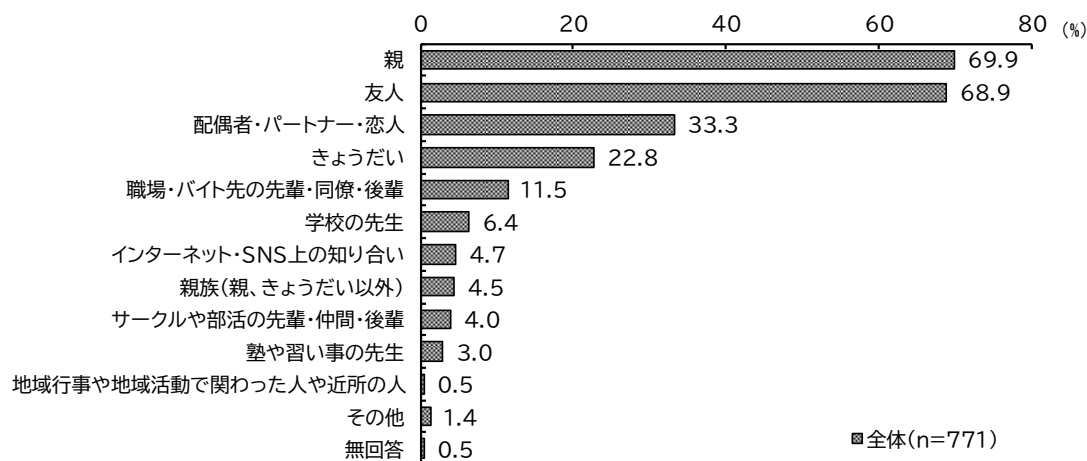
悩んでいることや心配なことを聞いてくれる人の有無(全体、年代別、孤独だと感じる別)

					(%)		
					い る	い な い	無 回 答
全 体 (N=875)					88.1	11.3	0.6
年 代 別	15	～	19	歳 (n=291)	83.8	14.8	1.4
	20	～	24	歳 (n=257)	92.2	7.8	0.0
	25	～	29	歳 (n=326)	88.7	11.0	0.3
感 孤 独 だ と 別	と て も そ う 思 う (n= 62)				61.3	38.7	0.0
	ま あ そ う 思 う (n=127)				77.2	22.8	0.0
	ど ち ら で も な い (n=158)				89.2	10.1	0.6
	あ ま り そ う 思 わ な い (n=269)				92.6	7.1	0.4
	そ う 思 わ な い (n=233)				96.1	3.4	0.4

(4)悩んでいることや心配なことを聞いてくれる相手(問 18-1)

問 18 で「1. いる」と回答した人に、悩んでいることや心配なことを聞いてくれる相手についてたずねたところ、「親(69.9%)」が最も高く、「友人(68.9%)」、「配偶者・パートナー・恋人(33.3%)」が続いている。

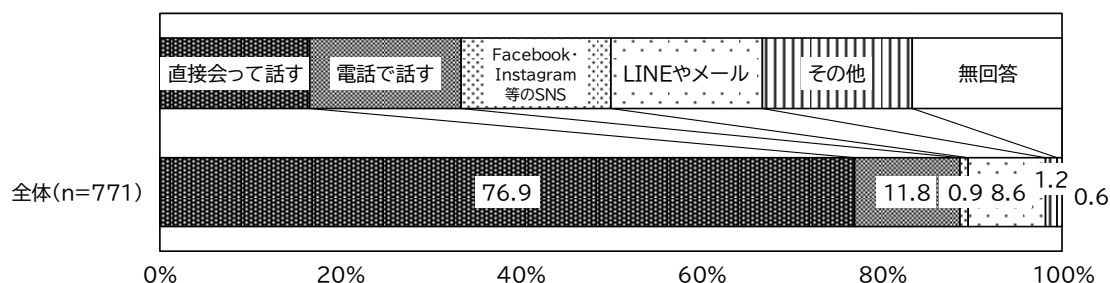
悩んでいることや心配なことを聞いてくれる相手(全体):3つまで複数回答
 <悩んでいることや心配なことを聞いてくれる相手がいる人>



(5)悩んでいることや心配なことを話す手段(問 18-2)

問 18 で「1. いる」と回答した人に、悩んでいることや心配なことを話す手段についてたずねたところ、「直接会って話す(76.9%)」が最も高く、「電話で話す(11.8%)」、「LINEやメール(8.6%)」が続いている。

悩んでいることや心配なことを話す手段(全体)
 <悩んでいることや心配なことを聞いてくれる相手がいる人>

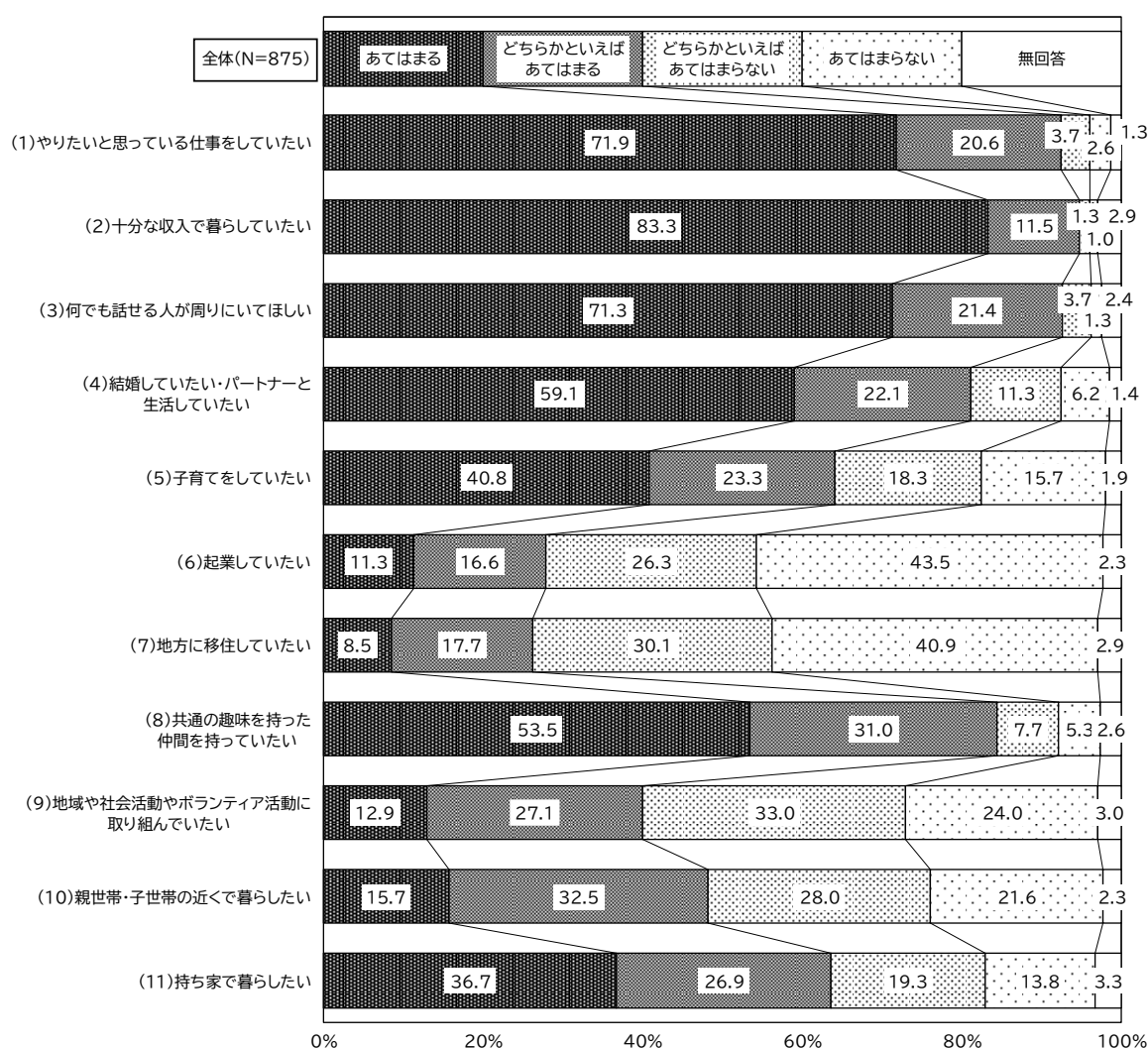


4 将来

(1)20 年後に希望する暮らし方(問 19)

20 年後に希望する暮らし方は、《あてはまる・計》(「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計)の割合が『(2)十分な収入で暮らしたい(94.8%)』で最も高く、『(3)何でも話せる人が周りにいてほしい(92.7%)』、『(1)やりたいと思っている仕事をしていたい(92.5%)』が続いている。

20 年後の自己イメージ(全体)



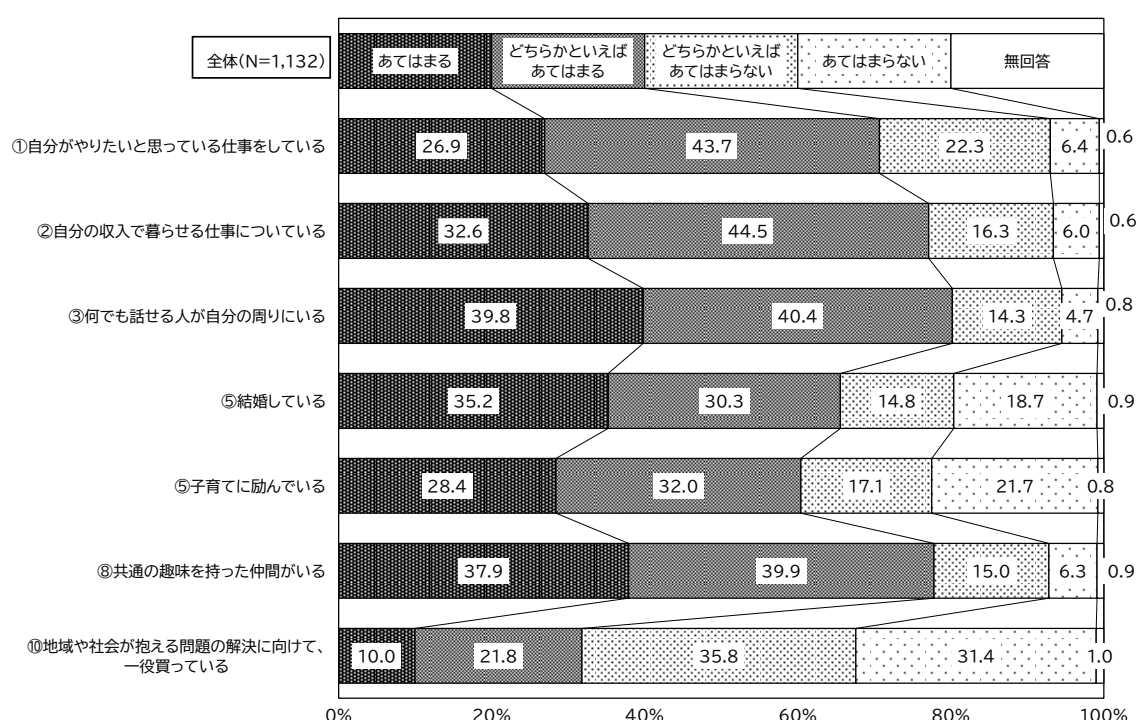
『(4)結婚したい・パートナーと生活したい』の《あてはまる・計》の割合が 81.2%となっており、平成30年度調査の『⑤結婚している』の《あてはまる・計》は65.5%となっている。

また、『(1)やりたいと思っている仕事をしている』の《あてはまる・計》の割合が 92.5%となっており、平成30年度調査の『①自分がやりたいと思っている仕事をしている』の《あてはまる・計》の割合は、70.6%となっている。

その他に、『(2)十分な収入で暮らしたい』の《あてはまる・計》の割合が 94.8%となっており、平成30年度調査の『②自分の収入で暮らせる仕事についている』は 77.1%となっている。

『(5)子育てををしたい』の《あてはまる・計》の割合は 64.1%となっており、平成30年度調査の『⑤子育てに励んでいる』の 60.4%と比較して、いずれも増えている。

20 年後の自己イメージ(全体)【参考:平成30年度調査】

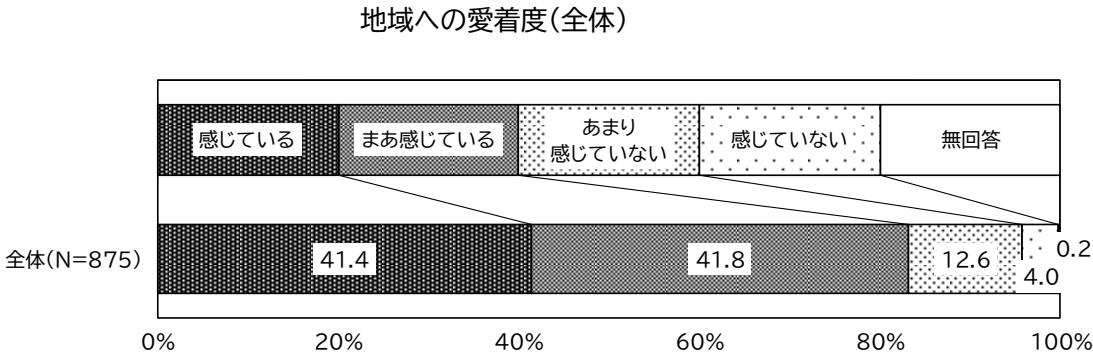


※平成30年度調査は、質問が『あなたが持っている 20 年後の自分のイメージについて、あてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。』となっている。

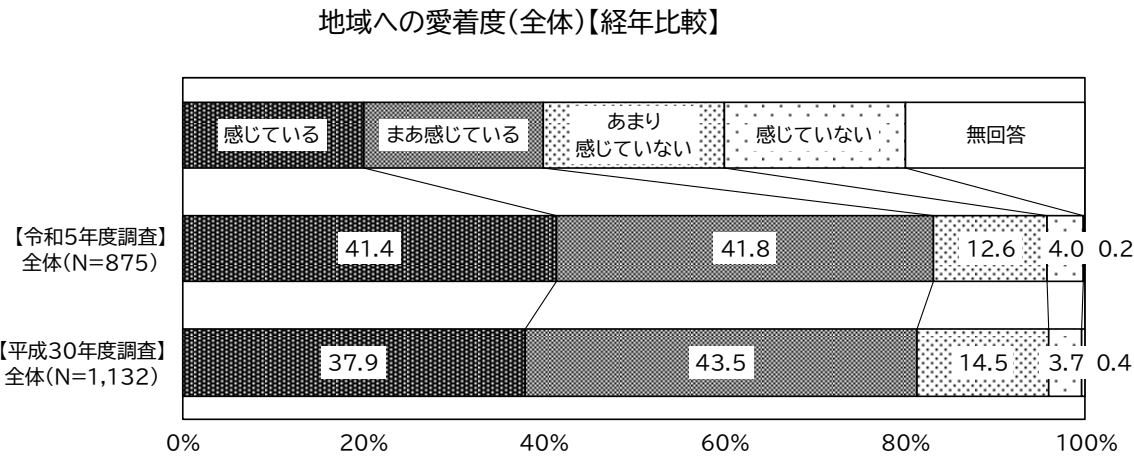
5 地域コミュニティ

(1)地域への愛着度(問 20)

地域への愛着度は、「感じている」が 41.4%、「まあ感じている」が 41.8%、「あまり感じていない」が 12.6%、「感じていない」が4.0%となっている。



令和5年度調査では平成30年度調査より「感じている(41.4%)」が3.5 ポイント高くなっている。



自己有用感別にみると、人や社会にとっても役に立ちたい人は「感じている」の割合が 52.2%となっており、自己有用感が高い人ほど、地域への愛着度が高い傾向にある。

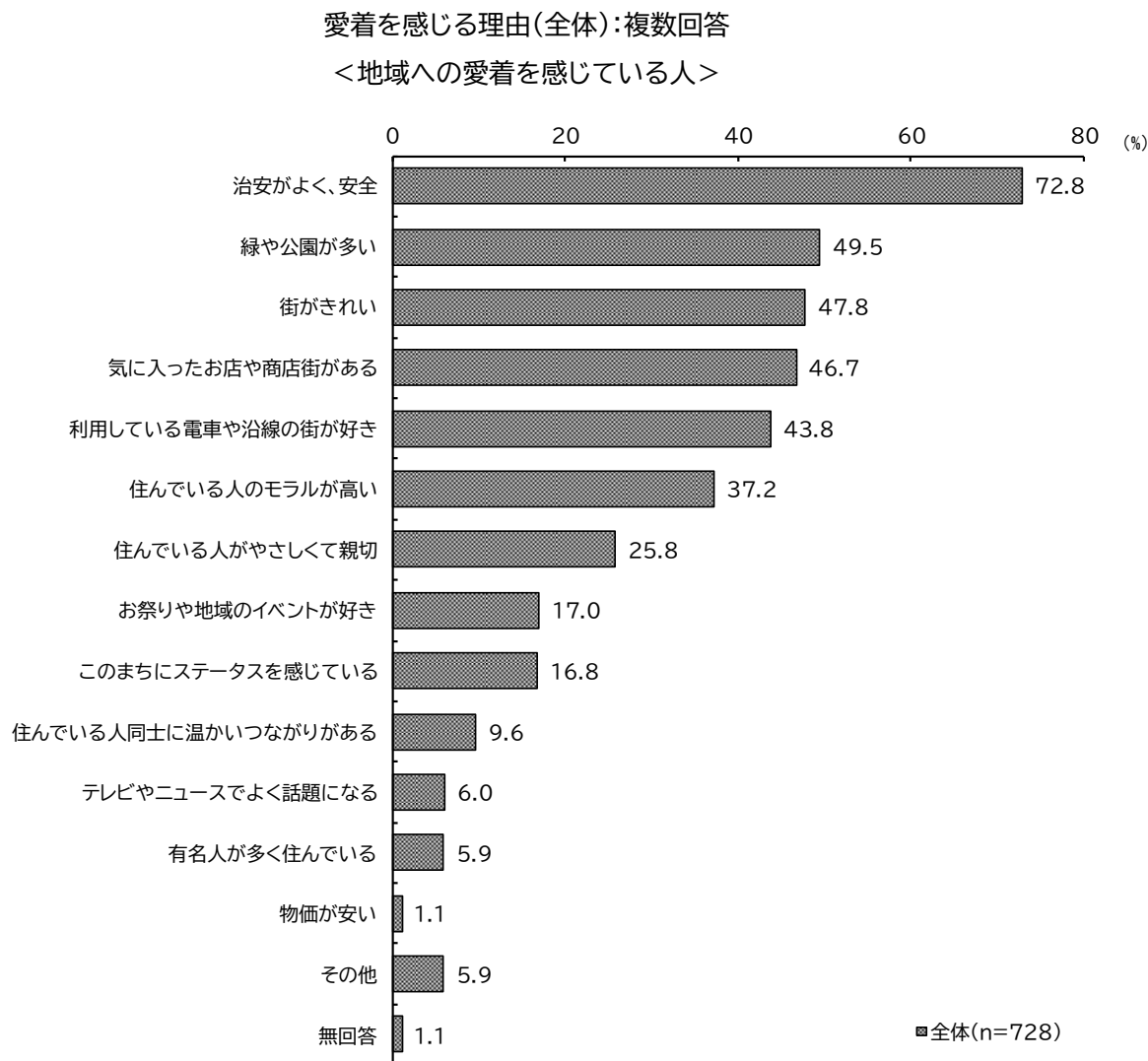
定住意向別にみると、住み続けたい人は「感じている」の割合が 75.2%と高くなっており、住み続けたくない人は「感じていない」の割合が 47.6%と高くなっている。定住意向がある人ほど、地域への愛着度が高い傾向にある。

地域への愛着度(全体、自己有用感別、定住意向別)

		(%)				
		感じている	まあ感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答
全 体 (N=875)		41.4	41.8	12.6	4.0	0.2
人 や 社 会 の 役 に 立 ち た い (自 己 有 用 感 別)	と て も そ う 思 う (n=318)	52.2	34.0	9.4	3.8	0.6
	ま あ そ う 思 う (n=360)	36.9	47.8	11.4	3.9	0.0
	ど ち ら で も な い (n= 91)	33.0	45.1	18.7	3.3	0.0
	あ ま り そ う 思 わ な い (n= 45)	33.3	44.4	20.0	2.2	0.0
	そ う 思 わ な い (n= 21)	23.8	38.1	23.8	14.3	0.0
定 住 意 向 別	住 み 続 け た い (n=282)	75.2	23.4	1.1	0.4	0.0
	どちらかといえば住み続けたい (n=430)	29.8	55.1	12.6	2.3	0.2
	住み続けたいが、住み続けられない (n= 73)	21.9	53.4	21.9	2.7	0.0
	どちらかといえば住み続けたくない (n= 62)	4.8	29.0	50.0	16.1	0.0
	住 み 続 け た く な い (n= 21)	4.8	23.8	23.8	47.6	0.0

(2)愛着を感じる理由(問 20-1)

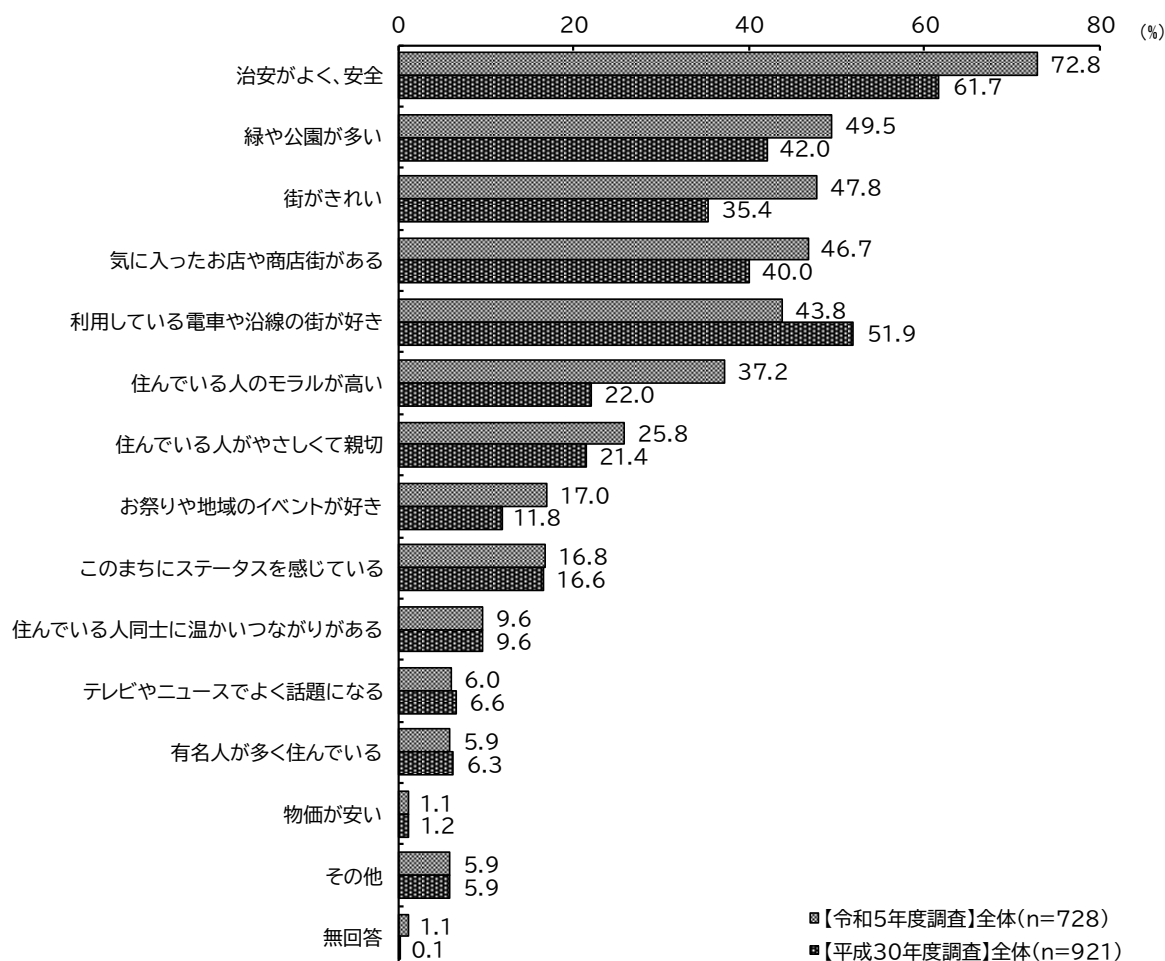
問 20 で「1. 感じている」「2. まあ感じている」と回答した人に、愛着を感じる理由についてたずねたところ、「治安がよく、安全(72.8%)」が最も高く、「緑や公園が多い(49.5%)」、「街がきれい(47.8%)」が続いている。



平成30年度調査と比較すると、令和5年度調査は、「治安がよく、安全(72.8%)」が平成30年度調査(61.7%)より、11.1 ポイント高くなっており、「利用している電車や沿線の街が好き(43.8%)」が平成30年度調査(51.9%)より8.1 ポイント低くなっている。

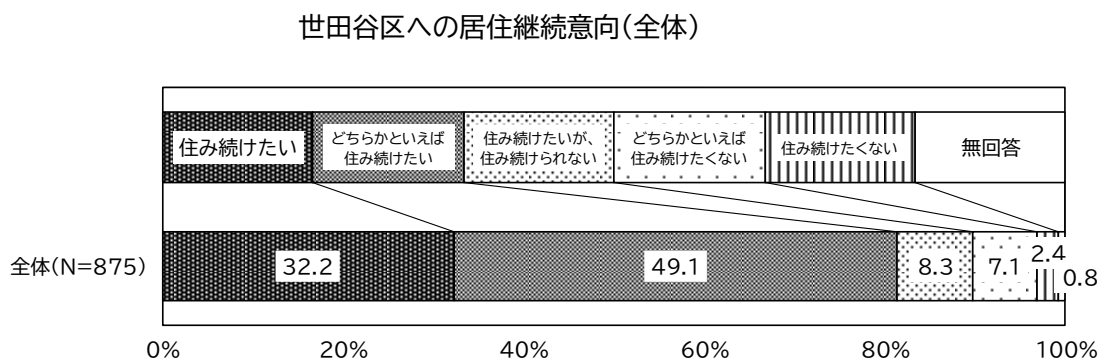
愛着を感じる理由(全体):複数回答【経年比較】

<地域への愛着を感じている人>



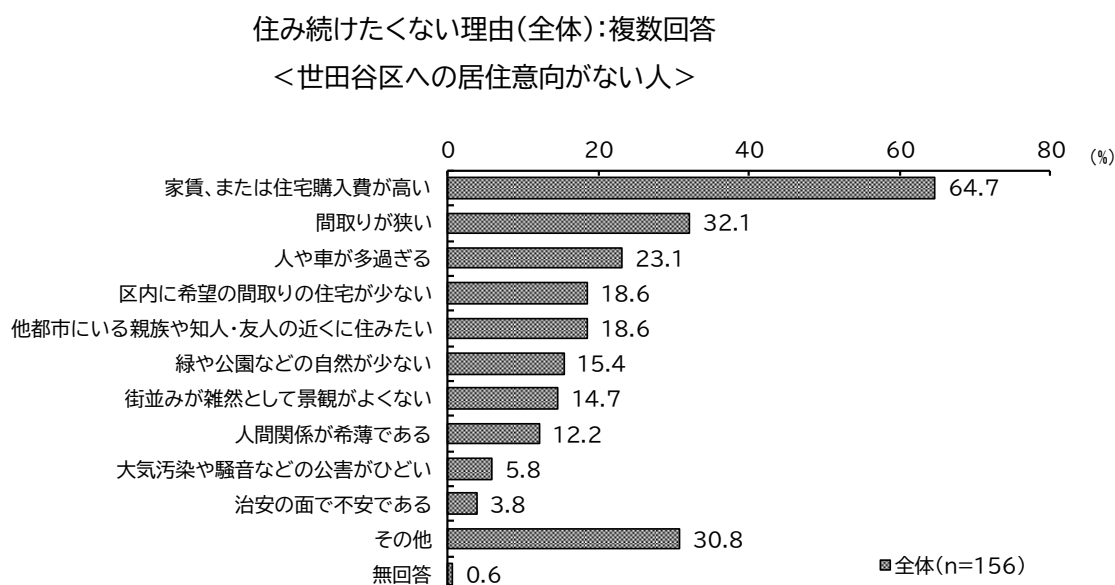
(3)世田谷区への居住継続意向(問 21)

世田谷区への居住継続意向は、「住みたい」が 32.2%、「どちらかといえば住みたい」が 49.1%、「住みたいが、住み続けられない」が8.3%、「どちらかといえば住み続けたくない」が7.1%、「住み続けたくない」が2.4%となっている。



(4)住み続けたくない理由(問 21-1)

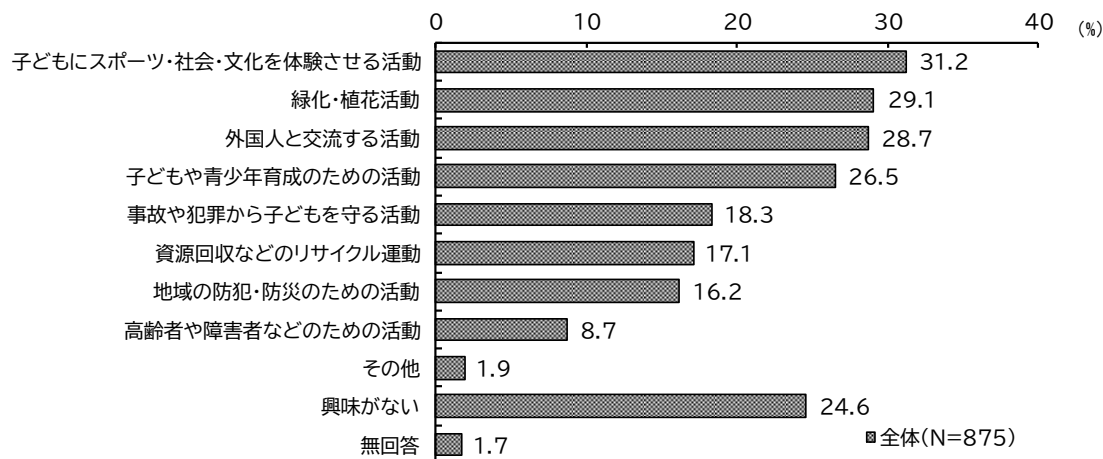
世田谷区への居留意向がない人(問 21 で3、4、5と回答した人)に、住み続けたくない理由についてたずねたところ、「家賃、または住宅購入費が高い(64.7%)」が最も高く、「間取りが狭い(32.1%)」、「人や車が多過ぎる(23.1%)」が続いている。



(5)興味ある地域住民主体の活動(問 22)

興味ある地域住民主体の活動は、「子どもにスポーツ・社会・文化を体験させる活動(31.2%)」が最も高く、「緑化・植花活動(29.1%)」、「外国人と交流する活動(28.7%)」が続いている。

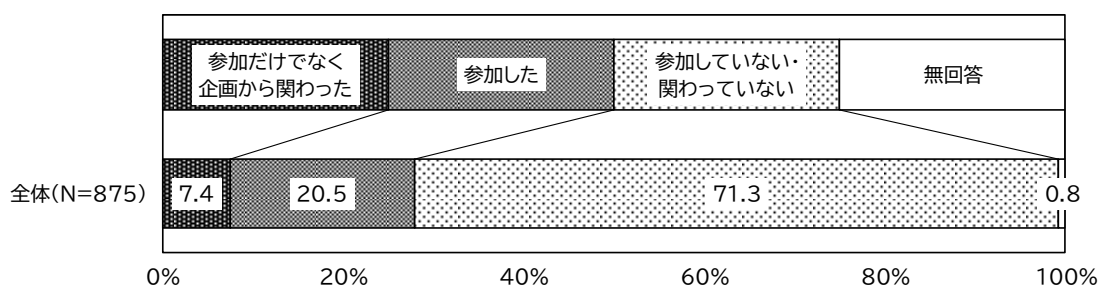
興味ある地域住民主体の活動(全体):複数回答



(6)学校や仕事以外の活動参加の有無(問 23)

最近2、3年の学校や仕事以外の活動参加の有無は、「参加だけでなく企画から関わった」が7.4%、「参加した」が20.5%、「参加していない・関わっていない」が71.3%となっている。

学校や仕事以外の活動参加の有無(全体)



第1章 アンケート調査(無作為抽出)

自己有用感別にみると、人や社会にとっても役に立ちたい人は《参加した・計》(「参加だけでなく、企画から関わった」と「参加した」の合計)の割合が34.3%となっており、自己有用感が高い人は、「参加した」の割合が高い傾向にある。

現在の状況別にみると、《参加した・計》の割合は無職(求職中の人を含む)が35.7%と最も高く、生徒・学生(33.4%)、パート、アルバイト(30.4%)が続いている。生徒・学生は正社員・正規職員(自営業を含む)と比べて、《参加した・計》の割合が高くなっている。正社員・正規職員(自営業を含む)と契約社員など非正規職員は《参加した・計》の割合がそれぞれ22.0%、8.7%となっており、社会人になると仕事以外の活動への参加・参画が低くなっている。

区へ自分の考えを伝えたいか別にみると、伝えたい人ほど《参加した・計》の割合が高くなっており、伝えたくない人ほど「参加していない・関わっていない」の割合が高くなっている。

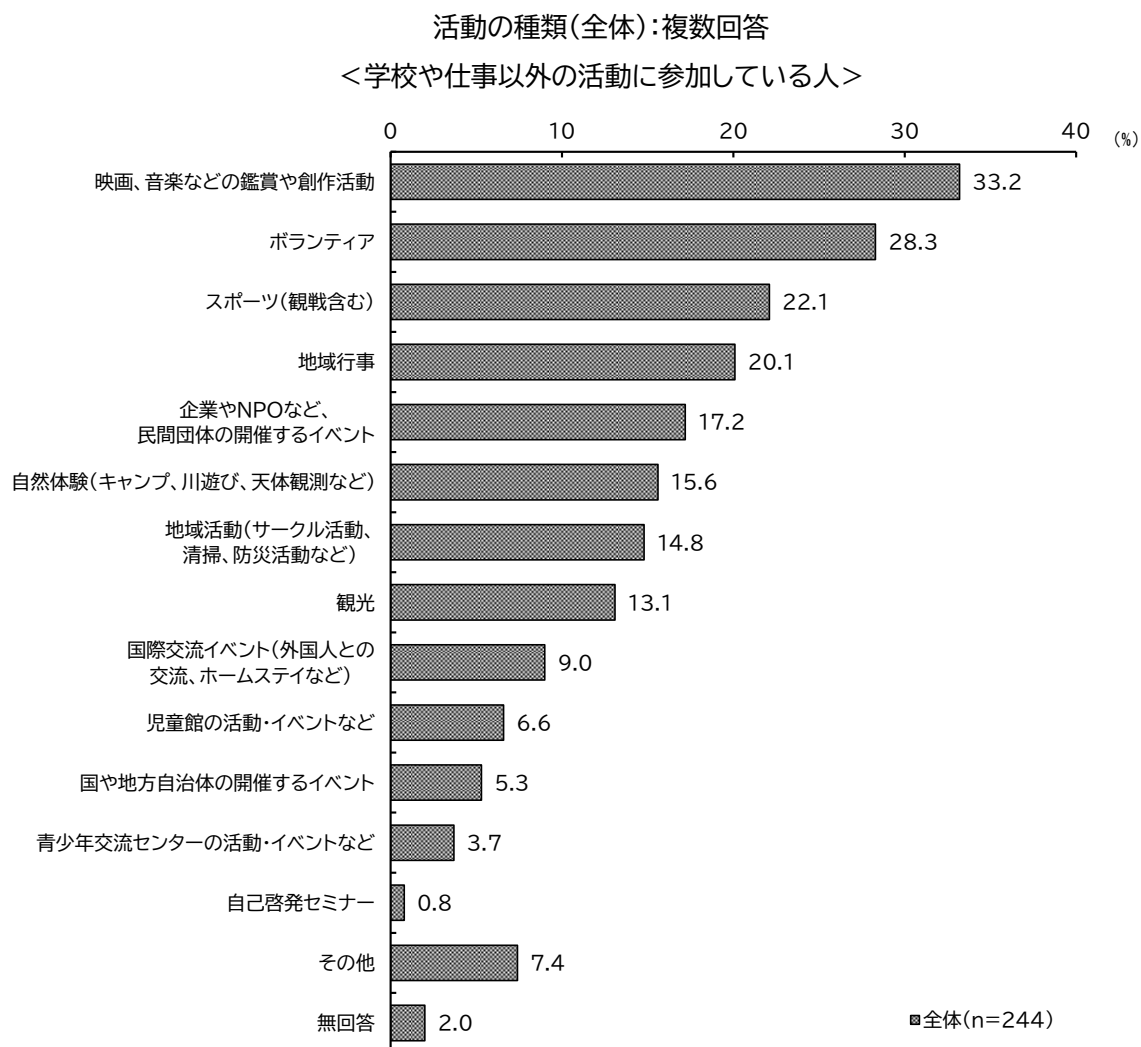
学校や仕事以外の活動参加の有無

(全体、自己有用感別、現在の状況別、区へ自分の考えを伝えたいか別)

		(%)			
		企画参加 からだけ 関わった	参加 した	関参 わ加 つて いい ない ・	無 回 答
全 体 (N=875)		7.4	20.5	71.3	0.8
人 や 社 会 の 役 に 立 ち た い (自 己 有 用 感 別)	と て も そ う 思 う (n=318)	10.1	24.2	65.4	0.3
	ま あ そ う 思 う (n=360)	7.2	18.9	73.1	0.8
	ど ち ら で も な い (n= 91)	0.0	18.7	81.3	0.0
	あ ま り そ う 思 わ な い (n= 45)	6.7	13.3	80.0	0.0
	そ う 思 わ な い (n= 21)	4.8	4.8	85.7	4.8
現 在 の 状 況 別	生 徒 ・ 学 生 (n=422)	9.0	24.4	65.6	0.9
	正社員・正規職員(自営業を含む)(n=359)	5.6	16.4	77.4	0.6
	契 約 社 員 な ど 非 正 規 職 員 (n= 23)	0.0	8.7	91.3	0.0
	パ ー ト 、 ア ル バ イ ト (n= 46)	8.7	21.7	67.4	2.2
	専 業 主 婦 (夫) (n= 5)	0.0	0.0	100.0	0.0
	無 職 (求 職 中 の 人 を 含 む) (n= 14)	7.1	28.6	64.3	0.0
	そ の 他 (n= 4)	25.0	0.0	75.0	0.0
区 へ 自 分 の 考 え を 伝 え た い か 別	伝 え た い (n=150)	12.7	29.3	58.0	0.0
	ど ち ら か と い え ば 伝 え た い (n=287)	8.4	22.6	67.9	1.0
	ど ち ら か と い え ば 伝 え た く な い (n=269)	5.2	18.2	76.6	0.0
	伝 え た く な い (n=157)	3.8	12.1	83.4	0.6

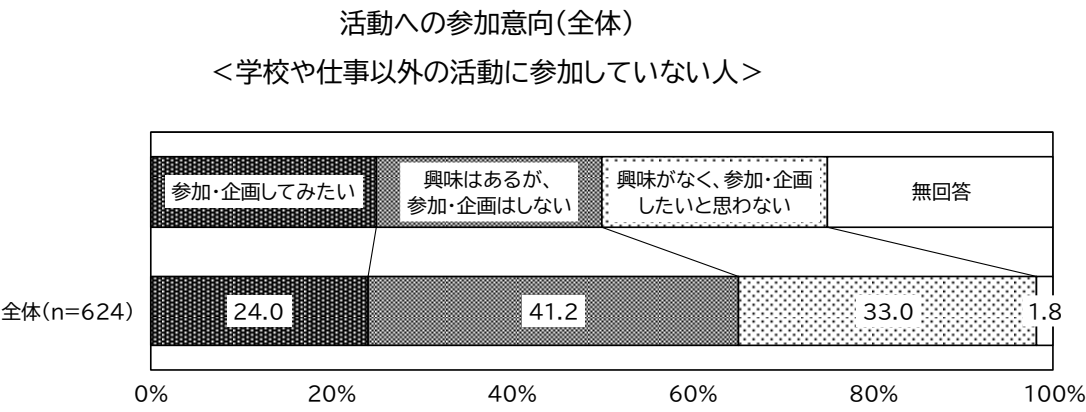
(7)活動の種類(問 23-1)

問 23 で「1. 参加だけでなく企画から関わった」「2. 参加した」と回答した人に、活動の種類についてたずねたところ、「映画、音楽などの鑑賞や創作活動(33.2%)」が最も高く、「ボランティア(28.3%)」、「スポーツ(観戦含む)(22.1%)」が続いている。

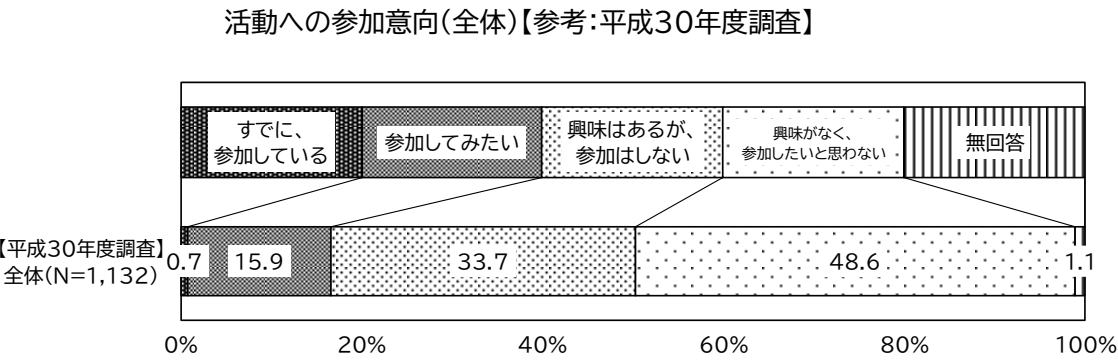


(8)活動への参加意向(問 23-2)

問 23 で「3. 参加していない・関わっていない」と回答した人に、活動への参加意向についてたずねたところ、「参加・企画してみたい」が 24.0%、「興味はあるが、参加・企画はしない」が 41.2%、「興味がなく、参加・企画したいと思わない」が 33.0%となっている。



平成30年度調査では、「参加してみたい」が 15.9%、「興味はあるが、参加はしない」が 33.7%、「興味がなく、参加したいと思わない」が 48.6%となっている。

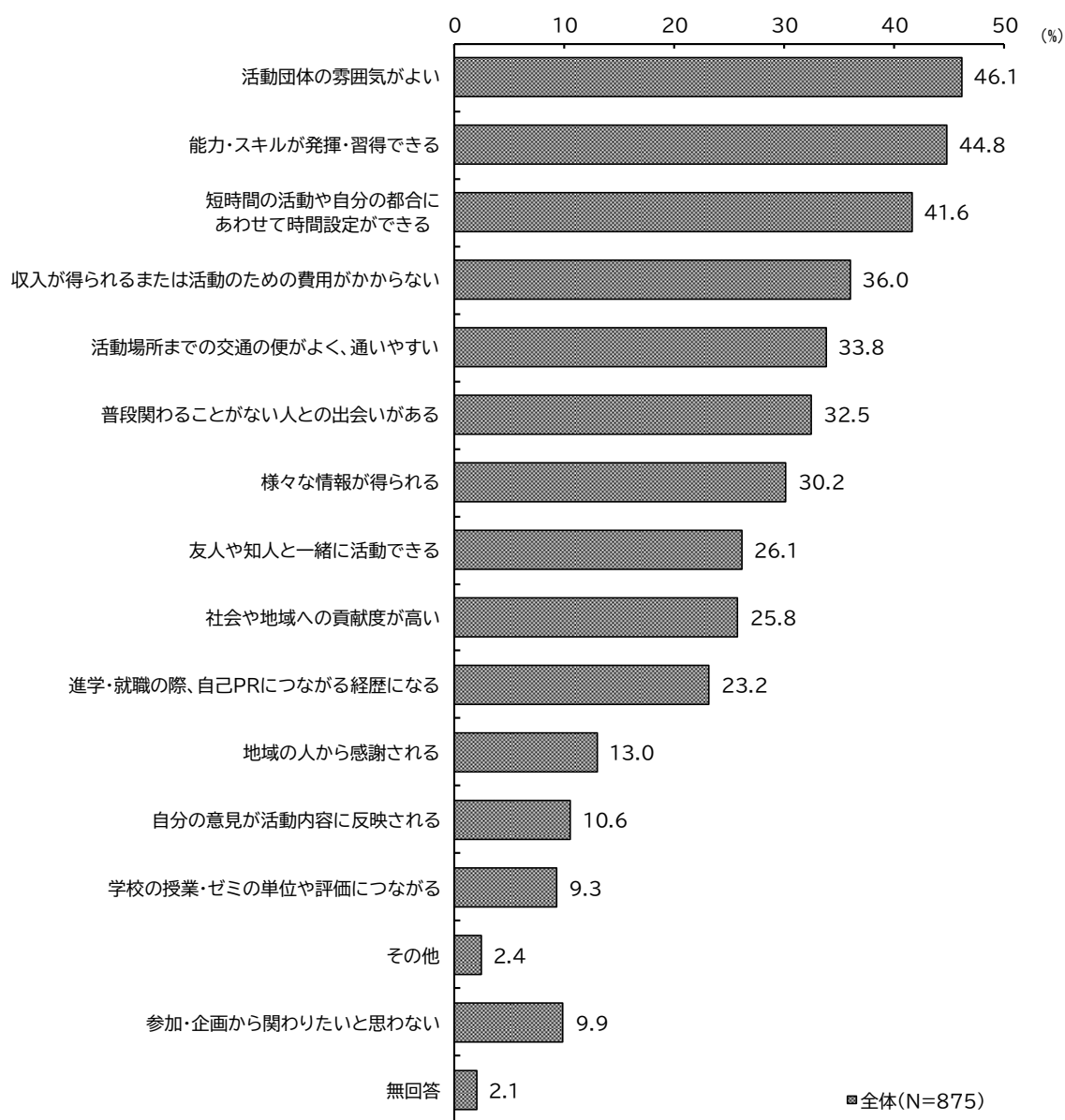


※平成30年度調査は、質問が『若者や地域に働きかける取組みにスタッフや運営側として参加してみたいと思いますか』となっている。

(9)学校や仕事以外の活動への参加条件(問 24)

学校や仕事以外の活動への参加条件は、「活動団体の雰囲気がい(46.1%)」が最も高く、「能力・スキルが発揮・習得できる(44.8%)」、「短時間の活動や自分の都合にあわせて時間設定ができる(41.6%)」が続いている。

学校や仕事以外の活動への参加条件(全体):複数回答



第1章 アンケート調査(無作為抽出)

現在の状況別にみると、生徒・学生は正社員・正規職員(自営業を含む)、パート、アルバイトと比べて、「能力・スキルが発揮・習得できる」、「友人や知人と一緒に活動できる」、「社会や地域への貢献度が高い」、「進学・就職の際、自己PRにつながる経歴になる」、「学校の授業・ゼミの単位や評価につながる」の割合が高くなっている。

パート、アルバイトは生徒・学生、正社員・正規職員(自営業を含む)と比べて、「収入が得られるまたは活動のための費用がかからない」、「活動場所までの交通の便がよく、通いやすい」の割合が高くなっている。

学校や仕事以外の活動への参加条件(全体、現在の状況別)

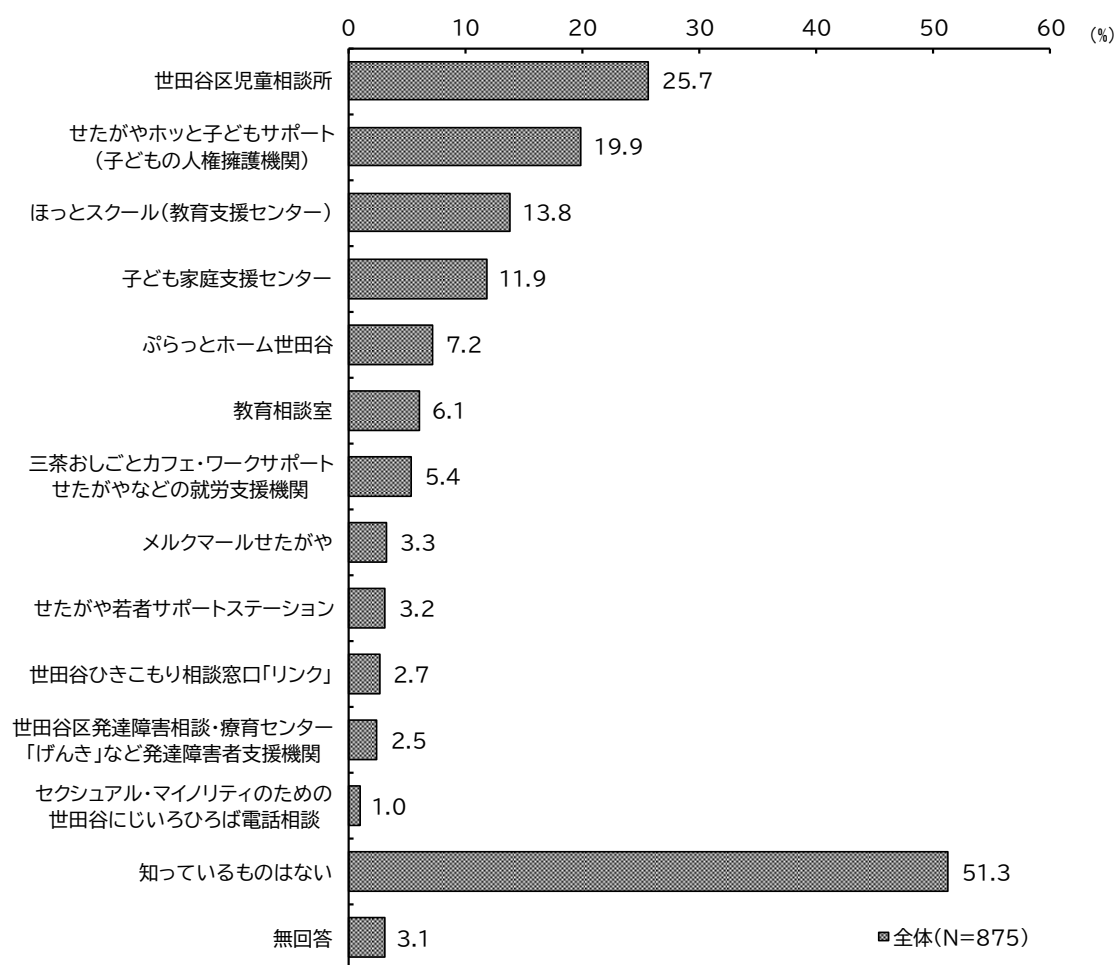
		活動団体の雰囲気がい	能力・スキルが発揮・習得できる	短時間で活動設定ができる	収入が得られるまたは活動のための費用がかからない	活動場所までの交通の便がよく、通いやすい	普段関わりあうことがない人との出会いがある	様々な情報が得られる	友人や知人と一緒に活動できる	(%)
全 体 (N=875)		46.1	44.8	41.6	36.0	33.8	32.5	30.2	26.1	
現在の状況別	生徒・学生 (n=422)	49.3	51.2	40.5	33.9	34.1	31.5	31.0	33.2	
	正社員・正規職員(自営業を含む) (n=359)	41.8	39.0	42.6	36.5	33.7	34.0	28.4	19.8	
	契約社員など非正規職員 (n= 23)	39.1	34.8	39.1	43.5	17.4	30.4	26.1	13.0	
	パート、アルバイト (n= 46)	47.8	39.1	43.5	47.8	39.1	26.1	32.6	23.9	
	専業主婦(夫) (n= 5)	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	無職(求職中の人を含む) (n= 14)	57.1	50.0	35.7	35.7	35.7	57.1	42.9	7.1	
	その他 (n= 4)	100.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	
		社会や地域への貢献度が高い	自己PR・就職の際、つなげる経歴になる	地域の人から感謝される	自分の意見が活動内容に反映される	学校の授業・ゼミの単位や評価につながる	その他	参加・企画から関わりたい	無回答	
全 体 (N=875)		25.8	23.2	13.0	10.6	9.3	2.4	9.9	2.1	
現在の状況別	生徒・学生 (n=422)	29.1	40.0	15.4	13.5	19.0	1.7	5.9	2.1	
	正社員・正規職員(自営業を含む) (n=359)	22.8	5.8	10.3	8.1	0.0	2.5	13.6	2.2	
	契約社員など非正規職員 (n= 23)	21.7	8.7	8.7	4.3	0.0	4.3	21.7	4.3	
	パート、アルバイト (n= 46)	21.7	13.0	13.0	10.9	2.2	6.5	10.9	0.0	
	専業主婦(夫) (n= 5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
	無職(求職中の人を含む) (n= 14)	35.7	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	
	その他 (n= 4)	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

6 区の施設

(1)世田谷区の相談機関の認知状況(問 25)

世田谷区の相談機関の認知状況は、「世田谷区児童相談所(25.7%)」が最も高く、「せたがやホッと子どもサポート(子どもの人権擁護機関)(19.9%)」、「ほっとスクール(教育支援センター)(13.8%)」が続いている。「知っているものはない」は51.3%と5割を超えている。

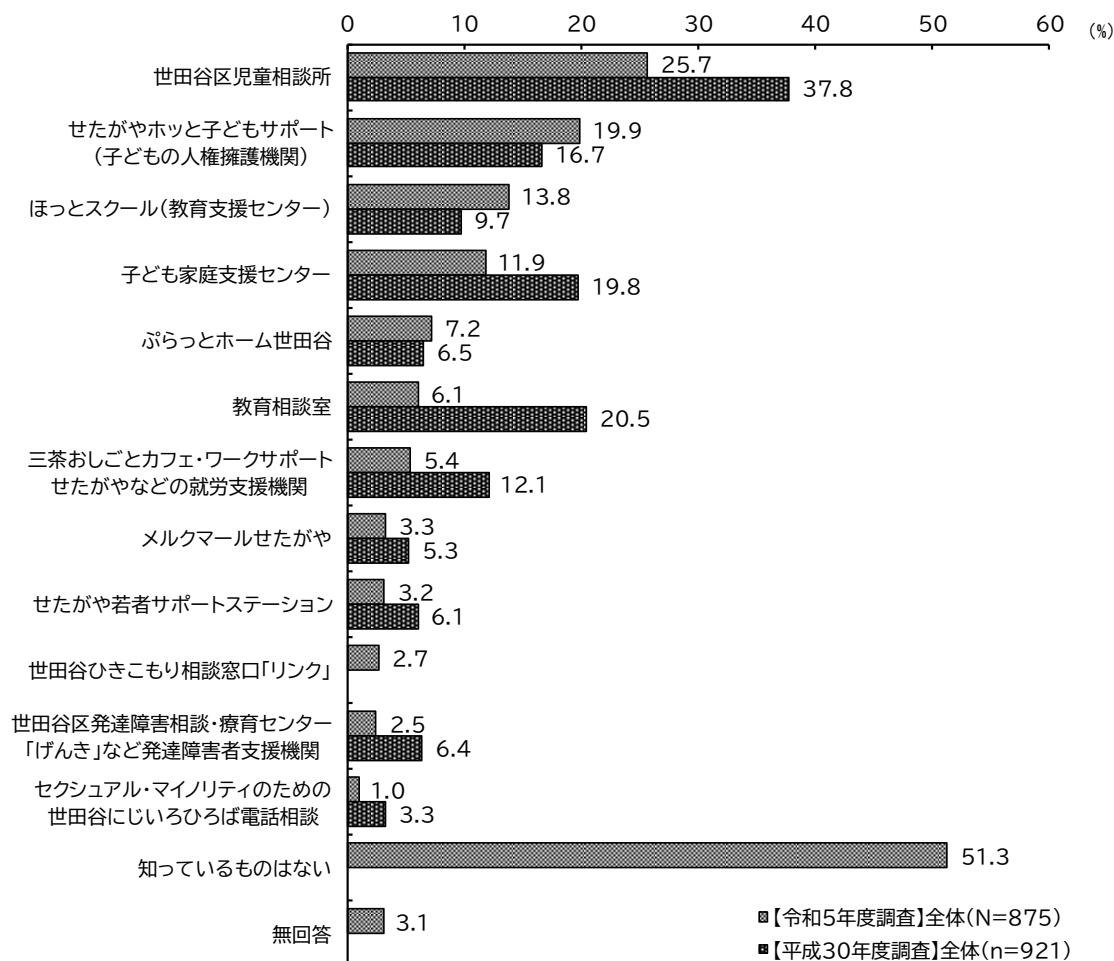
世田谷区の相談機関の認知状況(全体):複数回答



第1章 アンケート調査(無作為抽出)

平成30年度調査と比較すると、令和5年度調査では全体的に相談機関の認知状況が低くなっており、特に、「教育相談室(20.5%→6.1%)」と「世田谷区児童相談所(37.8%→25.7%)」が低くなっている。

世田谷区の相談機関の認知状況(全体):複数回答【経年比較】(参考)

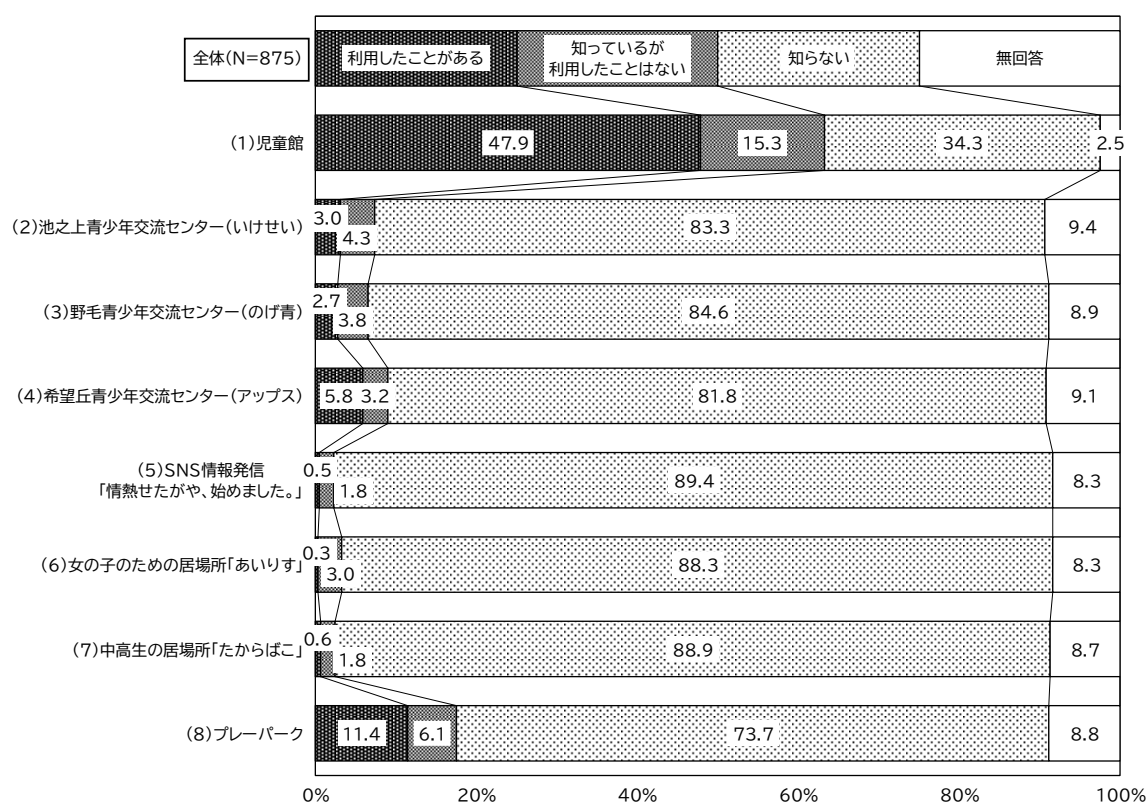


※平成30年度は、「知っている利用したことがある」、「知っているが利用したことはない」の合計。

(2)若者関連施設の利用状況(問 26)

若者関連施設の利用状況は、「利用したことがある」の割合が『(1)児童館(47.9%)』で最も高く、『(8)プレーパーク(11.4%)』、『(4)希望丘青少年交流センター(アップス)(5.8%)』が続いている。

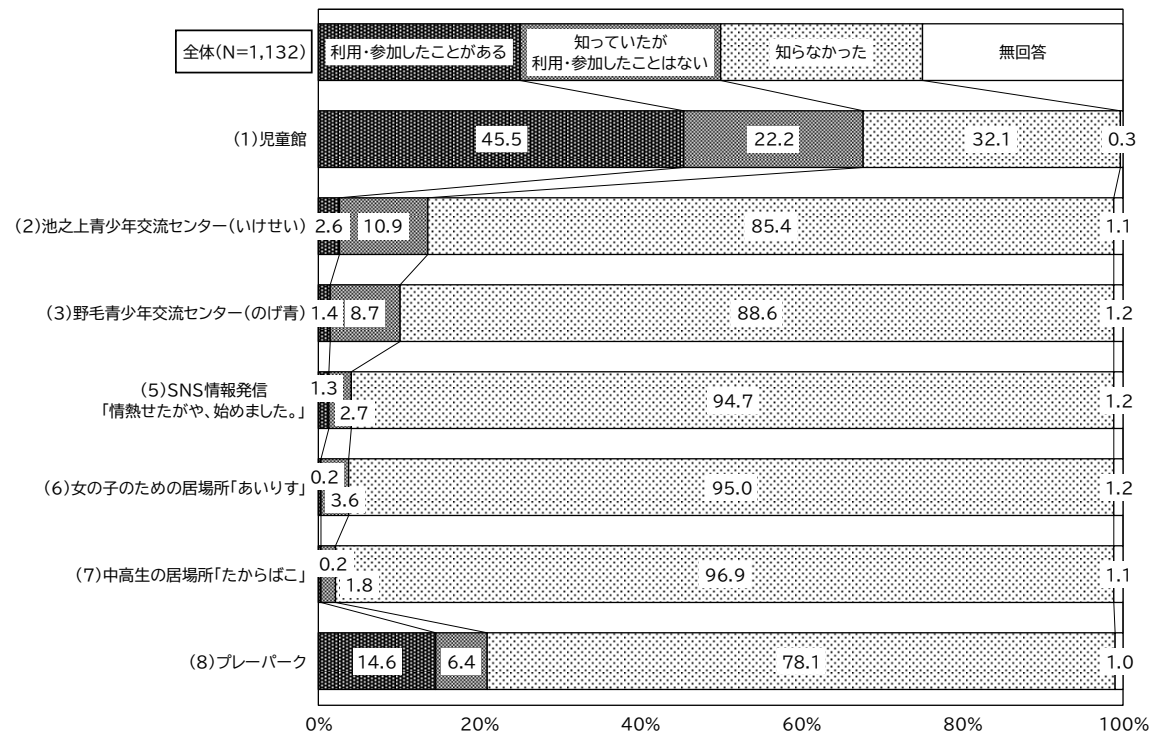
若者関連施設の利用状況(全体)



第1章 アンケート調査(無作為抽出)

平成30年度調査と比較して令和5年度調査は、「知らなかった」が「児童館(32.1%→34.3%)」以外の全ての施設で低くなっている。

若者関連施設の利用状況(全体)【参考:平成30年度調査】

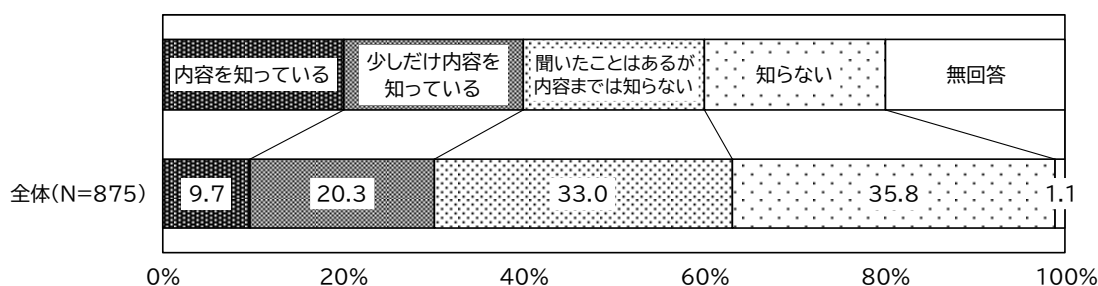


7 子どもや若者の権利

(1)子どもの権利についての認知度(問 27)

子どもの権利についての認知度は、「内容を知っている」が9.7%、「少しだけ内容を知っている」が20.3%、「聞いたことはあるが内容までは知らない」が33.0%、「知らない」が35.8%となっている。

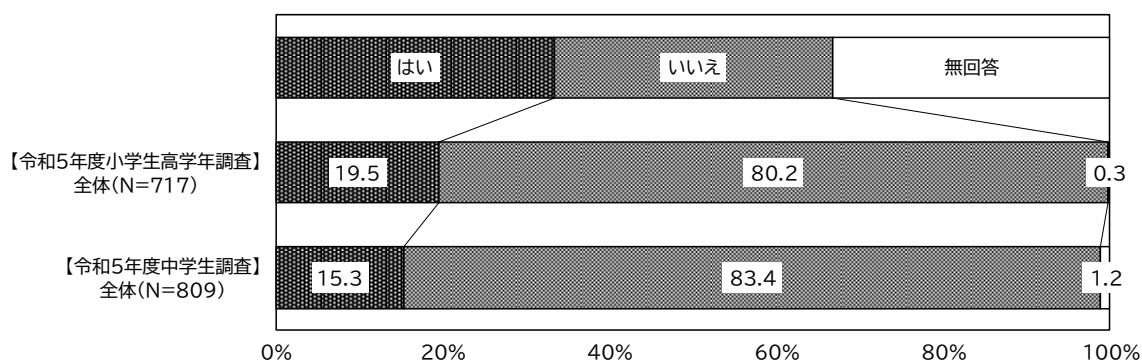
子どもの権利についての認知度(全体)



小学生高学年調査では「はい」が19.5%、中学生調査では「はい」が15.3%となっている。

子どもの権利についての認知度(全体)

【参考:令和5年度小学生高学年調査、令和5年度中学生調査】



第1章 アンケート調査(無作為抽出)

年代別にみると、年代が低いほど認知度が高い傾向にある。

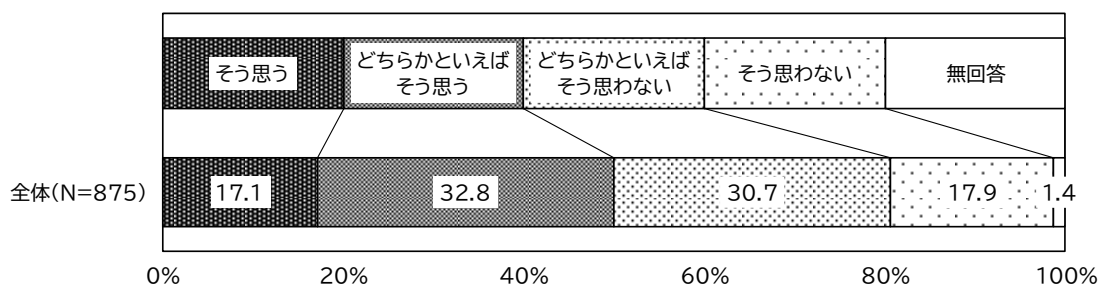
子どもの権利についての認知度(全体、年代別)

					(%)				
					内容を 知っている	少し だけ 内容を 知っ ている	聞いた ことは あるが 内容は 知らない	知らない	無 回 答
全 体 (N=875)					9.7	20.3	33.0	35.8	1.1
年 代 別	15	～	19	歳 (n=291)	12.7	28.9	33.3	24.1	1.0
	20	～	24	歳 (n=257)	10.5	15.2	40.9	33.1	0.4
	25	～	29	歳 (n=326)	6.4	16.9	26.7	48.2	1.8

(2)世田谷区の制度・施策について意見を伝えたい意向の有無(問 28)

世田谷区の制度・施策について意見を伝えたい意向の有無は、「そう思う」が 17.1%、「どちらかといえばそう思う」が 32.8%、「どちらかといえばそう思わない」が 30.7%、「そう思わない」が 17.9%となっている。

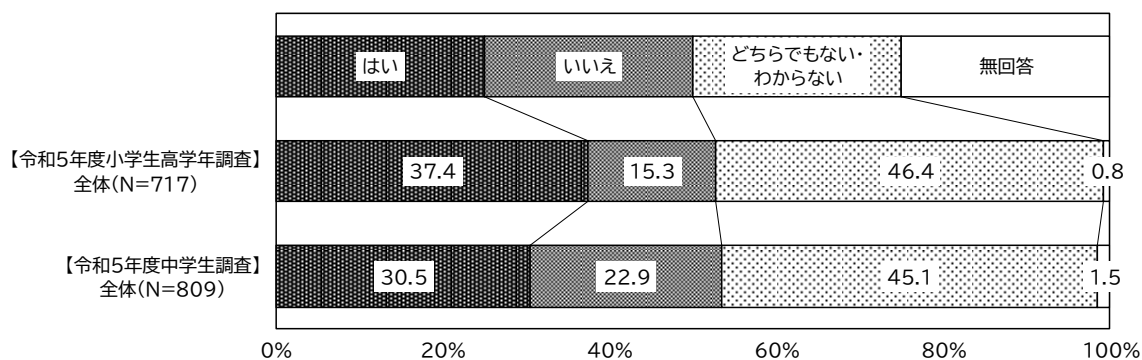
世田谷区の制度・施策について意見を伝えたい意向の有無(全体)



小学生高学年調査では「はい」が 37.4%、中学生調査では「はい」が 30.5%となっている。

世田谷区の制度・施策について意見を伝えたい意向の有無(全体)

【参考:令和5年度小学生高学年調査、令和5年度中学生調査】



第1章 アンケート調査(無作為抽出)

年代別にみると、25～29 歳は《そう思う・計》(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計)の割合が56.4%となっており、年代が高いほど《そう思う・計》の割合が高い傾向にある。

自己肯定感別にみると、自分のことがとても好きな人は《そう思う・計》の割合が 59.3%となっており、自己肯定感が高い人は《そう思う・計》の割合が高い傾向にある。

自己有用感別にみると、人や社会にとっても役に立ちたい人は《そう思う・計》の割合が 58.2%となっており、自己有用感が高い人ほど《そう思う・計》の割合が高い傾向にある。

世田谷区の制度・施策について意見を伝えたい意向の有無
(全体、年代別、自己肯定感別、自己有用感別)

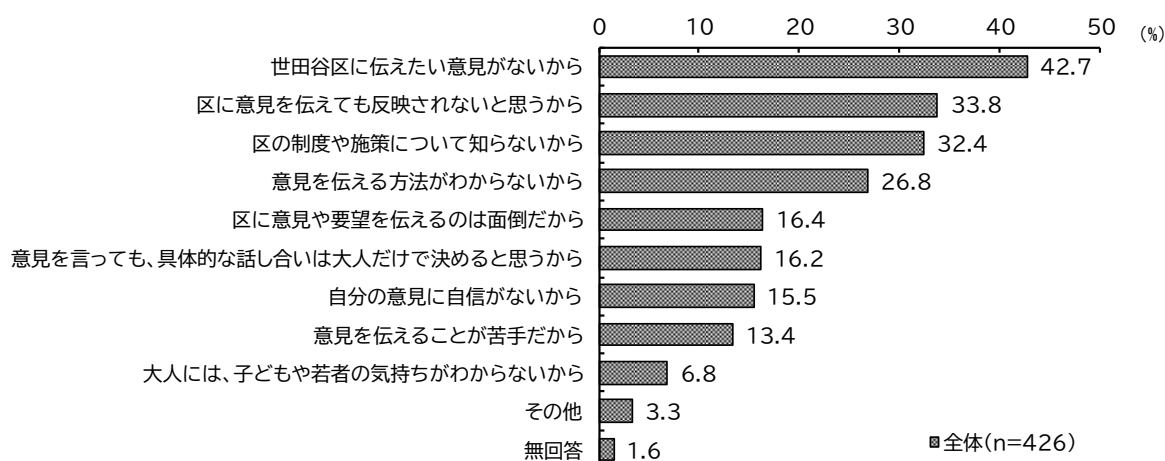
								(%)	
					そう 思 う	ばど そち うら 思か うと いえ	ばど そち うら 思か わと ない いえ	そう 思 わ な い	無 回 答
全 体 (N=875)					17.1	32.8	30.7	17.9	1.4
年 代 別	15 ～ 19 歳 (n=291)				18.6	27.1	35.4	17.9	1.0
	20 ～ 24 歳 (n=257)				14.0	32.3	33.9	19.1	0.8
	25 ～ 29 歳 (n=326)				18.4	38.0	24.2	17.2	2.1
自 分 の こ と が 好 き だ (自己肯定感別)	と て も そ う 思 う (n=231)				26.0	33.3	24.7	14.7	1.3
	ま あ そ う 思 う (n=313)				15.7	35.1	32.6	15.3	1.3
	ど ち ら で も な い (n=116)				9.5	29.3	37.1	23.3	0.9
	あ ま り そ う 思 わ な い (n= 97)				14.4	33.0	38.1	14.4	0.0
	そ う 思 わ な い (n= 51)				9.8	19.6	21.6	47.1	2.0
人 や 社 会 の 役 に 立 ち た い (自己有用感別)	と て も そ う 思 う (n=318)				23.3	34.9	25.8	14.8	1.3
	ま あ そ う 思 う (n=360)				13.1	34.7	34.2	16.4	1.7
	ど ち ら で も な い (n= 91)				9.9	26.4	39.6	24.2	0.0
	あ ま り そ う 思 わ な い (n= 45)				13.3	20.0	37.8	26.7	2.2
	そ う 思 わ な い (n= 21)				14.3	14.3	28.6	42.9	0.0

(3) 伝えたくない理由(問 28-1)

問 28 で「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答した人に、伝えたくない理由についてたずねたところ、「世田谷区に伝えたい意見がないから(42.7%)」が最も高く、「区に意見を伝えても反映されないと思うから(33.8%)」、「区の制度や施策について知らないから(32.4%)」が続いている。

伝えたくない理由(全体):複数回答

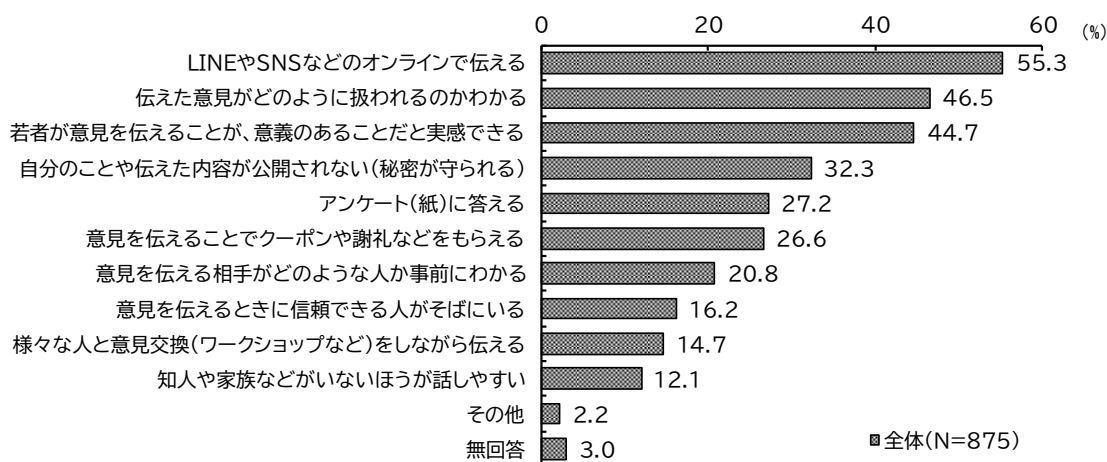
<意見を伝える意向がない人>



(4) 世田谷区に対して意見を伝えやすい方法・手段(問 29)

世田谷区に対して意見を伝えやすい方法・手段は、「LINEやSNSなどのオンラインで伝える(55.3%)」が最も高く、「伝えた意見がどのように扱われるのかわかる(46.5%)」、「若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる(44.7%)」が続いている。

世田谷区に対して意見を伝えやすい方法・手段(全体):複数回答



8 自由意見

(1)世田谷区に期待すること等(問 30)

世田谷区に求めることや期待すること、世田谷区にあったらいいなと思う場所などに関して、自由記述形式でたずねたところ、全体で471件の回答があった。すべての意見について確認したうえで分類を行い、全件を掲載することは難しいことから、個人や所属が特定される可能性がある意見、配慮が必要となる意見、類似した意見等は除き、一部を紹介する。

1. 公園、運動ができる場所【56件】

- ・ 小さな子どもが遊べるような公園は多くあるが、高校生、大学生が遊べるような公園や施設がとても少ないと感じています。(21 歳)
- ・ 子どもがボール遊びや花火などができるような広場があれば良いと思います。最近公園や広場があっても、騒音問題等で利用に制限がかかっていることが多く見受けられるため、近隣住民の理解を得た上で、子どもたちが自由に遊べるような広場があればいいと考えます。(16 歳)
- ・ ボールで遊んでも良い芝生の公園があると嬉しい。(29 歳)
- ・ 公園が圧倒的に少ない。(18 歳)
- ・ 全天候型の子どもが遊べる広場、施設があったらいいと思います。(29 歳)
- ・ 子ども達がサッカーなどのスポーツをしても大人たちに迷惑がられないスペース 大声で遊べる場所。(23 歳)
- ・ 鏡があって、音楽が流せて、床がコンクリートではない誰でも低額で使える、フリーダンススペースがあると嬉しいです。(20 歳)
- ・ バスケコートがほしい。少なく混んでいることが多い。整備されたグラウンドがほしい。小中学校の校庭の人工芝化。(16 歳)
- ・ 区立のトレーニング施設の利用料が高く感じるのもっと安く、できれば無料にして欲しいです。(18 歳)
- ・ 球技を行える場所が少ないように思えます。しっかり整備された球場やグラウンドでなくてもいいので、ボールを蹴ったり、投げたりできる場所が増えることを期待しています。(19 歳)

2. 勉強する場所【25件】

- ・ テスト勉強ができる施設がほしい。図書館はいつも人がいっぱい。(15 歳)
- ・ 無料で使えて夜遅くまでやっている自習スペース(雑談ができる場所も併設)が欲しいです。(28 歳)
- ・ 大学の図書館に設置されているようなグループ学習室や、軽い飲食をしたり勉強したりできるようなスペース。(19 歳)
- ・ 勉強場所が欲しいです。普段、烏山図書館を利用していますが、図書館というのは本来勉強ではなく、本を読む場所であり、ここで勉強することに自分自身違和感を持ちながら、勉強しています。アップスも利用したこともありますが、主な利用者の年齢層が小中学生であり、中高生の受験生には、

きついものがあると感じます。ですので、中高生の受験生を対象として落ち着いて自習ができる場所が出来たら嬉しいなと感じます。(18 歳)

- ・ 静かに勉強できる図書館。世田谷区の図書館は座席数が少ないため受験生の頃、勉強場所を探すのに苦労した。(20 歳)

3. 商業施設・店舗【34件】

- ・ 路上バンドができる敷地、若者が集まる大型娯楽施設、スケートボードパーク、イルミネーションなどのデートスポット。(22歳)
- ・ バーベキュー場、花火ができる場所。(22歳)
- ・ 学生向けの飲食店がもっと増えてほしいです。(18歳)
- ・ ららぽーとのようなスーパー、ホームセンター、家族の衣類、生活雑貨、子どもの遊び場、フードコートなど 1 つの場所に行けば土日の用事を完結できて買物中に子どもを遊ばせられる安全で便利な施設がほしい。(28 歳)

4. 居場所【26件】

- ・ 社会人が気軽に集い交流できるカフェやお店など、繋がる機会があるといい。(24 歳)
- ・ 知らない人と安心して話してみられる場所が欲しい。(19 歳)
- ・ 1 人になれる場所。(16 歳)
- ・ 子どものものもそうだが、子どもに関わっている親や教師、保育士などのための困ったときの居場所。(20 歳)
- ・ 高校生以上で家庭や学校に居場所がない子どもが過ごせる場所が増えると良いと思います。義務教育が終わると支援が一気に減るのは問題だと思います。(29 歳)
- ・ 若者の意見を気軽に伝えられる場がほしい。(16 歳)
- ・ 若者同士で、自由に話せる場所や機会を増やして欲しい。何かを企画して短時間でもそういう話に参加できるような案内を増やしてほしい。(27 歳)

5. 相談場所【4 件】

- ・ 中高生限定の悩みなどを話せるところが欲しい。(16 歳)
- ・ 対面で話すのはなかなか心理的ハードルが高いので、匿名でオンライン相談出来るようなサービスがあったらいい。(28 歳)

6. その他の施設【23件】

- ・ 外国人として世田谷区で 5 年以上 1 人暮らししてきて、特に不満がないけど、仕事し始めてから、税金が重すぎて、生活に余裕ができないことに悩んでいる。誰でも安くて利用できるカフェとかあれば助かるけど、なかなかないなあ。(26 歳)
- ・ もっと音楽活動がしやすい施設を増やして欲しいです。児童館に音楽室を作ったり、定期的に音楽イベントを開催したりして欲しい。(17 歳)
- ・ 朝ご飯を格安で食べられる施設(学校で)以前何処かの自治体が似たような活動をしていて、良い

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

と感じたので世田谷区もやってみたらいいと思う。(18 歳)

- ・ 割安で住めるシェアハウス。(26 歳)

7. 地域交流、コミュニティ【39件】

- ・ 今まで出会ったことのない学生の子と、ふれあえる場所があるとよりよいと思いました。(子どもだけの遊び場所、小学校から高校に通っている方など)(15 歳)
- ・ フリーマーケットやお祭りなど地域の人と交流できる場が増えると良いと思う。また出店も誰でもしやすいような募集方法を行う。(25 歳)
- ・ フィンランドのユースセンターのような、子どもが放課後に自主的な活動に利用することの出来る施設を設けて、ワークショップなどを定期的に開くなどして欲しい。もちろんそれは中高生だけでなく、大学生・25 歳までの社会人も利用できるようにするなど若者の縦横の繋がりを強化して、まちづくりへの興味を持つきっかけを作って欲しい。(21 歳)
- ・ 地域に知り合いがいないため、災害があった時に頼れる先がいないと感じます。若者世代のコミュニティ形成に取り組んでいただけたらうれしいです。(29 歳)
- ・ 起業家支援スペースを設けるなど、アントレプレナー支援にも力を入れてほしい。(26 歳)
- ・ 個人的には、セクシャルマイノリティのコミュニティ、意見交換とか交流ができる場がもっとあってくれたら嬉しい。こういった交流の場は三軒茶屋などの人の多そうな場所で開催されているイメージなので、人混みが苦手な私は、実際に参加したことがない。もっと人の少ない地域で開催したり、開催の頻度をあげて、1回あたりの参加者が少なさそうであればぜひ参加したいと思う。(29 歳)
- ・ 世田谷区に住むまたは働く、起業を目指す若者や、フリーランスの若者同士が意見を交換しあい、世田谷区が海外から注目されるカルチャーがあったら、より盛り上がると思います。ビジネスの意見や情報をフラットに交換しあえる、環境が欲しいです。(27 歳)
- ・ 地域に特化したイベント。(28 歳)
- ・ 私立高校に通っていて地域に知っている人がいないので、そのような人たちが交流できる場所/機会などがあるといいなと思いました。成人式などで周りの人を誰も知らない未来が見えて心配です。(16 歳)

8. 国際交流【10件】

- ・ 外国人の方々と交流できる場所。(15歳)
- ・ 外国人でも参加しやすい活動があればいいなと思います。(28歳)

9. 学校【10件】

- ・ 世の中がより良く回るためには教育がとても大切だと思っているので、子どもたちの教育周りを充実させてほしいです。(26歳)
- ・ 特別支援学級と通常級について、接点といえば、運動会や学芸発表会などで発表を見る機会がある程度で、学校での日常生活において関わる機会は殆ど設けられていない。実際に交流の機会を設けなければ、お互いへの理解を深めることはできないのではないかと。(18 歳)
- ・ 小中学校の先生で新卒の先生には、その先生のためにも研修を設けて欲しい。兄弟の担任が新卒

で、急にいなくなったことがある。(23歳)

10. 金銭面、経済状況【39件】

- ・ 住民税が高く家計を圧迫されていると感じます。(25 歳)
- ・ 所得の低い世帯に対してより充実した手当等のサポートをいただけたら嬉しいです。(22 歳)
- ・ 若者の給料は安い。特に日本は初任給がとて低く世田谷で一人暮らしなんかとてもできません。世田谷区で育った人が一人暮らしする時に世田谷区を選んだら補助金とか家賃補助みたいなのが出たらめっちゃくちゃ嬉しいです！(22 歳)
- ・ 奨学金返済の支援に力を入れてほしい！(23 歳)
- ・ 私の父は子どもに興味なく、今のところは学費を払ってくれていますが、いつ払わなくなるかわかりません。もし、学費が払われなかったら、奨学金を借りたいですが、所得制限に引っかかってしまい、借りられません。不安で仕方ありません。(17 歳)
- ・ 世田谷区はとても住みやすく気に入っていますが、物価が高いところが多く子どもがいる若者世代にはハードルの高いのではないかと思います。(26 歳)
- ・ 給付金に関して、親と離れて暮らしている場合も、親が課税対象であれば、子どもが給付金を受け取れないことに少々不安を感じています。家族と良好な関係を築けているわけではなく、援助が難しい人もいます。(19 歳)
- ・ 幼い頃からずっと定期的に通院しているので、高校生まで医療費が無料という世田谷区に住んでいて良かったと思っています。ぜひこれからもこの制度を続けていただきたいです。(17 歳)

11. 就職・労働環境【7件】

- ・ 高卒だから致し方ない部分もあるが求人の給料が全体的に安いと感じた。区外、郊外や都外に出て行かざるを得ないような形になり、仕事が少ないと感じる。そのため区民を根付かせたいのであれば仕事面の支援が必要かと思う。収入向上や就労している人の税金面での支援があると嬉しい。最低賃金の底上げだけでは正社員への支援には繋がりにくいので全体的な底上げをする政策を望む。(26 歳)
- ・ 教員の労働環境の悪化がとても気になっています。世田谷区の未来を作る子どもたちを育てていく教員だからこそ、支援を深め十分な人員確保、残業時間の改善をより進めていただきたいと考えています。現場の教員は疲弊し、若い年代の教員は 2.3 年で辞めてしまうことがほとんどです。労働時間の把握、一定数以上の学校の管理職への勧告など、上の「残業して当たり前」の感覚を改善していただければと思います。世田谷区が教員の働き方改革のモデルとして他自治体をリードしていただけたらと思っています。(29歳)

12. 行政への意見・要望【48件】

- ・ ありがたいことに心身ともに健康な 20 代ですが、ほとんど病院に行かないのに日々引かれる保険料、稀に病院へかかると 1 割負担の高齢者で溢れかえっている待合室。正直絶望します。企業に勤めていて各種福利厚生も充実した恵まれた状況かと思いますが、それでも子どもを持つべきかどうか日々ずっと悩みます。同じライフステージの友人と話していても同じ考えを持つ人も多いで

す。今の自分は大好きな家族や仲間と幸せに暮らしていますが、この国で今生まれる子どもが将来幸せになれるのか全く自信がありません。未来のために有効に使われるのであれば喜んで納税します。改めてなによりも未来の社会のため高齢者よりも若者に税金が投入されることを強く望みます。(27 歳)

- ・ お金がなければそれだけ色々な選択肢がなくなってしまう世の中で如何に大人が子ども達に対して人生の可能性を見せてあげられるか、それが重要だと思います。ただでさえ高齢者向けの政策が多い中、将来のこの国に対するやり場のないムカつきや不安、焦燥感を抱えた若者は思っているよりも多いです。(22 歳)
- ・ もっと若者に寄り添った政策を行って欲しい。若者にもっとお金の余裕があり、お金の事などで不安にならず、勉強や仕事に一生懸命取り組めるように行って欲しい。(25 歳)
- ・ パスポートを発行してくれる場所がもっとたくさんあればいいと思います。(16 歳)
- ・ 給付金等があった場合、所得及び親族からの扶養を受けている者は制限を受けるというものをなくしてほしい。給付金の封筒が来る度にとってもイライラします。(19 歳)
- ・ 行政手続きのネット普及。(28 歳)

13. 子育て支援【40件】

- ・ 病児を遠くまで預けに行くのは現実的ではない為、病児保育施設の増設を求めます。(17 歳)
- ・ 子育ての悩みを相談共有できる施設。(23 歳)
- ・ 子どもを育てやすい環境であって欲しいと思います。現在下北沢周辺に住んでいますが、子どもを連れて遊べるところがとても少ないと感じます。(29 歳)
- ・ 政策上で子どもが育てやすい環境を促進させても、地域の人々の意識がついてこなければ、結局子育て世帯のみが背負う負担が増えてしまいます。周りの人と協力して、子どもたちを育てていける地域になれば、誇りに思います。(23 歳)
- ・ 共働き家庭の子どもの孤立などの問題をよく耳にします。特に、子どもの孤立は子ども自身の力で解決することがとても難しいと考えるため、子どもたちを家庭の中だけで守るのではなく、地域で守れるような場所や機会があれば良いと感じます。子どもは大人にいきなり頼るよりも、地域の高校生や大学生の方が親近感があり頼ることができると思うので、子ども同士の縦のつながりを作れる機会があると嬉しいです。(20 歳)
- ・ 子育て世代や子育て人数に対する税制優遇や保育関連の費用の低下。世田谷区で子どもを産み育てていくにあたり、街一帯となって支援を受けられるような制度や仕組みがあると、今後の人生設計にあたり世田谷で生き続けるという選択肢を持ちやすくなる。(30 歳)
- ・ 子どもがいる家庭の学費、医療費(高校生以降)の無償化。(21 歳)
- ・ フリーランスのための産休・育休制度、もしくはベビーシッター派遣の制度がほしい。キャリアを諦めることなく、女性フリーランスが子どもを持ちやすい環境になってほしい。(25 歳)
- ・ 若い世帯も住みやすい価格帯のファミリー向けの間取りのマンションがあれば、子どもができた後も住み続けたい。(26 歳)

14. 交通、インフラ整備【35件】

- ・ 小学生の交通マナーがとても悪く、危険なため、子どもたちのためにもしっかりと交通安全教室を実施して欲しい。大人たちも危険な運転をしている人を多く見かける。子どもにも影響していると思う。(19 歳)
- ・ ベビーカーでのバス利用が本当に大変です。1 時間に一本などでいいので、スロープ付きのバスを運行していただけると、行動範囲もぐっと広がり嬉しいです。(29 歳)
- ・ 自転車が安心して走れる街づくりをして欲しい。環七や環八、246 のような大きな道路は第 1 車線がガタガタになっており、自転車専用道もなく、道交法違反の路上駐停車が多い。加えて交通量も多いという非常に危険な状態になっており、改善をして欲しい。(24 歳)
- ・ よく自転車を利用するが世田谷区は見通しが悪い道路が多いためカーブミラーが設置されているところが多いとおもうがまだまだ少ないと思う。もっと導入して欲しい。(25 歳)
- ・ 世田谷区は道路の狭い生活道路が多い地域もあるので、道路の整備をさらに充実させていただきたい。特に子育て世代のママたちが狭い道路を自転車で駆け抜けるのは見ていていつも危ないと思う。(29 歳)

15. 環境・ゴミ問題【21件】

- ・ 路上喫煙を無くすことを世田谷区に求める。(17 歳)
- ・ 吐瀉物が道路に撒き散らされている所を見ると不愉快極まりない。飲み屋が悪いとは言わないが、その辺はどうにかしてほしいと思う。(24 歳)
- ・ 商店街ほどゴミが散乱している。道路で寝ている若者やネズミやゴキブリも見る。せっかく遠くから来てくれる人もいるのに汚いと思う。(28 歳)
- ・ ごみステーションのような、複数世帯のゴミを管理できる場所(毎週の収集がないペットボトルなど)が増えれば、ゴミのポイ捨ても少なくなり、良い環境の中で過ごせるのではと思います。(27 歳)

16. 治安【6件】

- ・ 世田谷通り沿いから少し奥に入ると、夜は明かりが少なくて怖いと感じるため、もう少し街灯などがあると安心して歩けると思う。(19 歳)
- ・ 空き家を有効活用できる制度等を創設し、近隣住民が安心して暮らせる街にしてほしい。(28 歳)

17. リプロダクティブヘルス/ライツ【4件】

- ・ 生理用品を無料で配布するとか、生理に使うお金を支給してほしい。性教育を幼い頃からすることで、性の知識を男女を問わず増やしてほしい。生理についての知識も女性だけではなく男性にも知ってもらいたい。男女での価値観の違いも、社会に順応した考えをアップデートするために、学校などで教えるべき。(15 歳)
- ・ 自分のからだの自己決定権、性教育の拡充。(22 歳)

18.情報発信【21件】

- ・ 住民の税金がどのように使用されているのか、どのような事業がどのような予算で展開され、それによってどの程度の効果を得られたのか(定量的検証)、その結果を受けてその事業の今後の展望や継続についてどのような判断がされたのか、また働き世代の負担を軽減することはできないのか(減税実施)ということについて、きちんと検証・吟味・公開していくようなアクションを行って頂きたい。(25 歳)
- ・ 世田谷区のアプリを作り、情報発信や手続きの一部をスマホでできるようにして欲しい。機能ごとにアプリが増えるのは使いづらい。(22 歳)
- ・ 児童館やふれあえる場所などにもっと行きやすくなる為に、どのような活動をしているのか、どこでいつ行われているのか詳細の案内をして頂けると嬉しいです。施設が多くても、初めての育児でいっぱいいっぱい、調べたり、お電話で聞いたりする余裕がありません。(22 歳)

19.アンケートに対する意見、要望【15件】

- ・ アンケートの存在がなければ世田谷区が行っている様々な企画や場所を知る機会も得られなかった、今後もインターネット等でのアンケートやお知らせを発信していただけると嬉しいです。(21 歳)
- ・ このアンケートはとても良いと思う。毎年行って欲しい。若者はみんなスマホで回答できるので、ハガキでなく LINE やマイナアプリなどアプリで送ってくれると良いと思う。(22 歳)
- ・ アンケートサイトの UI の操作性が悪い。(17 歳)
- ・ 若者の意見を聞いたあと、本当に実行に移してくれるのかが気になります。世田谷区に限った話ではないですが、政治に携わる人がどこまで本気で私たちの声を聞いてくれるのか疑問に思っている、是非応えてほしいです。(23歳)

20.その他【8件】

- ・ とても住みやすいです。(29歳)
- ・ 現状に不満があるわけではないので、引き続き暮らしやすい世田谷を維持していただけると幸いです。(24歳)

Ⅲ アンケート調査票と集計結果

せたがやくわかの 世田谷区若者アンケート

【はじめに】

このアンケートは、せたがやく世田谷区からねがお願いしています。

- ・質問内容は、しつもんないよう大学生と一緒にだいがくせい いっしょ考えました。かんが
- ・名前は聞きません。どなたがなまえ き答えたか、こたわからないようになっています。
- ・調査結果は、ちょうさけつか世田谷区の子供も・若者のための取り組みに役立ってます。せたがやく こ わかもの と く やくだ

こた答えたくない質問は飛ばしても大丈夫。しつもん と だいじょうぶ

やく ふん約20分のアンケートで、未来を変えよう！みらい か



若者の声を、届けよう。

ログインID :

パスワード :

アンケートにこたえます

あなた自身についておうかがいします

問1 令和5年4月1日時点のあなたの年齢をお答えください。(N=875)

平均22.3歳

問2 あなたの性別をお答えください。(1つ選ぶ)(N=875)

1	男性	41.7%	3	答えたくない	1.3%	5	その他	0.3%
2	女性	55.9%	4	わからない	0.6%		無回答	0.2%

問3 現在、あなたは世田谷区に住んで何年ぐらいになりますか。(1つ選ぶ)(N=875)

1	1年未満	12.3%	3	5～10年未満	11.4%	5	20年以上	18.2%
2	1～5年未満	23.9%	4	10～20年未満	33.9%	6	該当しない	0.1%
							無回答	0.1%

問4 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(選ぶのはいくつでも)(N=875)

1	父	49.8%	7	自身のお子さん(2人以上)	0.2%
2	母	57.6%	8	その他の親族	1.4%
3	きょうだい	39.5%	9	友人	0.8%
4	祖父母	6.6%	10	その他[例えば:]	1.6%
5	配偶者・パートナー・恋人	15.7%	11	同居人はいない	21.8%
6	自身のお子さん(1人)	3.9%		無回答	0.3%

問5 世田谷区内に親族はいますか(同居を除く)。それは、どなたですか。(選ぶのはいくつでも)(N=875)

1	父	17.0%	4	祖父母	17.0%		無回答	1.9%
2	母	18.9%	5	配偶者	2.1%			
3	きょうだい	13.3%	6	いない	65.0%			

問6 あなたの現在の状況をお答えください。ただし、複数に該当する場合は、主なものをお答えください。(1つ選ぶ)(N=875)

1	生徒・学生	48.2%	5	専業主婦(夫)	0.6%
2	正社員・正規職員(自営業を含む)	41.0%	6	無職(求職中の人を含む)	1.6%
3	契約社員など非正規職員	2.6%	7	その他[例えば:]	0.5%
4	パート、アルバイト	5.3%		無回答	0.2%

問6-1 問6で「1 生徒・学生」と回答された方におうかがいします。学費はどなたが負担していますか。(選ぶのはいくつでも) (n=422)

1	保護者	92.7%
2	自分	2.8%
3	保護者が負担し、のちに自分が返済する	3.6%
4	国の就学支援金制度や都の助成金(高校生)	1.9%
5	奨学金(貸与型)を受給している	5.2%
6	奨学金(給付型)を受給している	3.3%
7	その他〔例えば: 〕	0.7%
8	わからない	0.2%
	無回答	1.2%

問6-2 問6で「1 生徒・学生」と回答された方におうかがいします。アルバイトなどの収入を得る活動をしていますか。(1つ選ぶ) (n=422)

1	している	43.8%	2	していない	54.5%	無回答	1.7%
⇒問6-3へ				⇒問7へ			

問6-3 問6-2で「1 している」と回答された方におうかがいします。アルバイトなどの収入は何に使っていますか。(選ぶのはいくつでも) (n=185)

1	学費	9.2%
2	住居費(光熱水費を含む)	7.0%
3	食費	55.1%
4	娯楽費、交際費	96.2%
5	スマートフォンなどの通信費	16.2%
6	その他〔例えば: 〕	8.6%
	無回答	0.0%

問6-4 問6で「1 生徒・学生」と回答された方以外におうかがいします。あなたの世帯収入をお答えください。(1つ選ぶ) (n=453)

1	100万円未満	2.4%	6	1,000～1,500万円未満	8.8%
2	100～300万円未満	16.1%	7	1,500～2,000万円未満	3.3%
3	300～500万円未満	33.1%	8	2,000万円以上	1.5%
4	500～700万円未満	15.2%	9	わからない	8.8%
5	700～1,000万円未満	9.5%		無回答	1.1%

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問7 あなたが現在在学している、または最後に卒業（中退を含む）した学校は

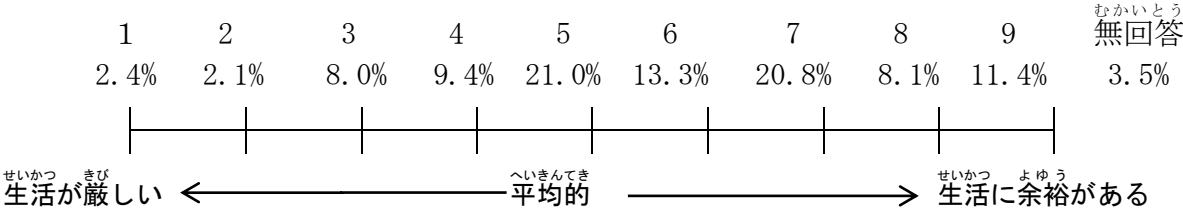
どれですか。（それぞれ1つずつ選ぶ） (N=875)

がっこう 学校の種別	1 中学校	1.5%	5 大学	55.2%
	2 高等学校	24.5%	6 大学院	6.4%
	3 専門学校・高等専門学校・ 高等専修学校	7.7%	7 その他〔例えば： 〕	1.3%
	4 短期大学	1.6%	無回答	1.9%
ざいがくなど 在学等の 状況	1 在学中	44.7%	2 卒業	38.5%
			3 中退	2.1%
			無回答	14.7%

問8 あなたの家の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は世間一般と比べてみてどの程度だと思われますか。あなたの実感でお答えください。

(1つ選ぶ)

(N=875)



問9 あなたは自分のことをどのように思っていますか。(それぞれ1つずつ選ぶ)

(N=875)

	とても おも そう思う	まあ おも そう思う	どちら でも ない	あまり そう おも 思わない	そう おも 思わない	むかいとう 無回答
① ① ① ① ① 自分のことが大事だと思 おも う	50.5%	33.7%	6.9%	4.9%	2.9%	1.1%
② ② ② ② ② 自分のことが好きだ	26.4%	35.8%	13.3%	11.1%	5.8%	7.7%
③ ③ ③ ③ ③ 人や社会の役に立ちたいと思 おも う	36.3%	41.1%	10.4%	5.1%	2.4%	4.6%
④ ④ ④ ④ ④ 自分らしさというものがあると思 おも う	37.8%	37.1%	9.8%	7.8%	2.5%	4.9%
⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ 幸 しあわ せである	35.3%	42.3%	11.8%	5.9%	2.9%	1.8%
⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ 将 しょうらい 来よりも今の生活を楽しみたい	16.9%	32.3%	29.7%	13.5%	3.3%	4.2%
⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ 家族や周りの人に大事にされている	53.8%	32.7%	7.2%	2.4%	0.6%	3.3%
⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ うまくいくかわからないことも 意欲的に取り組む	20.1%	35.1%	21.0%	15.7%	4.3%	3.8%
⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ 周りの人は自分の意見をちゃんと聞 いてくれている	31.5%	44.2%	14.9%	5.1%	1.9%	2.3%
⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ 孤独だと感じる	7.1%	14.5%	18.1%	30.7%	26.6%	3.0%

せいかつ
ふだんの生活についておうかがいします

問10 あなたは、学校や仕事以外の時間をどのように過ごしていますか。

ゆうせんど たか
優先度の高いものを3つまでお答えください。(3つまで選ぶ) (N=875)

1	家族・知人とおしゃべりをする	52.8%
2	スマートフォンやパソコン、タブレットを使う	74.9%
3	テレビで番組や動画配信サイトなどを視聴する	33.3%
4	カードゲーム、ボードゲームなどをする	2.3%
5	勉強をする(塾に行く)	19.8%
6	楽器の演奏、絵画などの創作活動をする	11.4%
7	スポーツやダンスなどの運動をする	14.4%
8	ドライブ、サイクリング、散歩に出かける	8.0%
9	食事や買い物に出かける	25.5%
10	スポーツ観戦、ライブなどのイベントに行く	5.8%
11	映画館、ゲームセンター、カラオケに行く	6.3%
12	親の代わりに家事をする(料理、洗濯など)	3.3%
13	家族の世話や介護をする	1.3%
14	アルバイト、ポイ活、モニターなど収入を得る活動をしている	12.6%
15	地域活動やサークル活動、ボランティア活動をする	3.2%
16	何もしないでのんびりする	13.5%
17	その他[例えば:]	3.7%
	無回答	0.2%

問11 ホットでき、安心していられる場所がありますか。(1つ選ぶ)

(N=875)

1	ある	92.9%	2	ない	6.9%	むかいとう 無回答	0.2%
⇒問11-1へ			⇒問12へ				



問11-1 問11 で「1 ある」と回答された方におうかがいします。ホッとでき、
安心していただける場所はどこですか。(選ぶのはいくつでも) (n=813)

1	自分の部屋	88.3%
2	自室以外の部屋 (風呂、トイレ含む)	39.6%
3	自宅以外の家 (友人宅、祖父母の家など)	15.5%
4	学校 (部活動含む)	11.8%
5	職場 (アルバイト含む)	3.8%
6	児童館	0.7%
7	青少年交流センター	0.6%
8	地域の人が開いている遊び場など	0.6%
9	図書館	5.4%
10	公園や河川敷などの屋外	9.3%
11	塾や習い事 (教室)	2.7%
12	ゲームセンターやファーストフード店などのお店	2.5%
13	無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所	1.4%
14	相談窓口、サポートしてくれる場所 (電話やオンラインを含む)	0.4%
15	インターネット空間 (SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	10.6%
16	その他の場所 [例えば:]	5.2%
	無回答	0.4%

問12 ホッとでき、安心していただける場所に必要なのは何かですか。(選ぶのはいくつでも) (N=875)

1	いつでも行きたい時に行ける	53.0%
2	一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	80.7%
3	ありのままでいられる、自分を否定されない	57.5%
4	好きなことをして自由に過ごせる	72.0%
5	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	24.7%
6	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	17.7%
7	悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる人がいる	23.9%
8	いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	19.4%
9	スポーツなど体を思い切り動かすことができる	11.9%
10	その他 [例えば:]	1.9%
	無回答	0.9%

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問13 あなたは、スマートフォンやパソコン、タブレットを使って(自分のもの以外を含む)以下のことをふだんどれくらいしますか。(それぞれ1つずつ選ぶ)

(N=875)

	まいにち 毎日 5時間 以上	まいにち 毎日 3～4 時間	まいにち 毎日 2時間 以下	しゅう 週に 3～4 日	しゅう 週に 1～2 日	しない	むかいとう 無回答
① ゲームをする	3.9%	8.3%	25.8%	7.5%	11.3%	40.1%	3.0%
② メール・LINEのやりとりをする	3.7%	9.5%	65.0%	8.2%	4.9%	1.4%	7.3%
③ X (旧Twitter)・Instagram等の SNSを利用する	5.7%	16.1%	56.3%	4.7%	4.8%	8.1%	4.2%
④ YouTube・Netflix等の動画配信サ ービスを利用する	9.1%	23.5%	46.4%	8.6%	6.7%	2.3%	3.3%
⑤ オンライン授業・レッスンや学 習アプリを利用する	1.6%	3.1%	10.5%	7.2%	15.3%	56.0%	6.3%
⑥ インターネットで検索(情 報収集)する	4.9%	12.0%	60.7%	11.4%	5.0%	2.2%	3.8%

問14 あなたはふだんどのくらい外出しますか。(1つ選ぶ)

(N=875)

1	仕事や学校のある日は毎日外出する	69.8%
2	仕事や学校で週に3～4日外出する	13.9%
3	遊びなどで頻繁に外出する	4.2%
4	人づきあいのためにときどき外出する	3.4%
5	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	4.6%
6	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	2.7%
7	家からほとんど出ない	0.8%
	無回答	0.5%

問15へ

→【問14-1～問14-3は、問14で「5」～「7」と回答された方におうかがいします】

問14-1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

(1つ選ぶ)

(n=71)

1	3か月未満	9.9%	5	3年～5年未満	22.5%
2	3～6か月未満	8.5%	6	5～10年未満	2.8%
3	6か月～1年未満	22.5%	7	10～20年未満	4.2%
4	2年～3年未満	28.2%	8	20年以上	1.4%
				無回答	0.0%

問14-2 あなたの外出状況が現在の状態になった具体的な年齢をお答えください。

平均22.1歳

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問14-3 あなたの外出状況が現在の状態になったきっかけは何ですか。

(選ぶのはいくつでも)
(n=71)

1	学校になじめなかったため	8.5%
2	受験に失敗したため	2.8%
3	就職活動がうまくいかなかったため	2.8%
4	職場になじめなかったため	5.6%
5	人間関係がうまくいかなかったため	11.3%
6	病気・障がいのため	7.0%
7	妊娠したため	5.6%
8	退職したため	2.8%
9	新型コロナウイルス感染症が流行したため	32.4%
10	通信制の学校のため	5.6%
11	仕事や授業がリモートになったため	39.4%
12	介護や看護を行うことになったため	0.0%
13	外出する必要がなかったため	18.3%
14	その他〔例えば： 〕	8.5%
	無回答	4.2%

問15 次^{とい}に挙げられたこと^{つぎ あ}について、どの程度^{ていど}あてはまりますか。(それぞれ1つずつ^{えら}選ぶ)

(N=875)

	あて はまる	どちらか といえ ばあて はまる	どちらか といえ ばあて はま らない	あてはま らない	むかいとう 無回答
① 家事 ^{かじ} など、身の回り ^{み まわ} のことは自分 ^{じぶん} で している	39.5%	22.7%	24.3%	12.2%	1.1%
② 朝 ^{あさ} 、決まった時間 ^{きま じかん} に起き ^お られる	36.3%	33.6%	15.2%	10.2%	4.7%
③ 深夜 ^{しんや} まで起き ^お ていることが多 ^{おほ} い	40.3%	28.1%	16.6%	12.9%	2.1%
④ 昼夜逆転 ^{ちゅうやぎやくてん} の生活 ^{せいかつ} をしている	5.3%	12.2%	19.9%	59.1%	3.5%
⑤ 政治 ^{せいじ} や経済 ^{けいざい} ・社会 ^{しゃかい} 報道 ^{ほうどう} に目 ^め を通 ^{とお} す	18.4%	38.6%	24.6%	16.6%	1.8%
⑥ 自分 ^{じぶん} の周囲 ^{しゅうい} には理不 ^{りふ} 尽 ^{じん} と思 ^{おも} うことがた くさんある	17.4%	32.2%	35.1%	13.4%	1.9%
⑦ 誰 ^{だれ} とも口 ^{くち} を利 ^き かずに過 ^す ごす日 ^ひ が多 ^{おほ} い	4.9%	8.0%	28.0%	57.5%	1.6%
⑧ 人 ^{ひと} と会話 ^{かいわ} をするのはわづらわしい	4.5%	13.1%	33.3%	47.1%	2.1%
⑨ 自分 ^{じぶん} の精神 ^{せいしん} 状 ^{じょう} 態 ^{たい} は健康 ^{けんこう} ではないと思 ^{おも} う	9.6%	16.3%	27.9%	44.1%	2.1%
⑩ 嫌 ^{いや} なことがあると、家 ^{いえ} や自室 ^{じしつ} に閉 ^と じこも りたくなる	22.5%	22.6%	21.5%	30.3%	3.1%

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問16 ^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染^{へんか}症^{じしん}によって変化^{かん}したことや、あなた自身^{おし}が感じたことを
教えてください。(選ぶのはいくつでも) (N=875)

1	^{しんがた} 新型コロナウイルスに ^{かんせん} 感染した、または ^{かんせん} 感染するのではと ^{しんぱい} 心配した	56.0%
2	^{ひと} 人と ^あ 会う ^{きかい} 機会や ^{はな} 話す ^{きかい} 機会が減った	47.5%
3	やりたいことができなくなった	32.5%
4	^{しょくじ} 食事の ^{したく} 支度や ^{そうじ} 掃除などの ^か 家事 ^{じふたん} 負担が増えた	3.4%
5	^{せいかつ} 生活のリズムが ^{ふきそく} 不規則になった	15.0%
6	ささいなことで ^ふ ケンカすることが増えた	3.3%
7	マスクをすることが ^{くつう} 苦痛だった	28.2%
8	マスクをはずしにくくなった	29.8%
9	^{きぼう} 希望する ^{しんがく} 進学や ^{しゅうしょく} 就職を ^{あきらめる} あきらめることになった	2.2%
10	^{しゅうにゅう} 収入が減ったことで ^へ 様々な ^{さまざま} 活動 ^{かつどう} ができなかった	7.3%
11	^{じゆう} 自由になる ^{じかん} 時間 ^ふ が増えた	31.2%
12	オンラインでの ^{かつどう} 活動など ^{あら} 新たな ^と 取り組みに ^く チャレンジした	17.5%
13	その他〔例えば：〕	6.5%
14	^{とく} 特に ^{へんか} 変化 ^{へんか} したことはない	6.7%
	^{むかいとう} 無回答	1.0%

悩みや相談相手についておうかがいします

問17 あなたは今、悩んでいることや心配なことはありますか。(1つ選ぶ) (N=875)

1 ある	66.1%	2 ない	33.4%	むかいとう 無回答	0.6%
⇒問17-1 へ		⇒問18 へ			

問17-1 問17で「1 ある」と回答された方におうかがいします。あなたが今、悩んでいることや心配なことはどんなことですか。(選ぶのはいくつでも) (n=578)

1 勉強のこと	26.0%	8 住まいのこと	19.4%
2 進学、就職のこと	42.7%	9 政治や社会のこと	24.7%
3 仕事のこと	43.9%	10 性格のこと	20.4%
4 家族・子育てのこと	23.2%	11 健康のこと	24.6%
5 友人や仲間のこと	17.3%	12 容姿のこと	27.7%
6 恋愛や交際相手、結婚のこと	36.9%	13 インターネットやSNSのこと	4.0%
7 お金のこと	55.5%	14 その他〔例えば： 〕	3.3%
		むかいとう 無回答	0.2%

問18 悩んでいることや心配なことがある時、あなたの話を聞いてくれる人はいますか。(1つ選ぶ) (N=875)

1 いる	88.1%	2 いない	11.3%	むかいとう 無回答	0.6%
⇒問18-1 へ		⇒問19 へ			

問18-1 問18で「1 いる」と回答された方におうかがいします。悩んでいることや心配なことを聞いてくれる人は、誰ですか。あてはまる主な人を3つまでお答えください。(3つまで選ぶ) (n=771)

1 親	69.9%	9 サークルや部活の先輩・仲間・後輩	
2 きょうだい	22.8%		4.0%
3 親族(1, 2以外)	4.5%	10 地域行事や地域活動で関わった人や	
4 配偶者・パートナー・恋人	33.3%	近所の人	0.5%
5 友人	68.9%	11 インターネット・SNS上の知り合い	
6 学校の先生	6.4%		4.7%
7 塾や習い事の先生	3.0%	12 その他〔例えば： 〕	1.4%
8 職場・バイト先の先輩・同僚・後輩	11.5%	むかいとう 無回答	0.5%

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問18-2 自分の悩みを話す方法として、あなたはどのような方法を使いますか。最もあてはまるものをお答えください。(1つ選ぶ) (n=771)

1	直接会って話す	76.9%	4	LINEやメール	8.6%
2	電話で話す	11.8%	5	その他〔例えば：〕	1.2%
3	Facebook・Instagram等のSNS	0.9%		無回答	0.6%

将来についておうかがいします

問19 あなたは20年後、どのようになりたいと思いますか。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=875)

	あてはまる	どちらか といえば あてはまる	どちらか といえば あてはまらない	あてはまらない	むかいとう 無回答
① やりたいと思っている仕事をしていたい	71.9%	20.6%	3.7%	2.6%	1.3%
② 十分な収入で暮らしていきたい	83.3%	11.5%	1.3%	1.0%	2.9%
③ 何でも話せる人が周りにいてほしい	71.3%	21.4%	3.7%	1.3%	2.4%
④ 結婚していきたい・パートナーと生活していきたい	59.1%	22.1%	11.3%	6.2%	1.4%
⑤ 子育てをしていきたい	40.8%	23.3%	18.3%	15.7%	1.9%
⑥ 起業していきたい	11.3%	16.6%	26.3%	43.5%	2.3%
⑦ 地方に移住していきたい	8.5%	17.7%	30.1%	40.9%	2.9%
⑧ 共通の趣味を持った仲間を持っていきたい	53.5%	31.0%	7.7%	5.3%	2.6%
⑨ 地域や社会活動やボランティア活動に取り組んでいきたい	12.9%	27.1%	33.0%	24.0%	3.0%
⑩ 親世帯・子世帯の近くで暮らしたい	15.7%	32.5%	28.0%	21.6%	2.3%
⑪ 持ち家で暮らしたい	36.7%	26.9%	19.3%	13.8%	3.3%

ち い き
地域コミュニティについておうかがいます

問20 世田谷区や住んでいる地域への愛着を感じていますか。(1つ選ぶ)

(N=875)

1	かん 感じている	} 問20-1 へ	41.4%	3	かん あまり感じていない	} 問21 へ	12.6%
2	かん まあ感じている		41.8%	4	かん 感じていない		4.0%
					むかいとう 無回答		0.2%

問20-1 問20で「1 かん
感じている」「2 かん
まあ感じている」と回答された方におうかがいします。どんなところに愛着を感じていますか。(選ぶのはいくつでも)

(n=728)

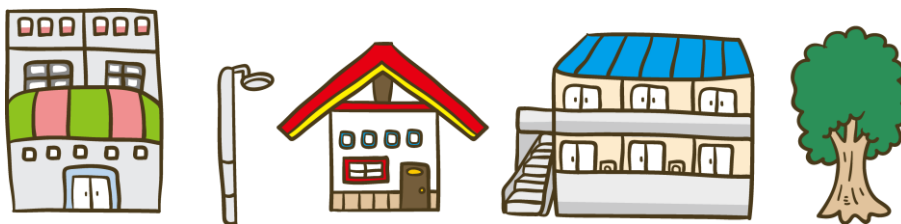
1	す 住んでいる人がやさしくて親切	25.8%
2	す 住んでいる人のモラルが高い	37.2%
3	す 住んでいる人同士に 温かいつながりがある	9.6%
4	ちあん 治安がよく、安全	72.8%
5	まち 街がきれい	47.8%
6	みどり 緑や公園が多い	49.5%
7	き い 気に入ったお店や商店街がある	46.7%
8	りよう 利用している電車や沿線の街が好き	43.8%
9	まつ お祭りや地域のイベントが好き	17.0%
10	ゆうめいじん 有名人が多く住んでいる	5.9%
11	わだい テレビやニュースでよく話題になる	6.0%
12	かん このまちにステータスを感じている	16.8%
13	ぶつか やす 物価が安い	1.1%
14	た た その他〔例えば： 〕	5.9%
	むかいとう 無回答	1.1%

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問21 あなたは今後、世田谷区に住み続けたいと思いますか。(1つ選ぶ)

(N=875)

1	住み続けたい	}	問22へ	32.2%
2	どちらかといえば住み続けたい			49.1%
3	住み続けたいが、住み続けられない	}	問21-1へ	8.3%
4	どちらかといえば住み続けたくない			7.1%
5	住み続けたくない			2.4%
	無回答			0.8%



問21-1 問21で「3 住み続けたいが、住み続けられない」「4 どちらかといえば住み続けたくない」「5 住み続けたくない」と回答された方におうかがいします。

その理由は何ですか。(選ぶのはいくつでも)

(n=156)

1	家賃、または住宅購入費が高い	64.7%
2	間取りが狭い	32.1%
3	区内に希望の間取りの住宅が少ない	18.6%
4	人や車が多過ぎる	23.1%
5	緑や公園などの自然が少ない	15.4%
6	大気汚染や騒音などの公害がひどい	5.8%
7	街並みが雑然として景観がよくない	14.7%
8	人間関係が希薄である	12.2%
9	治安の面で不安である	3.8%
10	他都市にいる親族や知人・友人の近くに住みたい	18.6%
11	その他〔例えば： 〕	30.8%
	無回答	0.6%

Ⅲ アンケート調査票と集計結果

問22 世田谷区では、地域住民による主体的な活動が数多くあります。あなたはどの活動に興味がありますか。(選ぶのはいくつでも) (N=875)

1	緑化・植花活動	29.1%
2	資源回収などのリサイクル運動	17.1%
3	高齢者や障害者などのための活動	8.7%
4	子どもや青少年育成のための活動	26.5%
5	子どもにスポーツ・社会・文化を体験させる活動	31.2%
6	外国人と交流する活動	28.7%
7	地域の防犯・防災のための活動	16.2%
8	事故や犯罪から子どもを守る活動	18.3%
9	その他〔例えば： 〕	1.9%
10	興味がない	24.6%
	無回答	1.7%

問23 あなたは最近2、3年の間に、学校や仕事以外で、趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりましたか。(1つ選ぶ) (N=875)

1	参加だけでなく企画から関わった	} 問23-1 へ	7.4%
2	参加した		20.5%
3	参加していない・関わっていない	} 問23-2 へ	71.3%
	無回答		0.8%

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問23-1 問23 で「1 参加だけでなく企画から関わった」「2 参加した」と回答された方におうかがいします。どのような趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりましたか。(選ぶのはいくつでも)

(n=244)

1	映画、音楽などの鑑賞や創作活動	33.2%
2	スポーツ(観戦含む)	22.1%
3	観光	13.1%
4	自然体験(キャンプ、川遊び、天体観測など)	15.6%
5	国や地方自治体の開催するイベント	5.3%
6	企業やNPOなど、民間団体の開催するイベント	17.2%
7	地域行事(祭りなど)	20.1%
8	地域活動(サークル活動、清掃、防災活動など)	14.8%
9	青少年交流センターの活動・イベントなど	3.7%
10	児童館の活動・イベントなど	6.6%
11	ボランティア	28.3%
12	自己啓発セミナー	0.8%
13	国際交流イベント(外国人との交流、ホームステイなど)	9.0%
14	その他〔例えば：	7.4%
	無回答	2.0%

問23-2 問23 で「3 参加していない・関わっていない」と回答された方におうかがいします。あなたは今後、趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりたいと思いますか。(1つ選ぶ)

(n=624)

1	参加・企画してみたい	24.0%
2	興味はあるが、参加・企画はしない	41.2%
3	興味がなく、参加・企画したいと思わない	33.0%
	無回答	1.8%

問24 あなたは、どのような条件が整えば趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりたいと思いますか。(選ぶのはいくつでも)

(N=875)

1	社会や地域への貢献度が高い	25.8%
2	能力・スキルが発揮・習得できる	44.8%
3	様々な情報が得られる	30.2%
4	活動団体の雰囲気がい	46.1%
5	普段関わることがない人との出会いがある	32.5%
6	短時間の活動や自分の都合にあわせて時間設定ができる	41.6%
7	活動場所までの交通の便がよく、通いやすい	33.8%
8	収入が得られるまたは活動のための費用がかからない	36.0%
9	自分の意見が活動内容に反映される	10.6%
10	地域の人から感謝される	13.0%
11	友人や知人と一緒に活動できる	26.1%
12	進学・就職の際、自己PRにつながる経歴になる	23.2%
13	学校の授業・ゼミの単位や評価につながる	9.3%
14	その他〔例えば： 〕	2.4%
15	参加・企画から関わりたいと思わない	9.9%
	無回答	2.1%

く し せ つ
区の施設についておうかがいします

問25 あなたは次の世田谷区が行っている困りごとや悩みごとなどの相談機関について、知っているものはありますか。(選ぶのはいくつでも)
※それぞれの取り組みの概要はこちらを参考にしてください。(N=875)

1	メルクマールせたがや	3.3%
2	せたがや ^{わかもの} 若者サポートステーション	3.2%
3	ふらっとホーム ^{せたがや} 世田谷	7.2%
4	世田谷 ^{せたがや} ひきこもり相談窓口「リンク」 ^{そうだんまどぐち}	2.7%
5	三茶 ^{さんちや} おしごとカフェ・ワークサポートせたがやなどの就労支援機関 ^{しゅうろうしえんきかん}	5.4%
6	世田谷区発達障 ^{せたがやくはったつしょうがい} 害相談・療育 ^{りょういく} センター「げんき」など発達障 ^{はったつしょうがい} 害者支援機関 ^{しやしえんきかん}	2.5%
7	セクシュアル・マイノリティのための世田谷にじいろひろば ^{せたがや} 電話相談 ^{でんわそうだん}	1.0%
8	ほっとスクール(教 ^{きょう} 育 ^{いく} 支援 ^{しえん} センター)	13.8%
9	教 ^{きょう} 育 ^{いく} 相談室 ^{そうだんしつ}	6.1%
10	世田谷区 ^{せたがやく} 児童 ^{じどう} 相談所 ^{そうだんじょ}	25.7%
11	子ども ^こ 家庭 ^{かてい} 支援 ^{しえん} センター	11.9%
12	せたがやホッと子どもサポート(子ども ^こ の人権 ^{じんけん} 擁護 ^{ようご} 機関 ^{きかん})	19.9%
13	知っているものはない	51.3%
	無 ^む 回 ^{かい} 答 ^{とう}	3.1%

問26 あなたは世田谷区が行っている若者関連施設について、利用したことがあるものがありますか。（それぞれ1つずつ選ぶ）
※それぞれの取り組みの概要はこちらを参考にしてください。

(N=875)

	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
① 児童館	47.9%	15.3%	34.3%	2.5%
② 池之上青少年交流センター（いけせい）	3.0%	4.3%	83.3%	9.4%
③ 野毛青少年交流センター（のげ青）	2.7%	3.8%	84.6%	8.9%
④ 希望丘青少年交流センター（アップス）	5.8%	3.2%	81.8%	9.1%
⑤ SNS情報発信「情熱せたがや、始めました。」	0.5%	1.8%	89.4%	8.3%
⑥ 女の子のための居場所「あいりす」	0.3%	3.0%	88.3%	8.3%
⑦ 中高生の居場所「たからばこ」	0.6%	1.8%	88.9%	8.7%
⑧ プレーパーク	11.4%	6.1%	73.7%	8.8%

子どもや若者の権利についておうかがいします

問27 子どもの権利については、子どもの権利条約をはじめ、令和5年4月に施行された「子ども基本法」に明記されております。あなたは、子どもの権利についてどの程度知っていますか。（1つ選ぶ）

(N=875)

1	内容を知っている	9.7%
2	少しだけ内容を知っている	20.3%
3	聞いたことはあるが内容までは知らない	33.0%
4	知らない	35.8%
	無回答	1.1%

第1章 アンケート調査(無作為抽出)

問28 あなたは、世田谷区の制度や施策について、自分の考えを伝えたいと思いますか。
(1つ選ぶ)

(N=875)

1	そう思う	}	問29へ	17.1%
2	どちらかといえばそう思う			32.8%
3	どちらかといえばそう思わない	}	問28-1へ	30.7%
4	そう思わない			17.9%
	無回答			1.4%

問28-1 問28で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答された方におうかがいします。

それはどのような理由からですか。(選ぶのはいくつでも)

(n=426)

1	意見を伝える方法がわからないから	26.8%
2	区に意見を伝えても反映されないと思うから	33.8%
3	意見を言っても、具体的な話し合いは大人だけで決めると思うから	16.2%
4	大人には、子どもや若者の気持ちがわからないから	6.8%
5	自分の意見に自信がないから	15.5%
6	意見を伝えることが苦手だから	13.4%
7	区に意見や要望を伝えるのは面倒だから	16.4%
8	区の制度や施策について知らないから	32.4%
9	世田谷区に伝えたい意見がないから	42.7%
10	その他〔例えば： 〕	3.3%
	無回答	1.6%

問29 どのような方法や手段があれば、あなたは世田谷区の制度や施策について意見を

伝えやすいと思いますか。(選ぶのはいくつでも)

(N=875)

1	意見を伝えるときに信頼できる人がそばにいる	16.2%
2	知人や家族などがないほうが話しやすい	12.1%
3	様々な人と意見交換（ワークショップなど）をしながら伝える	14.7%
4	LINEやS N Sなどのオンラインで伝える	55.3%
5	アンケート（紙）に答える	27.2%
6	意見を伝える相手がどのような人か事前にわかる	20.8%
7	伝えた意見がどのように扱われるのかわかる	46.5%
8	自分のことや伝えた内容が公開されない（秘密が守られる）	32.3%
9	若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる	44.7%
10	意見を伝えることでクーポンや謝礼などをもらえる	26.6%
11	その他〔例えば： 〕	2.2%
	無回答	3.0%

さいご
最後に

問30 世田谷区は、若者の皆さんと共に、子ども・若者が笑顔で過ごせる環境づくりを進めていきたいと考えています。この考え方も踏まえて、世田谷区に求めることや期待すること、世田谷区にあったらいいなと思う場所などがありましたら、自由に書いてください。

「おわり」を押すと、今まで答えたことを変えることができなくなります。

変えたいときは、「もどる」を押してください。

今まで答えたことでよければ、「おわり」を押してください。

もどる

おわり

かいとう
ご回答ありがとうございました。

アンケートはこれで終わりです。
さいご こた
最後まで答えていただき、ありがとうございました。
いけん せたがやく こ わかもの
みなさんの意見は、世田谷区の子ども・若者のための
とく
取り組みに活かしていきます。

ちょうさけっか ずいじこうしん
調査結果をこちらへ随時更新していきます。
こんかい ないよう いらいぶん わかもの いっしょ かんが
また、今回アンケートの内容や依頼文を若者と一緒に考えました。
わかもの いけん はんえい かてい しょうかい ぜ ひ らん
若者の意見が反映された過程も紹介しておりますので是非ご覧ください！

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/010/d00206330.html>

まいにち つら だれ はな
毎日が辛いとき、誰かと話したいとき…
きがる そうだん すこ ところ かる
お気軽にご相談ください。きっと少しでも心が軽くなりますよ。
そうだん かつどうしえんきかん あんない
相談・活動支援機関をご案内



あそ そうだん
遊びたい・相談したい・ごろごろしたい…
せたがやく かな ばしょ じゅうじつ
世田谷区には、そんなあなたの「〇〇したい」を叶える場所が充実しています。
いばしょ しょうかい
おすすめの居場所をご紹介します



第2章 アンケート調査 (若者施設利用者等)

I 調査概要

1 調査目的

本調査は「(仮称)世田谷区子ども・若者総合計画(第3期)」の策定にあたり、区の若者を取り巻く実態や若者の意見を把握するとともに、これまでの若者施策について評価検証し、さらに今後の子ども若者施策の検討に資することを目的とする。

2 調査対象

世田谷区の主要な若者施設・団体等を利用している若者 500人

【施設概要】

施設(団体)名	特長
児童館 中高生支援館(プレスポ)	5館の児童館は、「中高生支援館(プレスポ)」として、特に中高生世代の活動に力を入れている。中高生支援館は、開館時間を延長し、中高生専用の時間を設けたり、中高生向け設備が充実している。
池之上 青少年交流センター(いけせい)	だれもが自分らしく過ごせて、「やりたい」ことに挑戦できる若者の居場所。1人でマンガを読んだり、ぼーっとしたり、仲間とゲームをしたり…。やってみたいことは、ユースワーカーが全力で応援！
野毛 青少年交流センター(のげ青)	のげ青には、友達とのおしゃべりや勉強、調理、ダンスの練習など、様々な活動をするためのスペースがたくさん。いつでもふらっと立ち寄れる、若者のための居場所。
希望丘 青少年交流センター(アップス)	アップスは、いつでも、誰でも、自由に過ごせる若者のためのフリースペース。一人のんびり過ごしてもよし、仲間と一緒にワイワイするもよし！一人ひとりの「やってみたい」をユースワーカーがサポート！
情熱せたがや、始めました。	高校生・大学生世代の若者による「まちの魅力発信メディア」。日々、若者らしい視点で世田谷区の魅力的な場所・人取材し、SNSを通して情報発信を行っている。
昭和女子大学／あいりす	中高生世代を中心とした女の子が安心して利用できる居場所。運営するスタッフの女子大生と一緒に、ネイルや手芸、ボードゲームなどをしながらゆったり過ごすことができる。
たからばこ	大学生スタッフが中心となって運営する、上北沢にある中高生世代のための居場所。ふらっときてのんびりおしゃべりや、大学生と一緒に勉強やボードゲームもできる。
プレーパーク	地域のボランティアによって運営され、常駐のプレーワーカーがいる屋外の遊び場。乳幼児から小学生、親世代も含め幅広い世代が集い、中高生・大学生世代の居場所にもなっていて、「夕食会」も開催している。
メルクマールせたがや	ひきこもりなどの生きづらさを抱えた方に対して、面談や居場所活動、セミナー等を実施し、若者ひとりひとりの社会参加を総合的にサポートしている。
せたがや若者サポートステーション	働くことに悩む若者を対象に、就労に向けた準備、職場体験等の実践支援を行っている。面談や各プログラム等を通して、自分に合ったペースで就労を目指していく場所。

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

施設(団体)名	特長
せたエール	下北沢駅の近くにある、児童養護施設や里親家庭等のもとを巣立った若者の居場所。個別相談も利用可。
障害者就労支援センターすきっぷ	主に知的障害がある方のための、就労に必要な能力や基本的な労働習慣を習得できる場を提供。就労相談や定着支援、生活支援も実施。
発達障害者就労支援センター ゆに (UNI)	障害のある方(主に発達障害)の“働く”を応援。就職相談、就職準備、就職後の定着支援として職場訪問、職場内の環境調整なども実施。
地域インターンシップ世田谷	世田谷のまちに住み、通い、興味を持っている学生に、「世田谷のまち」をもっと身近に感じてもらい、ファンになってもらうことを目的にした事業。
せたがや国際交流センター	外国人への生活に必要な情報提供、地域参加の促進、多文化共生の意識づくり及び偏見差別の解消を推進している。
特定非営利活動法人せたがや子育てネット	子育て支援に関する事業や、子育ておよび子どもの育ちを地域全体で支え合うネットワークづくりに関する事業を行っている。

3 調査方法

調査依頼文を施設・団体にて配布 インターネットによる Web 回答

4 調査時期

令和5年11月15日(水)～12月6日(水)

5 回収数

172件

6 調査項目

P3～4「6 調査項目」と同じ

※ただし、問0として、調査依頼文を受け取った施設・団体を調査した。

Ⅱ アンケート調査票と集計結果

若者施設利用者等に対する調査の結果については、分析やクロス集計等を加えることで、個々の施設の利用者の考えや特色などが見えてしまう可能性があるため、単純集計結果のみ掲載する。

せたがやくわかもの 世田谷区若者アンケート

【はじめに】

このアンケートは、せたがやく世田谷区からお願いしています。

- ・質問内容は、しゅもんないよう大学生と一緒に考えました。
- ・名前は聞きません。どなたがねが答えたか、わからないようになっています。
- ・調査結果は、ちょうさけっか世田谷区の子ども・若者のための取り組みに役立てます。

こた答えたくない質問は飛ばしても大丈夫。

やく ふん約20分のアンケートで、みらい か未来を変えよう！



若者の声を、届けよう。

ログインID :

パスワード :

アンケートにこたえます

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

【施設や学校などから調査のご案内を受け取った方のみおうかがいします】

問0 調査のご案内を受け取った施設・団体をお答えください。(1つ選ぶ)

(N=172)

1	池之上青少年交流センター いけのうえせいしょうねんこうりゅう	22.1%
2	野毛青少年交流センター のげせいしょうねんこうりゅう	14.0%
3	希望丘青少年交流センター きぼうがおかせいしょうねんこうりゅう	7.6%
4	池尻児童館 いけじりじどうかん	7.0%
5	代田児童館 だいたじどうかん	3.5%
6	玉川台児童館 たまがわだいじどうかん	2.3%
7	喜多見児童館 きたみじどうかん	0.0%
8	粕谷児童館 かすやじどうかん	0.0%
9	羽根木プレーパーク はねぎ	7.6%
10	世田谷プレーパーク せたがや	8.1%
11	駒沢はらっぱプレーパーク こまざわ	1.7%
12	鳥山プレーパーク からすやま	0.6%
13	地域インターンシップ世田谷 ちいき せたがや	3.5%
14	情熱せたがや、始めました。 じょうねつ はじ	2.9%
15	あいりす	1.7%
16	たからばこ	1.2%
17	せたがや国際交流センター こくさいこうりゅう	0.0%
18	メルクマールせたがや	0.6%
19	障害者就労支援センターゆに (UNI) しょうがいしゃしゅうろうしえん	2.3%
20	障害者就労支援センターすきっぷ しょうがいしゃしゅうろうしえん	2.9%
21	子育てひろば こそだ	0.6%
22	せたエール	2.9%
23	せたがや若者サポートステーション わかもの	6.4%
	無回答 むかいとう	0.6%

あなた自身についておうかがいします

問1 令和5年4月1日時点のあなたの年齢をお答えください。 (N=172)

平均20.4 歳

問2 あなたの性別をお答えください。(1つ選ぶ) (N=172)

1	男性	54.7%	3	答えたくない	1.7%	5	その他	1.2%
2	女性	40.7%	4	わからない	1.2%		無回答	0.6%

問3 現在、あなたは世田谷区に住んで何年ぐらいになりますか。(1つ選ぶ) (N=172)

1	1年未満	5.2%	3	5～10年未満	3.5%	5	20年以上	18.0%
2	1～5年未満	6.4%	4	10～20年未満	36.6%	6	該当しない	30.2%
							無回答	0.0%

問4 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(選ぶのはいくつでも) (N=172)

1	父	69.2%	7	自身のお子さん(2人以上)	0.6%
2	母	81.4%	8	その他の親族	2.3%
3	きょうだい	55.8%	9	友人	0.0%
4	祖父母	12.8%	10	その他〔例えば: 〕	3.5%
5	配偶者・パートナー・恋人	4.7%	11	同居人はいない	9.3%
6	自身のお子さん(1人)	1.2%		無回答	0.0%

問5 世田谷区内に親族はいますか(同居を除く)。それは、どなたですか。

(選ぶのはいくつでも)

(N=172)

1	父	12.8%	4	祖父母	18.0%	無回答	0.6%
2	母	17.4%	5	配偶者	0.6%		
3	きょうだい	15.7%	6	いない	66.9%		

問6 あなたの現在の状況をお答えください。ただし、複数に該当する場合は、主なものをお答えください。(1つ選ぶ) (N=172)

1	生徒・学生	64.5%	5	専業主婦(夫)	1.7%
2	正社員・正規職員(自営業を含む)	8.7%	6	無職(求職中の人を含む)	11.0%
3	契約社員など非正規職員	4.7%	7	その他〔例えば: 〕	3.5%
4	パート、アルバイト	5.8%		無回答	0.0%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問6-1 問6で「1 生徒・学生」と回答された方におうかがいします。学費はどなたが負担していますか。(選ぶのはいくつでも) (n=111)

1	保護者	89.2%
2	自分	2.7%
3	保護者が負担し、のちに自分が返済する	5.4%
4	国の就学支援金制度や都の助成金(高校生)	2.7%
5	奨学金(貸与型)を受給している	8.1%
6	奨学金(給付型)を受給している	3.6%
7	その他〔例えば: 〕	0.9%
8	わからない	1.8%
	無回答	0.0%

問6-2 問6で「1 生徒・学生」と回答された方におうかがいします。
アルバイトなどの収入を得る活動をしていますか。(1つ選ぶ) (n=111)

1	している	56.8%	2	していない	43.2%	無回答	0.0%
⇒問6-3へ				⇒問7へ			

問6-3 問6-2で「1 している」と回答された方におうかがいします。アルバイトなどの収入は何に使っていますか。(選ぶのはいくつでも) (n=63)

1	学費	6.3%
2	住居費(光熱水費を含む)	4.8%
3	食費	55.6%
4	娯楽費、交際費	93.7%
5	スマートフォンなどの通信費	22.2%
6	その他〔例えば: 〕	12.7%
	無回答	0.0%

問6-4 問6で「1 生徒・学生」と回答された方以外におうかがいします。あなたの世帯収入をお答えください。(1つ選ぶ) (n=61)

1	100万円未満	11.5%	6	1,000～1,500万円未満	3.3%
2	100～300万円未満	27.9%	7	1,500～2,000万円未満	3.3%
3	300～500万円未満	14.8%	8	2,000万円以上	0.0%
4	500～700万円未満	1.6%	9	わからない	27.9%
5	700～1,000万円未満	4.9%		無回答	4.9%

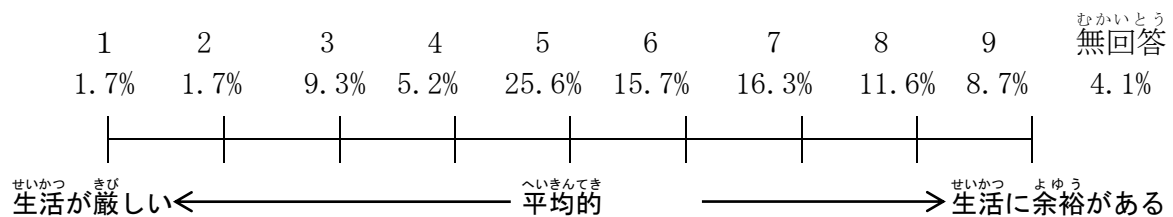
問7 あなたが現在在学している、または最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか。（それぞれ1つずつ選ぶ） (N=172)

がっこう 学校の種別	1 中学校	5.2%	5 大学	43.6%
	2 高等学校	37.2%	6 大学院	0.6%
	3 専門学校・高等専門学校・ 高等専修学校	7.6%	7 その他〔例えば： 〕	2.3%
	4 短期大学	1.7%	無回答	1.7%
ざいがくなど 在学等の 状況	1 在学中	59.3%	2 卒業	25.6%
			3 中退	2.9%
			無回答	12.2%

問8 あなたの家の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は世間一般と比べてみてどの程度だと思われますか。あなたの実感でお答えください。

(1つ選ぶ)

(N=172)



第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問9 あなたは自分のことをどのように思っていますか。(それぞれ1つずつ選ぶ)

(N=172)

	とても そう おも 思う	まあ そう おも 思う	どちら でも ない	あまり そう おも 思わ ない	そう おも 思わ ない	むかいとう 無回答
① ① ① ① ① ① ① 自分のことが大事だと思 じぶん だいじ おも う	44.2%	29.7%	9.3%	11.6%	2.9%	2.3%
② ② ② ② ② ② ② 自分のことが好きだ じぶん す	23.8%	37.8%	13.4%	12.2%	7.6%	5.2%
③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ 人や社会の役に立ちたいと思 ひと しゃかい やく た おも う	38.4%	36.0%	11.6%	6.4%	1.2%	6.4%
④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ 自分らしさというものがあると思 じぶん おも う	41.9%	34.3%	10.5%	6.4%	2.9%	4.1%
⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ 幸 しあわ せである	39.5%	38.4%	12.8%	4.7%	0.6%	4.1%
⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ 将 しょうらい 来よりも今の生活を楽しみたい いま せいかつ たの	24.4%	32.6%	28.5%	8.1%	2.3%	4.1%
⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ 家族や周りの人に大事にされている かぞく まわ ひと だいじ	51.7%	30.2%	7.6%	4.1%	1.2%	5.2%
⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ うまくいくかわからないことも意欲的 いよくてき に取り組む とく	25.0%	32.0%	19.8%	14.5%	4.7%	4.1%
⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ 周りの人は自分の意見をちゃんと聞 き いてくれている まわ ひと じぶん いけん	33.1%	43.6%	15.1%	4.1%	1.7%	2.3%
⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ 孤独だと感 かん じる こどく	8.7%	13.4%	25.6%	26.2%	22.7%	3.5%

せいかつ
ふだんの生活についておうかがいします

問10 あなたは、学校や仕事以外の時間をどのように過ごしていますか。

ゆうせんど たか
優先度の高いものを3つまでお答えください。(3つまで選ぶ)

(N=172)

1	家族・知人とおしゃべりをする	43.6%
2	スマートフォンやパソコン、タブレットを使う	72.1%
3	テレビで番組や動画配信サイトなどを視聴する	26.7%
4	カードゲーム、ボードゲームなどをする	6.4%
5	勉強をする(塾に行く)	16.9%
6	楽器の演奏、絵画などの創作活動をする	16.3%
7	スポーツやダンスなどの運動をする	14.5%
8	ドライブ、サイクリング、散歩に出かける	4.7%
9	食事や買い物に出かける	8.7%
10	スポーツ観戦、ライブなどのイベントに行く	5.8%
11	映画館、ゲームセンター、カラオケに行く	9.9%
12	親の代わりに家事をする(料理、洗濯など)	7.0%
13	家族の世話や介護をする	1.7%
14	アルバイト、ポイ活、モニターなど収入を得る活動をしている	19.2%
15	地域活動やサークル活動、ボランティア活動をする	9.3%
16	何もしないでのんびりする	13.4%
17	その他[例えば:]	5.2%
	無回答	0.6%

問11 ホットでき、安心していられる場所がありますか。(1つ選ぶ)

(N=172)

1	ある	94.2%	2	ない	5.8%	無回答	0.0%
⇒問11-1へ			⇒問12へ				



第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問11-1 問11で「1 ある」と回答された方におうかがいします。ホッとでき、
安心していられる場所はどこですか。(選ぶのはいくつでも) (n=162)

1	自分の部屋	81.5%
2	自室以外の部屋(風呂、トイレ含む)	35.8%
3	自宅以外の家(友人宅、祖父母の家など)	13.6%
4	学校(部活動含む)	14.8%
5	職場(アルバイト含む)	11.1%
6	児童館	7.4%
7	青少年交流センター	20.4%
8	地域の人が開いている遊び場など	9.9%
9	図書館	9.9%
10	公園や河川敷などの屋外	14.8%
11	塾や習い事(教室)	2.5%
12	ゲームセンターやファーストフード店などのお店	3.7%
13	無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所	3.1%
14	相談窓口、サポートしてくれる場所(電話やオンラインを含む)	1.9%
15	インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	10.5%
16	その他の場所〔例えば： 〕	9.9%
	無回答	0.0%

問12 ホッとでき、安心していられる場所に必要なのは何か。(選ぶのはいくつでも) (N=172)

1	いつでも行きたい時に行ける	66.3%
2	一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	69.2%
3	ありのままでいられる、自分を否定されない	58.1%
4	好きなことをして自由に過ごせる	68.0%
5	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	33.1%
6	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	25.0%
7	悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる人がいる	35.5%
8	いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	31.4%
9	スポーツなど体を思い切り動かすことができる	17.4%
10	その他〔例えば： 〕	1.7%
	無回答	0.6%

問13 あなたは、スマートフォンやパソコン、タブレットを使って（自分のもの以外を含む）
以下のことをふだんどれくらいしますか。（それぞれ1つずつ選ぶ）

(N=172)

	まいにち 毎日 5時間 以上	まいにち 毎日 3～4 時間	まいにち 毎日 2時間 以下	しゅう 週に 3～4 日	しゅう 週に 1～2 日	しない	むかいとう 無回答
① ゲームをする	7.0%	9.3%	23.3%	9.3%	7.6%	39.0%	4.7%
② メール・LINEのやりとりをする	4.1%	7.0%	67.4%	4.1%	8.1%	3.5%	5.8%
③ X（旧Twitter）・Instagram等の SNSを利用する	5.8%	12.2%	55.2%	6.4%	2.3%	14.0%	4.1%
④ YouTube・Netflix等の動画配信サ ービスを利用する	11.0%	25.0%	37.2%	11.0%	3.5%	5.8%	6.4%
⑤ オンライン授業・レッスンや学習 アプリを利用する	0.6%	3.5%	14.0%	5.2%	10.5%	57.6%	8.7%
⑥ インターネットで検索（情報 収集）する	5.2%	9.3%	56.4%	12.2%	6.4%	5.2%	5.2%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問14 あなたはふだんどのくらい外出しますか。(1つ選ぶ) (N=172)

1	仕事や学校のある日は毎日外出する	72.7%
2	仕事や学校で週に3～4日外出する	7.6%
3	遊びなどで頻繁に外出する	11.6%
4	人づきあいのためにときどき外出する	1.7%
5	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	5.2%
6	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	0.0%
7	家からほとんど出ない	0.6%
	無回答	0.6%

問15へ

→【問14-1～問14-3は、問14で「5」～「7」と回答された方におうかがいします】

問14-1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

(1つ選ぶ)
(n=10)

1	3か月未満	10.0%	5	3年～5年未満	20.0%
2	3～6か月未満	10.0%	6	5～10年未満	0.0%
3	6か月～1年未満	10.0%	7	10～20年未満	0.0%
4	2年～3年未満	40.0%	8	20年以上	0.0%
				無回答	10.0%

問14-2 あなたの外出状況が現在の状態になった具体的な年齢をお答えください。

平均19.8歳

問14-3 あなたの外出状況が現在の状態になったきっかけは何ですか。

(選ぶのはいくつでも)

(n=10)

1	学校になじめなかったため	20.0%
2	受験に失敗したため	0.0%
3	就職活動がうまくいかなかったため	30.0%
4	職場になじめなかったため	10.0%
5	人間関係がうまくいかなかったため	20.0%
6	病気・障がいのため	20.0%
7	妊娠したため	0.0%
8	退職したため	30.0%
9	新型コロナウイルス感染症が流行したため	20.0%
10	通信制の学校のため	20.0%
11	仕事や授業がリモートになったため	20.0%
12	介護や看護を行うことになったため	0.0%
13	外出する必要がなかったため	40.0%
14	その他〔例えば： 〕	10.0%
	無回答	0.0%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問15 ^{とい}次に^{つぎ}挙げられたことについて、どの程度^{あて}あてはまりますか。(それぞれ1つずつ^{えら}選ぶ)

(N=172)

	あて はまる	どちらか といえ ばあて はまる	どちらか といえ ばあてはま らない	あて はまら ない	むかいとう 無回答
② ^か 家事 ^じ など、 ^み 身の回り ^{まわ} のことは自分 ^{じぶん} でしている	26.2%	35.5%	23.3%	14.0%	1.2%
② ^{あさ} 朝 ^き 、決まった時間 ^{じかん} に起き ^お られる	29.7%	33.1%	16.3%	17.4%	3.5%
③ ^{しんや} 深夜 ^お まで起きていることが多い ^{おお}	40.7%	26.7%	15.7%	14.5%	2.3%
④ ^{ちゅうやぎやくてん} 昼夜逆転 ^{せいかつ} の生活 ^{せいかつ} をしている	10.5%	12.8%	19.2%	55.8%	1.7%
⑤ ^{せいじ} 政治 ^{けいざい} や経済 ^{しゃかい} ・社会報道 ^{ほうどう} に目 ^め を通 ^{とお} す	15.7%	32.6%	26.2%	23.8%	1.7%
⑥ 自分 ^{じぶん} の周囲 ^{しゅうい} には理不 ^{りふ} 尽 ^{じん} と思うことがた くさんある ^{おも}	18.0%	29.1%	37.8%	13.4%	1.7%
⑦ ^{だれ} 誰 ^{くち} とも口 ^き を利 ^す かずに過 ^ひ ごす日 ^{おほ} が多い	5.8%	9.3%	27.9%	54.7%	2.3%
⑧ ^{ひと} 人と会話 ^{かいわ} をするのはわずらわしい	5.2%	12.2%	27.3%	51.2%	4.1%
⑨ 自分 ^{じぶん} の精神 ^{せいしん} 状 ^{じょう} 態 ^{たい} は健康 ^{けんこう} ではないと思う ^{おも}	8.1%	18.0%	27.9%	42.4%	3.5%
⑩ ^{いや} 嫌 ^い なことがあると、家 ^{いえ} や自室 ^{じしつ} に閉 ^と じこ もりたくなる	17.4%	26.7%	20.3%	33.7%	1.7%

問16 新型コロナウイルス感染症によって変化したことや、あなた自身が感じたことを教えてください。（選ぶのはいくつでも） (N=172)

1	新型コロナウイルスに感染した、または感染するのではと心配した	50.6%
2	人と会う機会や話す機会が減った	39.5%
3	やりたいことができなくなった	34.9%
4	食事の支度や掃除などの家事負担が増えた	5.2%
5	生活のリズムが不規則になった	19.2%
6	ささいなことでケンカすることが増えた	3.5%
7	マスクをすることが苦痛だった	28.5%
8	マスクをはずしにくくなった	29.7%
9	希望する進学や就職をあきらめることになった	2.3%
10	収入が減ったことで様々な活動ができなかった	5.2%
11	自由になる時間が増えた	28.5%
12	オンラインでの活動など新たな取り組みにチャレンジした	15.7%
13	その他〔例えば： 〕	5.8%
14	特に変化したことはない	11.6%
	無回答	1.2%

悩みや相談相手についておうかがいします

問17 あなたは今、悩んでいることや心配なことはありますか。(1つ選ぶ) (N=172)

1 ある	65.1%	2 ない	34.9%	むかいとう 無回答	0.0%
⇒問17-1へ		⇒問18へ			

問17-1 問17で「1 ある」と回答された方におうかがいします。あなたが今、悩んでいることや心配なことはどんなことですか。(選ぶのはいくつでも) (n=112)

1 勉強のこと	35.7%	8 住まいのこと	20.5%
2 進学、就職のこと	60.7%	9 政治や社会のこと	11.6%
3 仕事のこと	30.4%	10 性格のこと	30.4%
4 家族・子育てのこと	16.1%	11 健康のこと	23.2%
5 友人や仲間のこと	25.0%	12 容姿のこと	17.9%
6 恋愛や交際相手、結婚のこと	26.8%	13 インターネットやSNSのこと	5.4%
7 お金のこと	45.5%	14 その他〔例えば：〕	3.6%
		むかいとう 無回答	0.0%

問18 悩んでいることや心配なことがある時、あなたの話を聞いてくれる人はいますか。(1つ選ぶ)

(N=172)

1 いる	90.7%	2 いない	8.7%	むかいとう 無回答	0.6%
⇒問18-1へ		⇒問19へ			

問18-1 問18で「1 いる」と回答された方におうかがいします。悩んでいることや心配なことを聞いてくれる人は、誰ですか。あてはまる主な人を3つまでお答えください。(3つまで選ぶ) (n=156)

1 親	67.3%	9 サークルや部活の先輩・仲間・後輩	
2 きょうだい	19.2%		1.3%
3 親族(1, 2以外)	5.8%	10 地域行事や地域活動で関わった人や	
4 配偶者・パートナー・恋人	16.0%	近所の人	10.3%
5 友人	68.6%	11 インターネット・SNS上の知り合い	
6 学校の先生	6.4%		5.1%
7 塾や習い事の先生	1.3%	12 その他〔例えば：〕	11.5%
8 職場・バイト先の先輩・同僚・後輩		むかいとう 無回答	0.6%
	11.5%		

問18-2 自分の悩みを話す方法として、あなたはどのような方法を使いますか。

もっと 最もあてはまるものをお答えください。(1つ選ぶ) (n=156)

1	直接会って話す	84.0%	4	LINEやメール	7.7%
2	電話で話す	5.1%	5	その他〔例えば：〕	0.6%
3	Facebook・Instagram等のSNS	1.3%		無回答	1.3%

将来についておうかがいします

問19 あなたは20年後、どのようになりたいと思いますか。(それぞれ1つずつ選ぶ)
(N=172)

	あてはまる	どちらか といえば あてはまる	どちらか といえば あてはまらない	あてはまらない	むかいとう 無回答
① やりたいと思っている仕事をしていたい	66.9%	29.1%	1.7%	2.3%	0.0%
② 十分な収入で暮らしたい	62.8%	30.2%	1.7%	1.7%	3.5%
③ 何でも話せる人が周りにいてほしい	64.0%	26.7%	5.8%	1.7%	1.7%
④ 結婚したい・パートナーと生活したい	52.3%	26.2%	11.6%	7.0%	2.9%
⑤ 子育てをしていたい	37.2%	25.6%	19.2%	16.3%	1.7%
⑥ 起業したい	14.0%	15.7%	19.2%	47.1%	4.1%
⑦ 地方に移住したい	11.6%	25.6%	25.0%	32.6%	5.2%
⑧ 共通の趣味を持った仲間を持っていたい	60.5%	27.3%	5.8%	2.3%	4.1%
⑫ 地域や社会活動やボランティア活動に取り組んでいたい	29.7%	33.7%	22.7%	11.6%	2.3%
⑬ 親世帯・子世帯の近くで暮らしたい	21.5%	32.6%	21.5%	20.9%	3.5%
⑭ 持ち家で暮らしたい	34.9%	25.6%	21.5%	13.4%	4.7%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

ち い き
地域コミュニティについておうかがいします

とい 問20 せたがやく す ち い き あいちゃく かん えら
世田谷区や住んでいる地域への愛着を感じていますか。(1つ選ぶ)

(N=172)

1 かん 感じている	} とい 問20-1 へ	44.8%	3 かん あまり感じていない	} とい 問21 へ	5.8%
2 かん まあ感じている		47.1%	4 かん 感じていない		2.3%
			むかいとう 無回答		0.0%

とい 問20-1 とい 問20 で「1 かん 感じている」「2 かん まあ感じている」と回答された方におうかがいします。どんなところに愛着を感じていますか。(選ぶのはいくつでも)

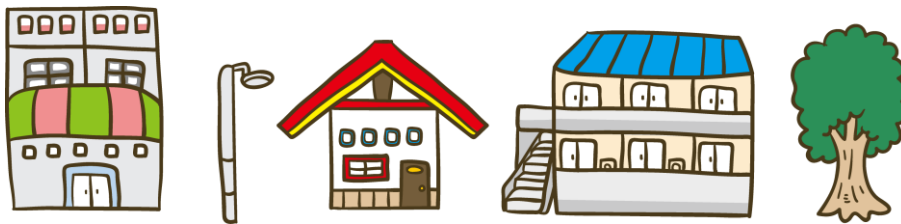
(n=158)

1 す ひと 住んでいる人がやさしくて親切 しんせつ	35.4%
2 す ひと 住んでいる人のモラルが高い たか	24.1%
3 す ひと どうし あたた 住んでいる人同士に温かいつながりがある	20.3%
4 ちあん 治安がよく、安全 あんぜん	58.2%
5 まち 街がきれい	36.1%
6 みどり こうえん おお 緑や公園が多い	44.9%
7 き い みせ しょうてんがい 気に入ったお店や商店街がある	41.8%
8 りよう でんしゃ えんせん まち す 利用している電車や沿線の街が好き	26.6%
9 まつ ち い き す お祭りや地域のイベントが好き	21.5%
10 ゆうめいじん おお す 有名人が多く住んでいる	5.7%
11 テレビやニュースでよく話題になる わだい	5.7%
12 このまちにステータスを感じている かん	12.0%
13 ぶつか やす 物価が安い	0.6%
14 その他〔例えば： 〕	10.1%
むかいとう 無回答	1.9%

問21 あなたは今後、世田谷区に住み続けたいと思いますか。(1つ選ぶ)

(N=172)

1	住み続けたい	}	問22へ	29.1%
2	どちらかといえば住み続けたい			45.3%
3	住み続けたいが、住み続けられない	}	問21-1へ	8.1%
4	どちらかといえば住み続けたくない			5.8%
5	住み続けたくない			6.4%
	無回答			5.2%



問21-1 問21で「3 住み続けたいが、住み続けられない」「4 どちらかといえば住み続けたくない」「5 住み続けたくない」と回答された方におうかがいします。

その理由は何ですか。(選ぶのはいくつでも)

(n=35)

1	家賃、または住宅購入費が高い	45.7%
2	間取りが狭い	11.4%
3	区内に希望の間取りの住宅が少ない	14.3%
4	人や車が多過ぎる	25.7%
5	緑や公園などの自然が少ない	20.0%
6	大気汚染や騒音などの公害がひどい	5.7%
7	街並みが雑然として景観がよくない	11.4%
8	人間関係が希薄である	2.9%
9	治安の面で不安である	0.0%
10	他都市にいる親族や知人・友人の近くに住みたい	8.6%
11	その他〔例えば： 〕	40.0%
	無回答	5.7%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問22 世田谷区では、地域住民による主体的な活動が数多くあります。あなたはどの活動に興味がありますか。(選ぶのはいくつでも) (N=172)

1	緑化・植花活動	26.2%
2	資源回収などのリサイクル運動	18.0%
3	高齢者や障害者などのための活動	13.4%
4	子どもや青少年育成のための活動	45.3%
5	子どもにスポーツ・社会・文化を体験させる活動	46.5%
6	外国人と交流する活動	27.3%
7	地域の防犯・防災のための活動	12.2%
8	事故や犯罪から子どもを守る活動	14.5%
9	その他〔例えば： 〕	1.7%
10	興味がない	18.6%
	無回答	2.3%

問23 あなたは最近2、3年の間に、学校や仕事以外で、趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりましたか。(1つ選ぶ) (N=172)

1	参加だけでなく企画から関わった	} 問23-1 へ	23.3%
2	参加した		38.4%
3	参加していない・関わっていない	} 問23-2 へ	36.6%
	無回答		1.7%

問23-1 問23 で「1 参加だけでなく企画から関わった」「2 参加した」と回答された方に
 おうかがいします。どのような趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・
 企画から関わりましたか。(選ぶのはいくつでも)

(n=106)

1	映画、音楽などの鑑賞や創作活動	31.1%
2	スポーツ（観戦含む）	13.2%
3	観光	4.7%
4	自然体験（キャンプ、川遊び、天体観測など）	7.5%
5	国や地方自治体の開催するイベント	5.7%
6	企業やNPOなど、民間団体の開催するイベント	23.6%
7	地域行事（祭りなど）	35.8%
8	地域活動（サークル活動、清掃、防災活動など）	11.3%
9	青少年交流センターの活動・イベントなど	35.8%
10	児童館の活動・イベントなど	25.5%
11	ボランティア	26.4%
12	自己啓発セミナー	1.9%
13	国際交流イベント（外国人との交流、ホームステイなど）	5.7%
14	その他〔例えば： 〕	2.8%
	無回答	0.0%

問23-2 問23 で「3 参加していない・関わっていない」と回答された方におうかがいしま
 す。あなたは今後、趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わ
 りたいと思いますか。（1つ選ぶ）

(n=63)

1	参加・企画してみたい	25.4%
2	興味はあるが、参加・企画はしない	25.4%
3	興味がなく、参加・企画したいと思わない	44.4%
	無回答	4.8%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問24 あなたは、どのような条件が整えば趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりたいと思いますか。(選ぶのはいくつでも)

(N=172)

1	社会や地域への貢献度が高い	27.9%
2	能力・スキルが発揮・習得できる	45.9%
3	様々な情報が得られる	27.9%
4	活動団体の雰囲気がよい	51.7%
5	普段関わることがない人との出会いがある	38.4%
6	短時間の活動や自分の都合にあわせて時間設定ができる	30.2%
7	活動場所までの交通の便がよく、通いやすい	34.3%
8	収入が得られるまたは活動のための費用がかからない	30.2%
9	自分の意見が活動内容に反映される	22.1%
10	地域の人から感謝される	14.0%
11	友人や知人と一緒に活動できる	31.4%
12	進学・就職の際、自己PRにつながる経歴になる	19.2%
13	学校の授業・ゼミの単位や評価につながる	11.6%
14	その他〔例えば： 〕	2.9%
15	参加・企画から関わりたいと思わない	9.9%
	無回答	2.9%

く し せ つ
区の施設についておうかがいします

問25 あなたは次の世田谷区が行っている困りごとや悩みごとなどの相談機関について、知っているものはありますか。(選ぶのはいくつでも)

※それぞれの取り組みの概要はこちらを参考にしてください。(N=172)

1	メルクマールせたがや	20.3%
2	せたがや若者サポートステーション	22.1%
3	ふらっとホーム世田谷	18.6%
4	世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」	11.0%
5	三茶おしごとカフェ・ワークサポートせたがやなどの就労支援機関	16.9%
6	世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」など発達障害者支援機関	7.0%
7	セクシュアル・マイノリティのための世田谷にじいろひろば電話相談	4.1%
8	ほっとスクール(教育支援センター)	16.3%
9	教育相談室	12.8%
10	世田谷区児童相談所	27.9%
11	子ども家庭支援センター	16.3%
12	せたがやホッと子どもサポート(子どもの人権擁護機関)	30.2%
13	知っているものはない	30.8%
	無回答	5.2%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問26 あなたは世田谷区が行っている若者関連施設について、利用したことがあるものがありますか。(それぞれ1つずつ選ぶ)
※それぞれの取り組みの概要はこちらを参考にしてください。

(N=172)

	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
① 児童館	53.5%	18.0%	19.8%	8.7%
② 池之上青少年交流センター(いけせい)	39.0%	21.5%	23.8%	15.7%
③ 野毛青少年交流センター(のげ青)	20.9%	26.2%	33.1%	19.8%
④ 希望丘青少年交流センター(アップス)	22.7%	20.3%	34.9%	22.1%
⑤ SNS情報発信「情熱せたがや、始めました。」	5.8%	12.2%	59.9%	22.1%
⑥ 女の子のための居場所「あいりす」	1.7%	26.2%	48.8%	23.3%
⑦ 中高生の居場所「たからばこ」	5.2%	18.6%	55.2%	20.9%
⑧ プレーパーク	33.1%	13.4%	39.5%	14.0%

子どもや若者の権利についておうかがいします

問27 子どもの権利については、子どもの権利条約をはじめ、令和5年4月に施行された「こども基本法」に明記されております。あなたは、子どもの権利についてどの程度知っていますか。(1つ選ぶ)

(N=172)

1 内容を知っている	14.5%
2 少しだけ内容を知っている	27.3%
3 聞いたことはあるが内容までは知らない	29.7%
4 知らない	26.7%
無回答	1.7%

問28 あなたは、世田谷区の制度や施策について、自分の考えを伝えたいと思いますか。
(1つ選ぶ)

(N=172)

1	そう思う	}	問29へ	15.7%
2	どちらかといえばそう思う			34.3%
3	どちらかといえばそう思わない	}	問28-1へ	26.2%
4	そう思わない			21.5%
	無回答			2.3%

問28-1 問28で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答された方におうかがいします。

それはどのような理由からですか。(選ぶのはいくつでも)

(n=82)

1	意見を伝える方法がわからないから	30.5%
2	区に意見を伝えても反映されないと思うから	30.5%
3	意見を言っても、具体的な話し合いは大人だけで決めると思うから	11.0%
4	大人には、子どもや若者の気持ちがわからないから	3.7%
5	自分の意見に自信がないから	24.4%
6	意見を伝えることが苦手だから	22.0%
7	区に意見や要望を伝えるのは面倒だから	23.2%
8	区の制度や施策について知らないから	23.2%
9	世田谷区に伝えたい意見がないから	26.8%
10	その他〔例えば： 〕	12.2%
	無回答	3.7%

第2章 アンケート調査(若者施設利用者等)

問29 どのような方法や手段があれば、あなたは世田谷区の制度や施策について意見を

伝えやすいと思いますか。(選ぶのはいくつでも)

(N=172)

1	意見を伝えるときに信頼できる人がそばにいる	39.5%
2	知人や家族などがいないほうが話しやすい	12.8%
3	様々な人と意見交換（ワークショップなど）をしながら伝える	22.1%
4	LINEやSNSなどのオンラインで伝える	40.1%
5	アンケート（紙）に答える	29.7%
6	意見を伝える相手がどのような人か事前にわかる	16.3%
7	伝えた意見がどのように扱われるのかわかる	36.6%
8	自分のことや伝えた内容が公開されない（秘密が守られる）	28.5%
9	若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる	31.4%
10	意見を伝えることでクーポンや謝礼などをもらえる	15.7%
11	その他〔例えば：	7.0%
	無回答	3.5%

さいご
最後に

問30 世田谷区は、若者の皆さんと共に、子ども・若者が笑顔で過ごせる環境づくりを進めていきたいと考えています。この考え方も踏まえて、世田谷区に求めることや期待すること、世田谷区にあったらいいなと思う場所などがありましたら、自由に書いてください。

「おわり」を押すと、今まで答えたことを変えることができなくなります。

変えたいときは、「もどる」を押してください。

今まで答えたことでよければ、「おわり」を押してください。

もどる

おわり

かいとう
ご回答ありがとうございました。

アンケートはこれで終わりです。
さいご こた
最後まで答えていただき、ありがとうございました。
いけん せたがやく こ わかもの
みなさんの意見は、世田谷区の子ども・若者のための
とく
取り組みに活かしていきます。

ちょうさけっか ずいじこうしん
調査結果をこちらへ随時更新していきます。
こんかい ないよう いらいぶん わかもの いっしょ かんが
また、今回アンケートの内容や依頼文を若者と一緒に考えました。
わかもの いけん はんえい かてい しょうかい ぜ ひ らん
若者の意見が反映された過程も紹介しておりますので是非ご覧ください！

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/010/d00206330.html>

まいにち つら だれ はな
毎日が辛いとき、誰かと話したいとき…
きがる そうだん すこ ところ かる
お気軽にご相談ください。きっと少しでも心が軽くなりますよ。
そうだん かつどうしえんきかん あんない
相談・活動支援機関をご案内



あそ そうだん
遊びたい・相談したい・ごろごろしたい…
せたがやく かな ばしょ じゅうじつ
世田谷区には、そんなあなたの「〇〇したい」を叶える場所が充実しています。
いばしょ しょうかい
おすすめの居場所をご紹介します



第3章 ヒアリング調査 (若者施設利用者等)

I 調査概要

1 調査目的

本調査は「(仮称)世田谷区子ども・若者総合計画(第3期)」の策定にあたり、区の若者を取り巻く実態や若者の意見を把握するとともに、これまでの若者施策について評価検証し、さらに今後の子ども若者施策の検討に資することを目的とする。

2 調査対象

世田谷区の主要な若者施設・団体等を利用している若者、及び施設・団体等を運営している職員(以下、「支援者」という。)

【施設概要】

施設(団体)名	特長	調査対象	
		若者	支援者
児童館中高生支援館(プレスポ)	5館の児童館は、「中高生支援館(プレスポ)」として、特に中高生世代の活動に力を入れている。中高生支援館は、開館時間を延長し、中高生専用の時間を設けたり、中高生向け設備が充実している。	○	○
池之上青少年交流センター(いけせい)	だれもが自分らしく過ごせて、「やりたい」ことに挑戦できる若者の居場所。1人でマンガを読んだり、ぼーっとしたり、仲間とゲームをしたり…。やってみたいことは、ユースワーカーが全力で応援!	○	○
野毛青少年交流センター(のげ青)	のげ青には、友達とのおしゃべりや勉強、調理、ダンスの練習など、様々な活動をするためのスペースがたくさん。いつでもふらっと立ち寄れる、若者のための居場所。	○	○
希望丘青少年交流センター(アップス)	アップスは、いつでも、誰でも、自由に過ごせる若者のためのフリースペース。一人のんびり過ごしてもよし、仲間と一緒にワイワイするもよし! 一人ひとりの「やってみたい」をユースワーカーがサポート!	○	○
情熱せたがや、始めました。	高校生・大学生世代の若者による「まちの魅力発信メディア」。日々、若者らしい視点で世田谷区の魅力的な場所・人取材し、SNSを通して情報発信を行っている。	○	—
昭和女子大学／あいりす	中高生世代を中心とした女の子が安心して利用できる居場所。運営するスタッフの女子大生と一緒に、ネイルや手芸、ボードゲームなどをしながらゆったり過ごすことができる。	○	○
たからばこ	大学生スタッフが中心となって運営する、上北沢にある中高生世代のための居場所。ふらっときてのんびりおしゃべりや、大学生と一緒に勉強やボードゲームもできる。	○	○

第3章 ヒアリング調査(若者施設利用者等)

施設(団体)名	特長	調査対象	
		若者	支援者
プレーパーク	地域のボランティアによって運営され、常駐のプレーワーカーがいる屋外の遊び場。乳幼児から小学生、親世代も含め幅広い世代が集い、中高生・大学生世代の居場所にもなっていて、「夕食会」も開催している。	○	○
メルクマールせたがや	ひきこもりなどの生きづらさを抱えた方に対して、面談や居場所活動、セミナー等を実施し、若者ひとりひとりの社会参加を総合的にサポートしている。	○	○
せたがや若者サポートステーション	働くことに悩む若者を対象に、就労に向けた準備、職場体験等の実践支援を行っている。面談や各プログラム等を通して、自分に合ったペースで就労を目指していく場所。	○	○
せたエール	下北沢駅の近くにある、児童養護施設や里親家庭等のもとを巣立った若者の居場所。個別相談も利用可。	○	○
障害者就労支援センターすきっぷ	主に知的障害がある方のための、就労に必要な能力や基本的な労働習慣を習得できる場を提供。就労相談や定着支援、生活支援も実施。	○	○
発達障害者就労支援センター ゆに(UNI)	障害のある方(主に発達障害)の“働く”を応援。就職相談、就職準備、就職後の定着支援として職場訪問、職場内の環境調整なども実施。	○	○
地域インターンシップ世田谷	世田谷のまちに住み、通い、興味を持っている学生に、「世田谷のまち」をもっと身近に感じてもらい、ファンになってもらうことを目的にした事業。	○	—
せたがや国際交流センター	外国人への生活に必要な情報提供、地域参加の促進、多文化共生の意識づくり及び偏見差別の解消を推進している。	○	—
特定非営利活動法人せたがや子育てネット	子育て支援に関する事業や、子育ておよび子どもの育ちを地域全体で支え合うネットワークづくりに関する事業を行っている。	○	—
日本大学文理学部	「文」と「理」の融合を特色とした教育、研究を行っている。世田谷区校上水にあり、3系統、18学科の複合学部を有する。	○	—
都立千歳丘高等学校	世田谷区船橋にある東京都立の高等学校。男女共学。普通科。「高志」「自律」「信頼」を教育目標とし、生徒を育成している。	○	○
大東学園高等学校	世田谷区船橋にある普通科の私立高等学校。男女共学。三者協議会で生徒、保護者、教職員が協同し、学校づくりを話し合いで進めている。	○	○

3 調査方法

子ども・青少年協議会委員1名、区職員1名、記録作成者として調査機関1名が現地に伺い、対面で実施した。なお、若者、支援者は別々にヒアリングを実施した。

4 調査時期

令和5年10月26日(木)～11月29日(水)

5 回答者数

若者47名、支援者19名

6 調査項目

(1)若者

分類	問番号	主な調査項目
基本属性	問1	名前・年齢
	問2	通っている施設(学校)はどのようなところか
	問3	施設(学校)の魅力
	問3-1	通うきっかけ、施設(学校)をどこで知ったのか
居場所	問4	学校や自宅、会社以外の時間の過ごし方
	問5	世田谷区にどのような場所や施設があるとよいか
	問6	どのようなところに住みたいか
地域活動への参加・参画	問7	地域のイベント、お祭り、ボランティア(青少年交流センターや児童館のイベント)などへの参加経験はあるか
	問7-1	参加のきっかけ、感想、今後の参加意向について
	問7-2	参加しない理由、どのような地域活動に参加したいか
悩み・相談	問8	最近の悩み事
	問9	世田谷区に悩みを解決するためにしてほしいこと
意見反映	問10	大人や社会・地域・学校に対して言いたいこと
その他	問11	人や社会に対して役に立ちたいと思うこと

(2)支援者

分類	問番号	主な調査項目
基本属性	問1	施設(学校)の利用者はどのような人が多いのか、普段どのような話をするのか
居場所	問2	利用者(生徒)が安心して過ごせる環境をつくるうえで困っていること
施設利用の促進 および地域活動 への参加・参画	問3	若者に施設(学校)を利用してもらう、または、若者にイベント(地域活動など)に参加してもらうために、有効なこと、工夫していること
意見反映	問4	利用者(生徒)は、施設(学校)に対して要求、意見、不満を言うことがあるか、また、意見を言いやすくするために工夫していること
その他	問5	他の若者関連施設・地域団体などとの連携(情報共有やネットワークづくり)に関して取り組んでいること、困っていること
	問6	若者をサポートしていくうえで、世田谷区に求めること

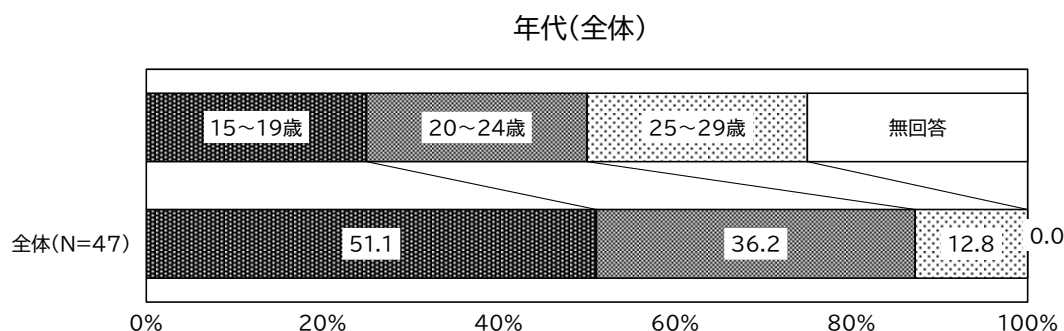
Ⅱ 調査結果

1 若者調査(利用者)

(1)基本属性

◆年齢(問1)

ヒアリング調査の回答者は「15～19 歳」が 51.1%、「20～24 歳」が 36.2%、「25～29 歳」が 12.8%となっている。



◆通っている施設(学校)はどのようなところか(問2)

交流の場、落ち着ける場、遊べる場、相談できる場、目的に応じた活動ができる場であるという施設利用者の意見が多かった。

通っている学校については、生徒(学生)と先生の距離が近い、様々なことに挑戦できる人は、様々な団体や人とつながりが持てる、自分が住む場以外の地域を知ることができるといった意見があった。

《その他の主な意見》

- ・ 特別な目的がなくても、皆でご飯を食べたり、ゲームをしたり、ゆったりと過ごせる場所。
- ・ (高校生になって外で遊ぶことは少なくなったが、)外で遊べる貴重な場所。
- ・ スタッフが優しいから通っている。
- ・ 自分と立場が同じような人が集まって、そこに居ていい場所。学校に行って話すことはできないが、知っている友人と話したりして過ごせる自分らしくいられる場所。

◆施設(学校)の魅力、通うきっかけ(問3)

勉強ができる、好きな活動ができる、居心地が良い、スタッフと話ができることが魅力で利用しているという意見が多かった。利用するきっかけは、家の近くにあったから、家族や知人からの声かけ、HP や若者情報誌で知ったといった意見があった。

《その他の主な意見》

- ・ 無料で夜遅くまでオープンしているので、仕事が終わった後でも利用できる。

- ・ プログラムに継続参加をしていると参加者やプログラムを実施しているスタッフと顔見知りになることもあり楽しいと感じる。
- ・ 赤ちゃん訪問がきっかけで施設を知った。
- ・ 通院している時に、クリニックから施設のことを教えてもらった。
- ・ 小さいときから利用していることもあり、継続して利用している。
- ・ 利用者が多すぎず、過ごしやすい。
- ・ 「Cheer！～わかものライフガイド～」で知った。
- ・ 何か始めたいと思って調べた。

(2)居場所

◆学校や自宅、会社以外の時間の過ごし方(問4)

アルバイト先や、図書館、若者のための施設で過ごすという意見が多かった。その他、部活動やサークル、習い事、友人と過ごす、商業施設で過ごす、公園や二子玉川周辺、京王線世田谷線沿いを散歩するといった意見もあった。

一方、外出はしないで家にいるという意見も多かった。自宅での過ごし方はネットゲームやスマホゲーム、動画を見る、マンガを読むなどの意見が多かった。

《その他の主な意見》

- ・ 目的なく外を歩く。
- ・ トレーニングをしている。
- ・ 放課後の学校で遊んだり、学校内で勉強したりしている。
- ・ 都心や商店街で食べ歩きをしたこともある。
- ・ 病院や歯医者などに行っている。
- ・ サイクリングをしている。

◆世田谷区にどのような場所や施設があるとよいか(問5)

屋外については、様々な人と交流できる公園がほしいという意見があった。屋内については、幅広い年代を対象とした静かに勉強できる場所がほしいという意見が多かった。また、小中学生を対象とした子どもの居場所だけではなく、高齢者や社会人、地域の人と交流することができる場所がほしいという意見もあった。

《公園、運動ができる場所》

- ・ 学生が集まることのできるような広場があるとよい。
- ・ ボール遊びができる公園。
- ・ 知らない人や外国人とも一緒にスポーツができるような屋外の場所。
- ・ 室内で滑り台やボール遊びができ、地下に迷路などを作って、子どもたちが遊べる場所。
- ・ 横浜市にある綱島公園こどもログハウス「モッキー」みたいな場所。

第3章 ヒアリング調査(若者施設利用者等)

《勉強する場所》

- ・ 気軽に勉強ができる自習室。図書館のように幅広い年代を対象にした静かな場所や朝8時くらいから勉強ができて、かつ喋れる自習室。
- ・ 大人や高校生がのんびり無料で過ごせる場所。大学のオンライン講義も受講できるような静かにのんびり勉強できる場所がほしい。
- ・ 自習をすることもでき、大人とも話せる安全な場所。

《商業施設・店舗》

- ・ 居心地のよいカフェや飲食店があるとよい。
- ・ 学校の近くで学生向けの価格帯で飲食店が利用できるとよい。
- ・ フードコートみたいな場所があるとよい。
- ・ 親が子どもを気兼ねなく連れていけて、買い物やフードコートがあるショッピングセンター。
- ・ ゲームセンターがあるとよい。

《地域交流・コミュニティ》

- ・ 進路相談や悩みがある際に学校以外で、社会人や高齢者など地域の人に相談できる場所。
- ・ いろいろな年齢層の人と関われる場所がほしい。
- ・ 上京してきた人も利用しやすい、子どもや大人など様々な人が利用している場所。

《居場所》

- ・ すぐに帰りたくないときに集まれる場所があるとよい。
- ・ カフェに入るまでもないけど、ちょっとした隙間時間ができたときに時間を潰せる場所。
- ・ マンガがたくさんあるような施設があるとよい。
- ・ 平日にランドセルを背負ったままでも、子どもが利用できる屋内の居場所。
- ・ 大学生でも「たからばこ」や「あいりす」のように話せる場所。
- ・ その場所を楽しいと感じ、継続して利用できる、子どもや若者の居場所があるとよい。

《その他の施設》

- ・ 地域活動の拠点となるような場所がほしい。まちづくりセンターの使っていない会議室などを大学生や高齢者グループの活動スペースとして活用できるとよい。
- ・ アクセスが良くて、子どもが気兼ねなく使える場所。
- ・ 雨の日でも子どもたちが使うことができる施設。
- ・ ワーキングスペースがほしい。
- ・ アップライトピアノがあるところ。
- ・ 立地条件ではなく、そこにいる「人」を重視する。

◆どのようなところに住みたいか(問6)

店舗・公営施設の充実、治安のよさ、交通手段へのアクセスのよさ、自然があると良いといった意見が多かった。また、地域や人とのつながりがあるところがよいという意見も目立った。一方、世田谷区

は家賃が高いという意見もあった。

《周辺環境》

- ・ 児童館があったり、公園で身体を動かしたりできる場所で過ごしたい。
- ・ スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアなどが近くにあるとよい。
- ・ 勉強するところや遊ぶ所が近くにある方がいい。
- ・ 子どもが安心でき、街灯や人の目が多い場所であるとよい。

《地域や人のつながり》

- ・ 子どもの夢を応援してくれたり、地元のつながりがあるところに住みたい。
- ・ 田舎に住みたい。自然が多いことと、いろいろな人と地域で関わりを持ちながら、のんびり生活したい。
- ・ 友人がいるところがよい。
- ・ 様々な年齢層の人や英語を話す人などとコミュニケーションをとれる場所で過ごしたい。

《その他》

- ・ 静かな土地柄がいい。
- ・ 生活が安定していて、様々な制度が整備されているところ。
- ・ 世田谷区の居心地はよいが、ひとり暮らしを世田谷区ですることは金銭的(特に家賃)に難しいと思っている。

(3)地域活動への参加・参画

◆地域のイベント、お祭り、ボランティア(青少年交流センターや児童館のイベント)などへの参加経験はあるか(問7)

参加している団体や利用している施設の活動が地域活動につながっている場合が多かった。地域活動に参加した動機としては、施設(学校)から誘われたからという意見の他、近所でお祭りをしていたから参加したという意見もあった。

《その他の主な意見》

- ・ 地域のイベント(蘆花まつり、ボロ市、神社のお祭り、青少年交流センターや児童館のイベント等)に参加したことがある。
- ・ ボランティア(障害をもっている子どもに水泳を教えるボランティア等)活動をしたことがある。
- ・ 環境美化活動(駅前で花を植える活動、ゴミ拾い、古着回収等)をした。
- ・ 小学校のおやじの会へ参加した。

◆地域活動に参加した感想のきっかけ、感想、今後の参加意向について(問7-1)

地域活動に参加したことで、感謝の言葉を言われて嬉しかったことや、参加者が喜ぶ姿を見ることができて良かったといった感想を聞くことができた。また、地域活動に運営側として参加してみたい

第3章 ヒアリング調査(若者施設利用者等)

かとたずねたところ、「同世代がいるなら参加してみたい」、「コミュニケーションが苦手なので力仕事なら関わりたい」という意見と、「運営側の熱意がすごそうなので自分は関わりたくない」という意見があった。

◆地域活動に参加しない理由、どのような地域活動に参加したいか(問7-2)

地域活動に参加しない理由をたずねたところ、「地域のイベントに参加する機会がなかった」、「参加したいと思ってもどこで何をやっているのか知らない」、「大人数で仰々しいと参加へのハードルが高く感じてしまう。小規模だと参加しやすい」という意見があった。

また、どのようなイベントであれば参加したいかとたずねたところ、「飲み物などがもらえるなら参加したい」、「アイドルが来るなら参加したい」、「自由な時間があればしてみたい」、「屋台のイラストなどを描いてみたい」、「人から誘われて、かつ、何かのサポートがあるなら運営側で参加してみてもよい」といった意見があった。

(4)悩み・相談

◆最近の悩み事(問8)

経済面や就職活動、学校生活、ライフプランについての悩みの他、人間関係に関する悩みが多くあった。また、困ったときに気軽に相談できる人やシステムを望む声もあった。

《金銭面・経済状況》

- ・ 世田谷区内に住み続けたいと思ってもひとり暮らしをするのは、家賃が高く、物価も高いため金銭的に難しい。
- ・ 医療制度の申請には診断書が必要だが、お金がかかる。

《学校》

- ・ 卒業論文が心配である。
- ・ 遅刻をしてしまっで遅刻指導などを受けることがある。特別な理由がなくても公欠の扱いで学校を休めるようになってほしい。
- ・ 部活動がブラックであり、先輩から悪口を言われて、へこんでいた。しかし、部活動をやめたら居場所を失うので、どうしようと悩んだ。

《ライフプランについて》

- ・ 自分のキャリアと結婚して子どもを持つことを天秤にかけると、それがいつになるのかと考えてしまう。
- ・ 異性との出会いの場がないが、マッチングアプリで異性と会うのは怖い。
- ・ クリスマスまでに彼女ができれば良い。友達の SNS の投稿を見ると羨ましいと思う。
- ・ 講義には出席し、単位も取得しているが、このままでいいのかと思っている。

《人間関係について》

- ・ アルバイト先に少し苦手な高校生がおり、なぜ自分が苦手だと思うのか考えている。
- ・ 周囲の先輩や友人は大学に遅くまで残ってリーダーシップを発揮したり様々な活動に参加しているが、自分はこのままでいいのかと悩むことがある。
- ・ 心の病を抱えた友人とどのように関わればいいのかわからない。
- ・ 人見知りをしてしまい、相手とフィーリングが合わないと話しにくい。
- ・ クラスにうまく馴染めず、学校に行きたくない。

《その他》

- ・ ひとり暮らしをしていると、いざというとき(急病になったときなど)に頼れるところはどこなのかと不安を感じる。
- ・ 地震が心配。
- ・ ニュースを見ても、わからないことが多く、「自分はもう 20 歳なのに何も知らない」と感じている。
- ・ 子育てにより、自分の時間がとれない。
- ・ 子どもの発達が遅いのではないかとすることがある。
- ・ 自分が行きたい場所にバス停やバスの路線があるとよい。
- ・ 自宅の前でマンションを建設しているのだが、工事現場の人の出入りが多いことと、喫煙する人もおり、気になる。
- ・ LINE などのデジタルツールを使った相談システムがあるとよい。
- ・ 自分のことを悪く思うくせがあること。自分のことを悪く言うときは口が悪くなる。

◆世田谷区に悩みを解決するためにしてほしいこと(問 9)

悩みを解決するために世田谷区にしてほしいことは、今回のようなヒアリング調査、チャット、LINE、DM 等で相談できる仕組みなどの意見があった。一方、現状で満足しているため特にないという意見も多かった。

《環境》

- ・ インクルーシブ公園など障害児も受け入れることのできる環境が公的に整備されるとよい。
- ・ 家の前に歩道がないので、歩道を作してほしい。
- ・ 通学時に危険を感じるので、自転車用車道を広く整備してほしい。
- ・ 家から学校までのバスがほしい。
- ・ 世田谷区には喫煙に関する条例があると思うが厳罰化してほしい。また、喫煙所を設置して、区分けしてほしい。

《施設》

- ・ 1日中開いていたり、早い時間からでも利用することができる場所があるとよい。
- ・ スポーツができる場所やクラシック音楽が聴ける場所があるとよい。
- ・ 友人以外の日本人と日本語、英語を使って交流できる場所があるとよい。

第3章 ヒアリング調査(若者施設利用者等)

《相談場所》

- ・ 心理カウンセラーに気軽に相談できる場所があるとよい。
- ・ 自分と同じ世代だと話しにくいので、自分よりも年上の世代に話を聞いてほしい。
- ・ 区から相談先のカードが配られているが、相談したことが広まっても嫌だし、小さいことで相談してよいのかと思い相談できない。電話より、チャット、LINE、DM 等で相談できるとよい。

《情報発信》

- ・ ひきこもりになったときに、公的な居場所に救われたので、このような自由に参加できる場所があることを多くの人に知ってほしい。
- ・ インターネットを使って色々な人に情報を届けてほしい。祭りとかイベントの情報を YouTube 等で発信してほしい。情報があれば参加してみたいと思う。

《学校》

- ・ 世田谷区では私立中学校に進学する子どもが多いがその要因として、公立の学校だと教員が忙しく、教育の質もよくないというイメージがある。教育に対して何か手を打ってほしい。
- ・ 全日制の高校に通っている生徒が心の病になったときに出席日数や単位などでサポートがあるとよい。
- ・ 学校のいじめを教育委員会に連絡した際に、私学は範囲でないと回答があった。改善してほしい。

《その他》

- ・ 学生のひとり暮らしは物価高などの影響を受けている。また、災害があったときにどうすればよいのか不安である。至る所に防災マップを貼ったり、避難場所の検索システムなどがあるとよい。
- ・ 保育士や若者利用施設のスタッフなど、人に寄り添う仕事は大変な面もあり、もう少し給料を上げて欲しい。
- ・ 社会人になってからも利用できる「大人の居場所」があるといい。
- ・ 3人いる子どもの保育園がそれぞれ違うので大変。
- ・ 将来は地域社会に関係する機関で働きたいと考えているが、大手の就職サービスにはまちづくりなどの社会貢献などをしている企業の情報があまりない。

(5)意見反映

◆大人や社会・地域・学校に対して言いたいこと(問10)

大人や社会・地域・学校に対して言いたいことについて以下のような意見があった。

《地域活動・ボランティア活動について》

- ・ ボランティア活動を探しても見つからないことがあり、探し方がわからない人もいる。住んでいる地域でボランティア活動に参加したいが、区外の学校に進学した場合、情報が届かない。
- ・ あるボランティア団体に話を聞きに行ったところ、大学生だとフルで参加できないので、断られることがあった。その団体は、後継者不足と言っていたが、若者を受け入れる体制になっていない。

大学生(ゼミ、サークル)をうまく使えば、常に新たな代が入ってくるのに、もったいないと思った。

- ・ 町会・自治会メンバーの平均年齢は 70 歳を超えており、時間があるので、活動に注力できる。若者にもっと加入してほしいと言われても参加しにくい。

《仕事・就職活動について》

- ・ 勤めていた会社から、2週間後に異動を言い渡された経験がある。その時、異動について相談できる環境がなかった。
- ・ 一般の大手企業などを受ける友人が、ガクチカを作る(就職活動の面接の際、よくたずねられる「学生生活で最も力をいれたこと」の略称)のために、急にボランティア活動を始めることがある。会社が求める人物像に学生が無理矢理なろうとしているのではないかと思う。

《ライフプランについて》

- ・ 女性が子どもを産むにはリミットがあるが、同世代の異性とオンライン以外で出会える場所はどこにあるのか。
- ・ 同世代(大学生世代)の女性では、「結婚はしなくてもいいかな、子どもも別にいらないかな」と考える人も多い。子どもがほしいと考える若い世代同士で昔のお見合いのように対面で会える場所があるとよい。

《外国籍の人について》

- ・ 外国人留学生は身元保証人や収入証明、ビザなどの関係で物件探しが難航してしまう。外国人であることがわかると入居を断られることもある。
- ・ 日本で暮らしていて大学に所属していると大学の学生相談が使えるが、そういった機関に関わっていない外国人の困りごとは可視化されにくい。
- ・ (外国籍の)若い世代や日本で子育てをしている外国人などにつながる手段が必要である。

《政治について》

- ・ 若者が選挙に触れる機会が少ない。なぜ選挙を行っているのか、どこで公約を知ることができるのかなど、政治に興味をもつきっかけ、入口があるとよい。
- ・ 納税の仕組み(例えば、勤労学生控除など)をはじめとする国の制度についても勉強できる機会があるとよい。
- ・ 自分たち若い世代の人が意見を言っても変わらない。(若者の意見を聞いて政治家が)行動をしてくれると思えない。
- ・ 今払っている年金が自分の老後にも保障されるとは思えないし、社会保障のあり方についても疑問がある。

《学校について》

- ・ 校則が厳しく(髪を染められない、パーカーは着用禁止、指定靴下など)、生徒会がないため、生徒会を作って自分たちで決めることができるとよい。
- ・ いじめがなくなるとよい。

第3章 ヒアリング調査(若者施設利用者等)

- ・ 教員と校則についてしっかりと話す機会がほしい。もっと生徒の話を聞いてほしい。
- ・ 遅刻指導をやめてほしい。行くだけでも頑張っているのに、余計に学校に行きたくなくなる。クラスで何か問題が起きるとクラス全員に対して怒る担任が嫌。
- ・ 授業中にスマホやタブレットに触っていると女性の教員が仲のよい女子生徒には「やめなね」とだけ言って注意するが、男子生徒に対してはすぐにスマホやタブレットを取り上げる。性別によって態度を変えるのは男女差別ではないのか。
- ・ 若い年齢で子どもができたときにとっても怒られた。若くして子どもができて困らないように、必要な知識をもっと早くから学校などで教えてもらえるとよい。

《若者からみた社会について》

- ・ 子どもは大人に頼ってしまっている点が多いと感じる。
- ・ 迷惑をかけていることは自覚しているが、大目に見てほしい。生徒もルールを守るように努力するので大人も寛容な態度で接してほしい。
- ・ 大人が怖い。電車で高校生が座っていると大人から睨まれるときもある。高校生に対しても優しく接してほしい。
- ・ 若者にもっとチャンスを与えてほしい。若者の意見が反映され、子ども・若者がやりたいことをバックアップできる世の中になってほしい。
- ・ 自分が子どものときは何をやっても謝れば許してもらえる環境であったし、自分も年下には優しくしないといけなかった。年下には優しい世の中になってほしい。

《子育てについて》

- ・ 子どもだけで遊べる場所が増えてほしい。「公園で走り回らないように」という看板に対して、子どもが気を遣う世の中はよくないと思う。
- ・ 第3子を産むときに仕事を辞めて、その後に職を探そうとしたが、面接で子どもが3人いることを伝えると「は？」という顔をされた。フルタイムで働こうとすると「子どもが小さいですね」、「熱が出たら旦那さん、親御さんなど周りに手伝ってくれる人はいますか？」などと聞かれて、なぜそこまで聞かれなくてはいけないのかと考えた。
- ・ 共働きでも経済的に安定できないこの社会はどうなっているのか。

《その他》

- ・ 地域のコミュニティセンターが駅から遠く、徒歩で行く必要があり、気力を失ってしまう。
- ・ 税金が高すぎる。
- ・ 選挙カーがうるさい。特に駅の付近などでは赤ちゃんが泣きだすこともあった。選挙カーに反応して散歩をしている犬が吠えだすこともあるため、選挙方法を考えてほしい。
- ・ 商店街に新しい店ができてすぐ替わる。馴染みのお店がすぐなくなってしまう。
- ・ 地域や社会に対して言いたいことがないのは、地域の出来事や問題について知らないため、地域や社会について知るべきではないか。
- ・ 世田谷区の特産物をつくってほしい。
- ・ 自然、公園や緑道を増やして欲しい。

(6)その他

◆人や社会に対して役に立ちたいと思うこと(問11)

自分の将来の仕事を通して、人の役に立ちたいという意見が多かった。一方で、能力がなければ社会の役に立たないのではないかという意見や社会貢献をしたいと思っても生計を立てていくことが難しいと感じているという意見もあった。

《仕事・アルバイト・資格等》

- ・ 人や社会の役に立つ仕事がしたい(接客業、栄養士、心理師、保育園・幼稚園の先生、清掃、盲導犬訓練士、特別支援学校支援員、ゲームをつくる仕事、農業・畜産、まちづくり、都市整備等)
- ・ 子育て支援に関わる仕事がしたかったが、NPO 法人では生計を立てていけないと思い諦めた。社会貢献をしたいと思っても生計を立てていくことが難しいと感じている。

《ボランティア等》

- ・ ハンディを抱えた人、家庭の事情がある人も多様性、共生できる世の中になるために自分が力になれることを模索したい。
- ・ 虐待されている子どもたちのためになにかできないかなと思っている。
- ・ 今の社会は気軽に他人と話すことが難しい社会だが、道行く人とも気軽に話せるような社会になると良い。
- ・ 時間的余裕があるので、ボランティアで社会貢献や自分の経験値を増やしたい。
- ・ 児童館でもう一度企画をしてみたい。
- ・ 商店街や地域のお祭りへスタッフとして参加してみたい。
- ・ 時間の余裕があれば、地域ボランティア(子ども食堂やゴミ拾いなど)をやってみたい。

《こころがけていること》

- ・ 言葉の一つ一つの意味、いろいろな環境に置かれている人の立場を考えて発信するようにしている。
- ・ 人を楽しませることが好きなのでネットなどを通して人を楽しませることができるとよい。
- ・ 困ってそうな人には声をかけるようにしている。白杖を持っている人やベビーカーを押している人がいたら声をかけている。
- ・ 心の病を持っている身近な人に対して、自分ができるサポートをしたい。

《その他》

- ・ 親孝行をしたい。
- ・ 役に立ちたいとは思っているが、能力がないと社会の人や社会の役に立たないのではないか。

2 支援者調査

学校の先生、若者が利用する施設のスタッフなど、若者を支援する大人への調査を以下のとおりまとめた。

(1)基本属性

◆普段どのような話をするのか(問1)

学生は、先生や友人との関係の悩みや勉強、進路、成績に関する話をするという意見が多かった。これ以外では、施設によって内容に違いはあるが、日常の話、趣味(ゲーム、漫画、アニメ、スポーツ、アーティストなど)の話をするという意見が多かった。

《その他の主な意見》

- ・ 利用者が就労している場合は、会社などについて話すことが多い。
- ・ バンド練習の話、やってみたいこと(自分たちで活動したいこと)を話す利用者もいる。
- ・ 会話は成立するが、言葉の裏を理解することが苦手であったり、言葉だけで理解することが難しい場合は絵や文字を利用しながらやりとりをしている。
- ・ 学校の教員は「成績と序列ばかり気にしている、正しいことしか言わない」と生徒に思われがちなので、そう思われないように気をつけている。

(2)居場所

◆利用者(生徒)が安心して過ごせる環境をつくるうえで困っていること(問2)

利用者(生徒)が安心して過ごせる環境をつくるうえで困っていることとして、運営上の課題、施設で実施するプログラムの課題、利用者との関係性における課題が挙げられた。

《利用者との関係性における課題》

- ・ 職員と利用者の相性が悪い場合、子どもは、やり過ごすことができないので難しいと感じる。
- ・ 利用者によっては、自身の状況(例えば自分の病状など)についてオープンにできない人もいる。どこまで利用者をサポートするべきなのか、線引きが難しい。特にメンタル的なサポートをどこまでするべきなのか葛藤している。
- ・ 通所支援に來なくなった利用者へのアプローチが難しい。
- ・ 様子を見守った方が良い若者への声かけのタイミングや内容などの対応。

《運営上の課題》

- ・ 高校の無償化事業が始まり、特別支援教育ではなく、普通教育やフリースクールを選択する人が増加した。少子化の影響もあり特別支援学校の学生数も減少している。就労移行の利用者が減少傾向にあるため、利用者の確保が問題となっている。

- ・ 若者関連施設とのつながりが弱い。
- ・ 近隣住民との関係性を築くのが困難。
- ・ チームで子ども・若者と接するが経験値に差があるため、職員によって判断が異なることがある。
- ・ グループプログラムの時に開設当時から利用者が多いと、新規の利用者が入りにくい。
- ・ 利用者からの要望があっても、人数やスケジュール的に実現できないことがある。

(3)施設利用の促進および地域活動への参加・参画

◆若者に施設(学校)を利用してもらう、または、若者にイベント(地域活動など)に参加してもらうために、有効なこと、工夫していること(問3)

若者に施設(学校)を利用してもらう、または、イベント(地域活動など)に参加してもらうために有効なことは、SNSを運用することや口コミが挙げられている。また、イベントの時のみ利用者に声かけをするのではなく、普段から利用者とコミュニケーションをとることが重要であるという意見も多かった。

《利用者との関係性》

- ・ 日頃の関係の中で話をしたり、話題を覚えておいたりして、それぞれの興味あることにつなげていく。
- ・ 普段のロビーワーク活動で若者との関係性を作ること。

《広報活動》

- ・ SNS、広報紙にも力を入れているが、一番効果があるのは、口コミだと思っている。
- ・ SNS を見てくれている利用者が多いと感じる。既に運用している X(旧 Twitter)だけではなく Instagram も活発に投稿している。「Instagram を見て来たよ」と言ってくれる利用者も多い。

《運営方法》

- ・ 若者などに施設運営や参画に関わってもらう場合は流動的に参加してもらうのではなく、メンバーをきちんと集めて実施する方が効果的な印象がある。
- ・ いきなりプログラムに参加することが難しい利用者には、見学をしたうえで参加を決めてもらうようにしている。

《地域活動に参加してもらうためにしていること》

- ・ 地域イベントに飲食店を出店しており、関心のある利用者は積極的に参加している。
- ・ 他の若者支援施設が実施、出店などしているイベントに参加している。

(4)意見反映

◆利用者(生徒)は、施設(学校)に対して要求、意見、不満を言うことがあるか、また、意見を言いやすくするために工夫していること(問4)

利用者(生徒)の意見反映については、普段の会話のなかで要求や意見を言いやすい雰囲気づくりや関係性を築くことに加え、ホワイトボードや意見箱、プログラムを実施した際のアンケート用紙などを活用しているという意見があった。その他、日頃から意見を言いやすい関係性づくりに努め、傾聴を心がけているという意見も多かった。

《その他の主な意見》

- ・「三者協議会」(学校の校則や施設などについて、生徒、保護者、教職員の三者で協議する場)において、良いことも悪いことも話し合っている。その他、生徒会のアンケート調査や各学年での話し合い、全校生徒でおこなう意見交換会などもある。
- ・子どもたちと対等な関係であることを意識している。小さい子相手に注意して怖がられることもあるが、こちらが手を抜いたり子ども扱いした姿勢を子どもたちは見ている。
- ・カフェのカウンター越しに意見を聴くことが多い。若者にとって話しやすいようだ。また、施設長に意見を届けるための意見箱を促している。話している時点で意見表明になっている。
- ・受付での対話、来館や退館のタイミングでのちょっとした会話が話しやすさにつながり大切だと思う。
- ・一緒に作業をしたり、手伝ってもらうことでフラットに意見を言いやすい関係性が築ける。
- ・学校はじめ、さまざまな場面で「やりたいこと」を聞かれることが多いようであんまりしている様子が伺える。

(5)その他

◆他の若者関連施設・地域団体などとの連携(情報共有やネットワークづくり)に関して取り組んでいること、困っていること(問5)

若者関連施設・地域団体などとの連携に関しては、イベントや広報、連絡会による情報共有、相談支援による連携などをしているという意見が多かった。一方、連携が必要であるとは思っているが関係機関が多すぎてどこにつなげばよいか分からない、連携先を把握できていないという意見もあった。

《その他の主な意見》

- ・利用者に何かあったときに連携がとれる機関と多くつながっている。地域団体との関わりはあまりない。
- ・健康状態に不安を抱える人が地域での活動を望む場合に、紹介をしてもらうこともある。
- ・就労支援に関わる施設とはネットワークがあり、月に1回会議などで、情報共有をしている。
- ・世田谷区内ではサポート機関同士の会議の場があるため、そういった場で知りあうこともあり、つながりがとれていると感じている。

- ・ 関係機関の連絡会や通所連(※世田谷の精神障害者を対象とした通所施設の連絡会)には加入している。
- ・ 地域懇談会へ参加している。

《今後の課題》

- ・ 就労支援や就労体験を希望する若者とマッチングができるような機関と連携を図りたい。
- ・ 青少年交流センターや児童館で遊んでいる子は沢山いる。もっと一緒にやるイベントなどがあってもいいと思う。
- ・ 各々の居場所で手一杯のことが多く、連携までの道のりが長い。連携に対していいイメージがない団体もある。
- ・ 児童館との情報共有は管轄が違い、知らないことも多い。職員同士のつながりができると、訊きやすくてよい。
- ・ 情報はどこまで共有してよいか迷うことがある。

◆若者をサポートしていくうえで、区に求めること(問6)

若者をサポートしていくうえで、世田谷区に求めることは、若者利用施設の立地条件をよくしてほしい、広いスペースを用意してほしいといった意見の他、スタッフの賃金など予算増額の意見もあった。その他、様々な若者支援の取り組みを継続してほしいとの意見があった。

《その他の主な意見》

- ・ 区の図書館に若者支援関連の本をおいてほしい。
- ・ 福祉業界は人材が不足している。人的余裕があるほうが、充実したサービスを提供できるため予算が増えるとよい。
- ・ 地域とのパイプ作りのなかでは「何をしている施設かわからない」と思われていることがある。認知度が低い施設などはPRをサポートしてほしい。
- ・ 無料で開放される施設が多くあるとよい。体育館やバンド練習ができる場所、カフェなどの話ができる場所などがあるとよい。
- ・ 同じ若者の居場所に関わる施設でも連携に否定的な場所もある。若者の過ごしやすい居場所にしていくためには世田谷区が連携・横のつながりを推奨するような形で話をしてくれる(仲介してくれる)と幾分かスムーズかなと感じる。
- ・ 中・高校生世代、大学生世代まで利用が続くよう、次期中学生となる小学校高学年が参加したいと思う内容を増やすのはどうか。
- ・ 「子ども・青少年会議」などは、立ち上げのプロセスから関わりたい。スタッフ同士、顔が繋がっていると、より連携がとれる。

世田谷区若者調査 報告書

令和6年3月発行

発行:世田谷区 子ども・若者部 子ども・若者支援課
〒154—8504
東京都世田谷区世田谷 4 丁目 21 番 27 号
電話 03-5432-2585

調査:株式会社生活構造研究所
〒102-0083
千代田区麹町2丁目5番地4
電話番号 03-5275-7861